

平成 29 年 度

全国学校保健調査集計結果報告

公益社団法人 日本薬剤師会
学 校 薬 剤 師 部 会
全 国 学 校 保 健 調 査 W G

平成 29 年 度
全国学校保健調査集計結果報告
 (公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会
 —— 全国学校保健調査WG ——

I. はじめに

全国学校保健調査は、全国の学校における環境衛生活動の実情を把握し、その充実や改善に役立てる目的で昭和47年から毎年調査項目を選定し実施されている。平成29年度の全国学校保健調査では、平成28年度の各学校における「学校環境衛生基準（平成21年文部科学省告示60号）」に基づいた採光及び照度、検査器具について質問した。また、平成25年度から学校薬剤師及びその活動の実態を把握するために基礎的な設問を設定し、調査を継続しており、今年度は、薬剤師名簿登録番号を学校薬剤師の年代に設問を変更し、(公社)日本薬剤師会の会員であるかの問いについても、マークシートに入れて、集計できるようにした。また、「学校保健計画の参画」「学校保健委員会の出席要請」についても新たに設問を追加した。

II. 調査方法及び調査対象

調査対象は、全国の大学以外のすべての学校とし、中高一貫校・小中併設校は、それぞれ高等学校、中学校、小学校1校とした。

調査票（表2-1及び2-2）は、各都道府県薬剤師会等を通じて各学校に配付した。調査票の記入は、原則として担当学校薬剤師が行い、担当学校薬剤師が記入できない場合は、各学校に協力を求めた。

調査票は、各都道府県薬剤師会等を通じて回

収し、(公社)日本薬剤師会学校薬剤師部会の広報WGが集計し、結果をとりまとめた。

全国の大学以外のすべての学校は、(認定こども園を含む)51,646校（「平成29年度学校基本調査報告書（文部科学省）」より）ある。これらの学校のうち、44,843校に対して各都道府県薬剤師会から調査票を配布し、回答のあった33,306校から、学校の種類等の基本データの欠落により集計不能を除いた33,293校を基本母集団とし、設問ごとに欠落を考慮して集計を行った。

集計結果は、各設問における有効回答数に対する百分率で示し、少数点以下2桁目を四捨五入した。また、前回から集計結果のグラフに、サンプル数「n」を記載している。

表1 学校設置数、有効回答数及び回答率（学校種別・学校設置区分）

	有効回答数 (設置数*)	学校設置区分				回答率(%)
		国立	公立	私立	合計	
学 校 種 別	認定こども園	0 (0)	424 (552)	777 (3,121)	1,201 (3,673)	32.7%
	幼稚園	31 (49)	2,272 (3,952)	336 (6,877)	2,639 (10,878)	24.3%
	小学校	58 (70)	16,657 (19,794)	75 (231)	16,790 (20,095)	83.6%
	中学校	46 (71)	7,923 (9,479)	147 (775)	8,116 (10,325)	78.6%
	義務教育学校	2 (2)	44 (46)	0 (0)	46 (48)	95.8%
	全日制高等学校	7 (15)	2,766 (3,406)	321 (1,317)	3,094 (4,738)	65.3%
	中等教育学校	3 (4)	33 (31)	8 (18)	44 (53)	83.0%
	定時制高等学校	0 (0)	420 (616)	4 (28)	424 (644)	65.8%
	特別支援学校	29 (45)	870 (1,076)	3 (14)	902 (1,135)	79.5%
	高等専門学校	28 (51)	7 (3)	2 (3)	37 (57)	64.9%
	合計	204 (307)	31,416 (38,955)	1,673 (12,384)	33,293 (51,646)	64.5%
	回答率(%)	66.4%	80.6%	13.5%	64.5%	

*平成29年度学校基本調査報告書（文部科学省）
 「全日制高等学校」は全日制+併置（全日制と定時制の両方の課程を設置している学校）、「定時制高等学校」は定時制と併置を合わせた数値から算出

表2-1

平成29年度全国学校保健調査 (平成28年4月～平成29年3月までの活動報告) ～平成28年度の採光及び照明、検査器具～

コピー不可

公益社団法人日本薬剤師会・学校薬剤師部会

記入・取扱上の注意	1. 記入は必ずH Bの黒鉛筆で正確に塗りつぶしてください。 2. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。 3. 用紙を汚したり、折り曲げたり、穴を開けたりしないでください。	4. 用紙をクリップやホチキスで留めないでください。 記入例 良い例 ● 悪い例 ● ○ ∇ ○
------------------	---	--

学校名	正式名で記入 (ゴム印が望ましい)	児童生徒数	
所在地			
学校教職員の職名及び氏名			
学校薬剤師氏名		調査年月日	平成29年 月 日

*基本データ (漏れなくマークしてください。マーク漏れがあると集計より除外されます。)

A	学校設置区分	① 国立 ② 公立 ③ 私立 (組合立を含む。)										
B	学校の種類	① 認定こども園 ② 幼稚園 ③ 小学校 ④ 中学校 ⑤ 義務教育学校 ⑥ 全日制高等学校 ⑦ 中等教育学校 ⑧ 定時制高等学校 ⑨ 特別支援学校 ⑩ 高等専門学校										
C	児童生徒数	① 50人未満 ② 50人以上300人未満 ③ 300人以上500人未満 ④ 500人以上										
D	全国地方公共団体コード	十万の位	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
		万の位	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
		千の位	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
		百の位	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
		十の位	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
		一の位	①	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

(ゼロも必ずマークしてください)

*基本データ (続き)

1-1	学校薬剤師の年代	① 20代 ② 30代 ③ 40代 ④ 50代 ⑤ 60代 ⑥ 70代 ⑦ 80代以上										
1-2	日本薬剤師会の会員ですか	① はい ② いいえ										
1-3	学校薬剤師の本務の職場について	① 薬局 (開設者) ② 薬局 (勤務者) ③ 病院・診療所 ④ 卸 ⑤ 行政 ⑥ 製造管理 ⑦ 検査機関 ⑧ 教職員 ⑨ 無職 ⑩ その他 ()										
1-4	本校の体育・保健体育科、特別活動等における医薬品の授業や講演等の実施状況について	① 体育・保健体育科と特別活動等の両方で実施 ② 体育・保健体育科でのみ実施 ③ 特別活動等でのみ実施 ④ 実施していない										
1-5	学校保健計画の参画 学校保健計画を作成にあたり学校から確認要請がありましたか。	① あった ② なかった										
1-6	学校保健計画における環境衛生検査の記載状況について	① 全ての項目について記載がある ② 一部の検査項目しか記載がない ③ まったく記載がない ④ わからない										
1-7	学校保健委員会について 学校保健委員会への出席要請がありましたか。	① あった ② なかった										
1-8	環境衛生検査の実施状況について	① 学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した ② 一部実施していない項目がある ③ まったく実施していない										
1-9	1-8で③に印をつけた人にお伺いします。 まったく実施していない理由は何ですか。(複数回答可)	① 器具が足りない ② 人が足りない ③ 予算が足りない ④ 計画がなかった ⑤ その他										
2-1	平成28年度における出校日数について (電話対応及び給食センター立ち入り検査も含む)	① 12日以上 ② 11～8日 ③ 7～4日 ④ 3～1日 ⑤ 0日 → (裏面のAへ)										
2-2	出校した人(2-1で⑤以外)にお伺いします。(2-1で⑤の人は裏面のAへ) 出校目的について (複数回答可)	① 定期検査 ② 臨時検査 ③ 学校保健委員会への参画 ④ 保健教育に関する講話・講演及び支援 ⑤ その他										
2-3	定期検査のために出校した人(2-2において①に印をつけた人)にお伺いします。学校薬剤師の学校環境衛生基準に基づく定期検査への関与状況について	① 学校で実施しているすべての検査項目においてサンプリングや測定を自ら行う ② 一部の検査項目ではサンプリングや測定を自ら行うが、検査項目によっては他者が行うサンプリングや測定に対する指導助言のみの場合もある ③ 他者が行うサンプリングや測定に対する指導助言のみ										
2-4	学校保健委員会に参加した人(2-2において③に印をつけた人)にお伺いします。 講事における環境衛生に関する指導助言等の有無について	① あった ② なかった										
2-5	保健に関する講話・講演及び支援を行った人(2-2において④に印をつけた人)にお伺いします。 講話・講演及び支援の題材について (複数回答可)	① 医薬品 ② 喫煙、飲酒防止 ③ 薬物乱用防止 ④ 学校環境衛生 ⑤ その他										

(裏面にも回答欄があります)

表2-2

A. 「採光及び照明」の定期検査についてお尋ねします。

A-1	実施した「採光及び照明」の検査項目について、該当するものを選んでください。 ① 照度とまぶしさの両方とも行った ② 照度のみを行った ③ まぶしさのみを行った → (A-9へ) ④ 両方とも行わなかった → (A-13へ)
A-2	実施した「採光及び照明」の場所について、該当するものを選んでください。(複数回答可) ① 普通教室 ② コンピュータ教室 ③ 体育館 ④ 特別教室(図書室・家庭科室等) ⑤ 教室以外の場所(廊下・階段)
A-3	測定に使用した照度計について、該当するものを選んでください。 ① J I S C 1 6 0 9 - 1、2 0 0 6 に適合している照度計 ② その他の光電池照度計 ③ その他のデジタル照度計
A-4	照度計の補正について、該当するものを選んでください。 ① 定期的に行っている ② 使用時に行っている ③ 行ったことはない
A-5	検査の回数について、該当するものを選んでください。 ① 2回以上行った ② 1回行った
A-6	照度を測定した場所について、該当するものを選んでください。(複数回答可) ① 教室の机上 ② 教室の黒板 ③ テレビ画面(教室又は視聴覚室) ④ コンピュータ教室の机上 ⑤ コンピュータ画面 ⑥ その他(床面等)
A-7	照度の測定者について、該当するものを選んでください。 ① 学校薬剤師 ② その他
A-8	照度の結果について、該当するものを選んでください。(複数回答可) ① 照度が下限値(300Lx)未満の教室等があった ② 照度が下限値(300Lx)未満の黒板があった ③ 最大照度と最少照度の比が20:1を超える教室等があった ④ 最大照度と最少照度の比が20:1を超える黒板があった ⑤ 該当なし
A-9	まぶしさの検査結果について、該当するものを選んでください。(A-1で②を選択した場合、A-9はとばす) ① まぶしさがあった ② まぶしさはなかった → (A-11へ)
A-10	まぶしさの原因に該当するものを選んでください。(複数回答可)(A-1で②を選択した場合、A-10はとばす) ① 黒板に近い窓 ② 直射日光 ③ 窓の外の反射光 ④ 光源及び光沢 ⑤ その他
A-11	「採光及び照明」に関して改善が必要な場合の事後処置について、該当するものを選んでください。 ① 報告書を提出して指導・助言した ② 口頭で指導・助言した ③ 何もなかった
A-12	指導助言の結果、照度・まぶしさについて改善したかどうか該当するものを選んでください。 ① 改善した ② 改善されていない ③ 分からない
A-13	照明器具の清掃の回数について、該当するものを選んでください。 ① 年3回以上 ② 年2回 ③ 年1回 ④ 行わなかった

B. 「採光及び照明」の日常点検についてお尋ねします。

B-1	日常点検を行っていますか。 ① 毎授業日 ② 毎週毎 ③ 毎月 ④ 行わなかった B-1で①～③に印をつけた人 → (B-2・B-3へ) B-1で④に印をつけた人 → (Cへ)
B-2	日常点検項目について、該当するものを選んでください。(複数回答可) ① 黒板面の明るさ ② 机上面の明るさ ③ 黒板面のまぶしさ ④ 机上面のまぶしさ
B-3	日常点検の記録を残していますか。(3年間保存) ① 全て残している ② 問題あった時のみ記載している ③ 記録していない

C. 「検査器具」(照度、温度、湿度、一酸化炭素、二酸化炭素、二酸化窒素、気流、騒音のみ)の供給状況、配備状況についてお尋ねします。

C-1	検査器具の供給、配備について、該当するものを選んでください。 ① 全て揃っている → (C-3へ) ② いくつか揃っている → (C-2へ) ③ 全くない → (以上で質問は終了です)
C-2	供給、配備されている検査器具について、該当するものを選んでください。(複数回答可) ① 照度計 ② アスマン通風乾湿計または同程度のもの ③ 検知管法器具(一酸化炭素・二酸化炭素用) ④ 試験紙光電光度法器具(二酸化窒素用) ⑤ 検知管法器具(二酸化窒素用) ⑥ カタ温度計または微風速計 ⑦ 騒音計
C-3	使用している検査器具の所有者について、該当するものを選んでください。(複数回答可) ① 学校 ② 設置者(教育委員会等) ③ 都道府県薬剤師会 ④ 地域薬剤師会 ⑤ 学校薬剤師個人 ⑥ その他

ご協力ありがとうございました。

表3 都道府県別・学校種別有効回答数

	認定こども園	幼稚園	小学校	中学校	義務教育学校	全日制高等学校	中等教育学校	定時制高等学校	特別支援学校	高等専門学校	合計
北海道	22	73	533	292	2	104	2	12	38	2	1,080
青森	115	17	256	140	0	63	0	7	20	2	620
岩手	2	47	324	162	1	66	0	8	17	1	628
宮城	2	31	314	166	0	59	2	7	22	2	605
秋田	36	20	197	115	0	53	0	6	14	1	442
山形	22	10	217	86	1	51	0	4	15	0	406
福島	0	0	411	208	1	73	0	7	20	0	720
茨城	55	130	412	187	4	86	5	7	18	1	905
栃木	8	15	339	143	1	56	2	5	14	1	584
群馬	4	48	263	137	0	56	2	5	22	1	538
埼玉	0	71	800	412	1	139	0	24	40	0	1,487
千葉	17	77	694	336	0	118	0	8	39	1	1,290
東京	11	100	1,137	554	2	130	5	42	40	0	2,021
神奈川	9	23	754	352	1	126	2	22	36	0	1,325
新潟	21	26	403	202	0	84	6	8	30	1	781
富山	21	18	157	64	0	38	0	2	14	0	314
石川	9	2	179	68	2	41	0	5	9	1	316
福井	10	9	163	61	0	23	1	4	10	0	281
山梨	2	3	99	49	0	14	0	2	5	0	174
長野	5	5	339	172	1	87	1	9	18	0	637
岐阜	28	67	315	148	2	47	0	6	13	1	627
静岡	86	148	477	274	0	117	0	14	30	1	1,147
愛知	13	60	918	396	2	137	0	28	34	2	1,590
三重	15	144	336	143	1	58	0	7	15	3	722
滋賀	33	91	178	83	0	37	0	2	10	0	434
京都	14	54	319	152	4	66	1	13	23	2	648
大阪	68	252	946	440	3	149	0	19	43	2	1,922
兵庫	203	313	704	319	1	139	2	24	43	2	1,750
奈良	28	111	184	96	0	29	2	3	9	0	462
和歌山	14	27	190	101	0	38	0	9	11	0	390
鳥取	21	6	125	60	0	29	0	3	11	1	256
島根	1	40	135	68	0	24	0	3	9	0	280
岡山	20	120	230	93	0	36	1	9	10	0	519
広島	22	46	368	181	4	56	2	8	14	1	702
山口	11	31	275	143	0	73	1	10	16	1	561
徳島	11	70	149	75	0	23	0	1	8	0	337
香川	18	85	126	51	0	25	0	2	7	2	316
愛媛	8	16	164	74	0	34	3	4	6	0	309
高知	4	4	103	54	2	19	0	6	8	0	200
福岡	3	21	711	332	0	107	1	23	36	3	1,237
佐賀	16	9	158	91	5	41	1	7	9	0	337
長崎	22	12	317	164	0	57	0	9	18	1	600
熊本	13	35	334	160	0	71	0	7	17	0	637
大分	12	46	159	76	0	27	0	1	10	0	331
宮崎	87	13	230	124	2	43	2	4	15	1	521
鹿児島	57	89	443	184	3	82	0	2	16	0	876
沖縄	2	4	205	128	0	63	0	6	20	0	428
合計	1,201	2,639	16,790	8,116	46	3,094	44	424	902	37	33,293

Ⅲ. 集計結果及び考察

1-1 学校薬剤師の年代

20代から、上は80代以上の薬剤師まで学校薬剤師活動に携わっている。

全体として50代、60代が各27.1%、40代が21.3%、30代が11.8%であった。

学校種別では、大部分を占める小学校、中学校において、小学校では60代25.9%、50代26.9%、40代22.4%、中学校は60代27.0%、50代27.3%、40代21.4%であり、他の学校種でも概ね同様の結果であった。

都道府県別では、20代～40代で50%以上を占めているのは、鳥取県、秋田県であった。

* 都道府県別データは35ページ参照

1-2 日本薬剤師会の会員ですか

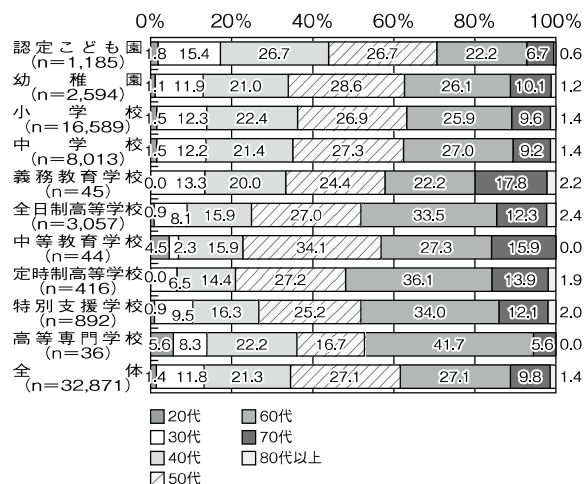
全体では学校薬剤師に従事している薬剤師のうち、「日本薬剤師会の会員」93.9%、「日本薬剤師会の会員外」6.1%であった。

学校種別では、認定こども園97.5%、幼稚園95.3%、小学校93.2%、中学校93.4%と学校薬剤師の殆どが本会の会員であった。

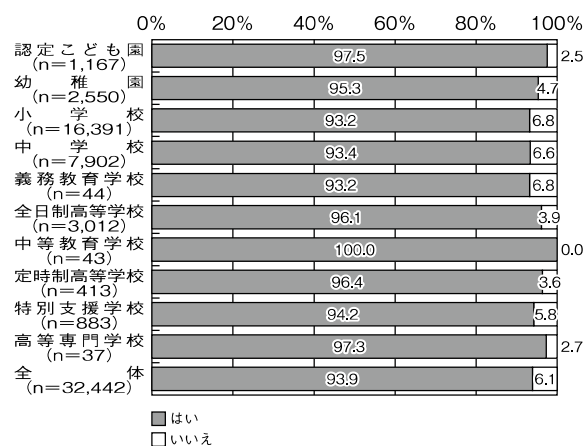
都道府県別では、秋田県、山梨県、和歌山県、香川県においては、100%会員であった。一方会員の割合が少なかったのは、神奈川県77.7%、徳島県81.9%、滋賀県82.0%であった。

* 都道府県別データは35ページ参照

1-1 学校薬剤師の年代



1-2 日本薬剤師会の会員ですか



1-3 学校薬剤師の本務の職場について

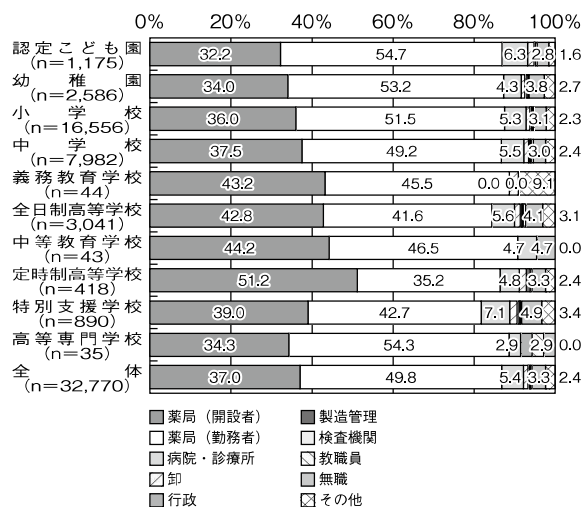
学校薬剤師の本務の職場は、薬局（開設者）37.0%、薬局（勤務者）49.8%、病院・診療所5.4%、卸1.1%、行政0.1%、製造管理0.3%、検査機関0.2%、教職員0.4%、無職3.3%、その他2.4%で薬局関係者が全体の86.8%を占めていた。

学校種別では、全日制高等学校、定時制高等学校においては、薬局（開設者）の割合が最も高かったが、他はすべて薬局（勤務者）の割合が最も高かった。

都道府県別では、薬局（勤務者）が高かったのは、新潟県63.8%、滋賀県61.4%、神奈川県59.6%であり、薬局（開設者）が高かったのは、山梨県67.2%、岐阜県55.3%、和歌山県49.5%で、山梨県と岐阜県は昨年と同様に上位であった。昨年度と比較しても全国的に薬局（勤務者）の割合が増加している。病院・診療所の割合が高かったのは、北海道23.0%及び秋田県19.6%であった。

* 都道府県別データは37ページ参照

1-3 学校薬剤師の本務の職場について



1-3 学校薬剤師の本務の職場について

	1. 薬局（開設者）	2. 薬局（勤務者）	3. 病院・診療所	4. 卸	5. 行政	6. 製造管理	7. 検査機関	8. 教職員	9. 無職	10. その他
認定子ども園	32.2	54.7	6.3	1.5	0.1	0.1	0.2	0.5	2.8	1.6
幼稚園	34.0	53.2	4.3	0.9	0.2	0.5	0.0	0.2	3.8	2.7
小学校	36.0	51.5	5.3	0.9	0.1	0.3	0.1	0.4	3.1	2.3
中学校	37.5	49.2	5.5	1.2	0.1	0.4	0.2	0.5	3.0	2.4
義務教育学校	43.2	45.5	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1
全日制高等学校	42.8	41.6	5.6	1.4	0.2	0.4	0.2	0.6	4.1	3.1
中等教育学校	44.2	46.5	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0
定時制高等学校	51.2	35.2	4.8	1.7	0.0	1.0	0.0	0.5	3.3	2.4
特別支援学校	39.0	42.7	7.1	1.8	0.1	0.4	0.2	0.3	4.9	3.4
高等専門学校	34.3	54.3	2.9	0.0	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	0.0
合計	37.0	49.8	5.4	1.1	0.1	0.3	0.2	0.4	3.3	2.4

昨年度の調査結果と比較すると、その構成はほとんど変わっていない。

1-4 本校の体育・保健体育科、特別活動等における医薬品の授業や講演等の実施状況について

医薬品に関する内容を授業等で取り扱った学校は37.6%であった。「体育・保健体育科のみで実施」12.4%、「特別活動等でのみ実施」18.6%、「体育・保健体育科と特別活動等の両方で実施」6.6%であった。昨年度において「取り扱った」との回答は、44.7%であり、今年度は7.1%減少した

学校種別では、「取り扱った」と回答したのは中等教育学校が59.1%、義務教育学校49.9%、中学校45.6%、全日制高等学校45.0%であった。都道府県別では、静岡県74.0%、岩手県63.4%、熊本県57.0%であった。

* 都道府県別データは37ページ参照

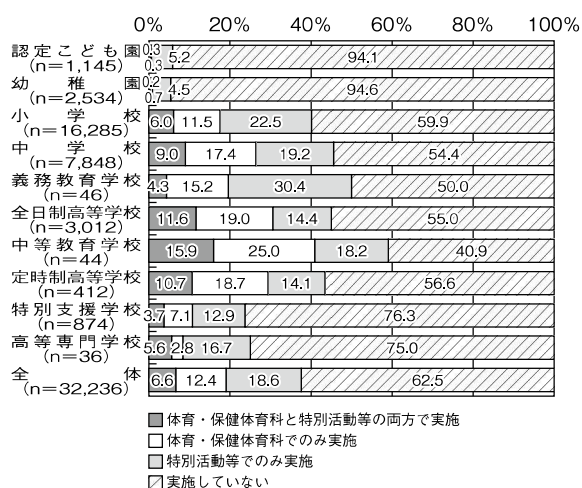
中学校及び高等学校では、学習指導要領に基づき、保健体育科で必ず学習する内容になっているにも関わらず実施していない学校が増えている事に関しては、学校薬剤師からも積極的に提案し、アピールしていくことも必要ではないかと考えられる。

1-5 学校保健計画の参画 学校保健計画の作成にあたり学校から確認要請がありましたか

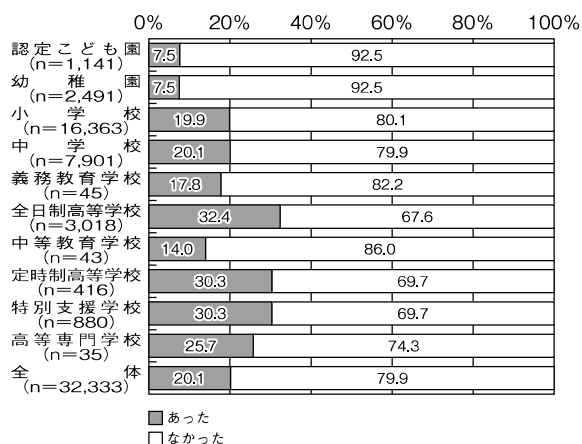
学校保健計画の作成にあたり「学校から確認要請があった」20.1%、「学校から確認要請がなかった」79.9%であった。

学校種別で「あった」の割合が高かったのは、全日制高等学校32.4%、定時制高等学校及び特別支援学校30.3%であった。

1-4 本校の体育・保健体育科、特別活動等における医薬品の授業や講演等の実施状況について



1-5 学校保健計画の参画 学校保健計画の作成にあたり学校から確認要請がありましたか



都道府県別で「あった」の割合が高かったのは岐阜県63.5%、沖縄県42.8%、茨城県32.5%であった。

* 都道府県別データは40ページ参照

学校保健計画の策定は、次年度の環境衛生検査の完全実施に向けて、検査項目またはその実施時期を協議・決定するために必須なので、学校薬剤師にも積極的に参加することが求められる。

1-6 学校保健計画における環境衛生検査の記載状況について

学校保健計画に環境衛生検査が記載されていた（「全ての項目について記載がある」または「一部の項目しか記載がない」のいずれか）のは、全体で73.7%であった。

学校種別で記載されていた割合が低かったのは、認定子ども園45.8%、幼稚園47.8%、高等専門学校55.9%であった。その他は8割程度の記載であった。

都道府県別で記載されていた割合が高かったのは、岩手県91.6%、福島県及び沖縄県91.5%、岐阜県91.4%であった。

* 都道府県別データは41ページ参照

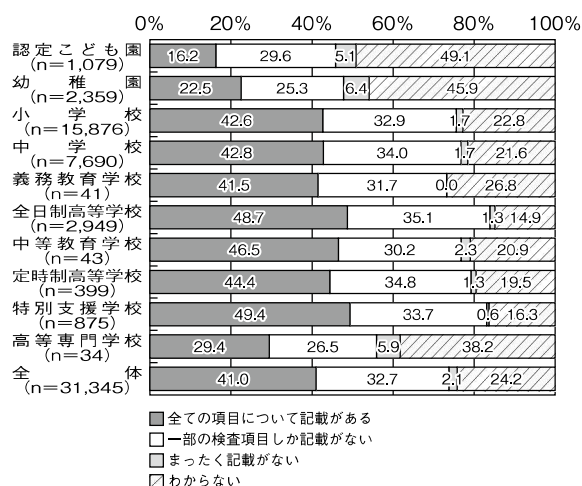
1-7 学校保健委員会について 学校保健委員会への出席要請がありましたか。

「学校保健委員会への出席要請があった」54.1%、「学校保健委員会への出席要請がなかった」45.9%であった。

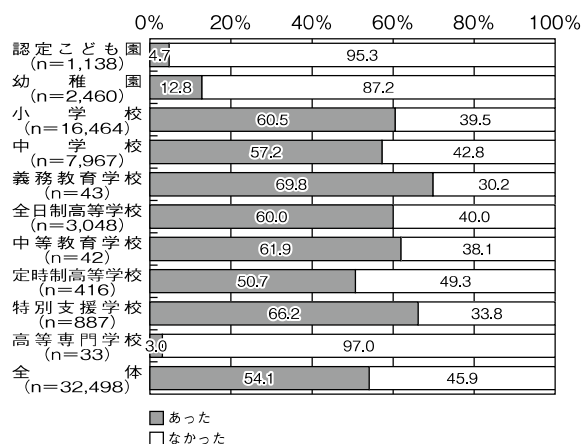
学校種別で高かったのは、義務教育学校が69.8%、特別支援学校66.2%、中等教育学校61.9%であった。

都道府県別で高かったのは、宮城県92.2%、

1-6 学校保健計画における環境衛生検査の記載状況について



1-7 学校保健委員会について 学校保健委員会への出席要請がありましたか。



岐阜県89.2%、群馬県86.2%であった。

* 都道府県別データは42ページ参照

学校保健委員会への学校薬剤師の参画率をあげるためにも学校薬剤師も積極的にアピールする必要がある。

1-8 環境衛生検査の実施状況について

学校環境衛生検査の実施状況については、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」30.9%、「一部実施していない項目がある」66.3%で、合わせると97.2%が実施しており、昨年の96.2%を上回る結果となった。

「まったく実施していない」2.8%で、昨年度の2.1%を上回っているが、昨年度は回答に「わからない」という項目があり、2.1%であったので「わからない」がなくなった分、「まったく実施していない」の割合が上がったと予想できる。

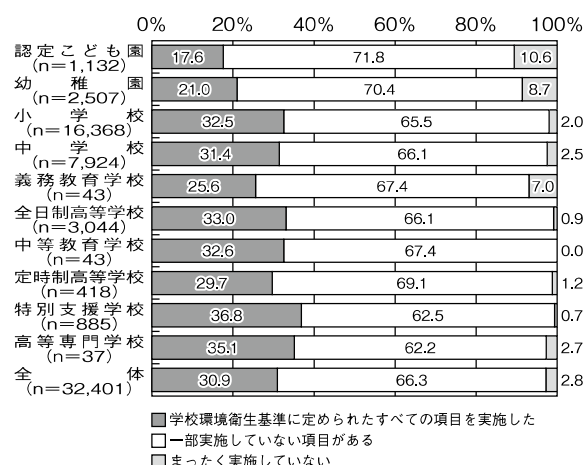
学校種別では、昨年度同様に認定こども園、幼稚園、義務教育学校で「まったく実施していない」の割合が高かった。

都道府県別では「まったく実施していない」と回答した割合が10%以上であったのは、高知県12.6%、奈良県11.1%、島根県10.7%であった。

* 都道府県別データは42ページ参照

学校保健安全法の第5条において、学校では環境衛生検査の計画を策定し、実施することになっているので、100%実施に向けて、さらなる努力が必要である。

1-8 環境衛生検査の実施状況について



1-9 1-8で③に印をつけた人にお伺いします。まったく実施していない理由は何ですか。(複数回答可)

理由の内訳として「器具が足りない」及び「人が足りない」が7.2%、「予算が足りない」6.1%、「計画がなかった」66.3%、「その他」29.7%であった。

学校種別では「計画がなかった」は、高等専門学校100%、定時制高等学校80.0%、幼稚園79.1%、「その他」は、義務教育学校100%、特別支援学校80.0%であった。

この結果を踏まえると、実施していない理由は、器具や人の問題だけではなく、学校保健安全法自体を知らない教員がいることも要因ではないかと考えられる。そのような学校では、学校保健計画に学校環境衛生検査を盛り込むように助言し、学校保健計画の策定から学校薬剤師が関与していくことが重要である。

都道府県別では「器具が足りない」は、長崎県28.9%、福井県25.0%、愛媛県23.5%、「人が足りない」は、愛知県50.0%、高知県31.8%、福井県25.0%、「予算が足りない」は、奈良県28.6%、長崎県26.7%、鳥取県25.0%で、「計画がなかった」は、6県において100%であった。

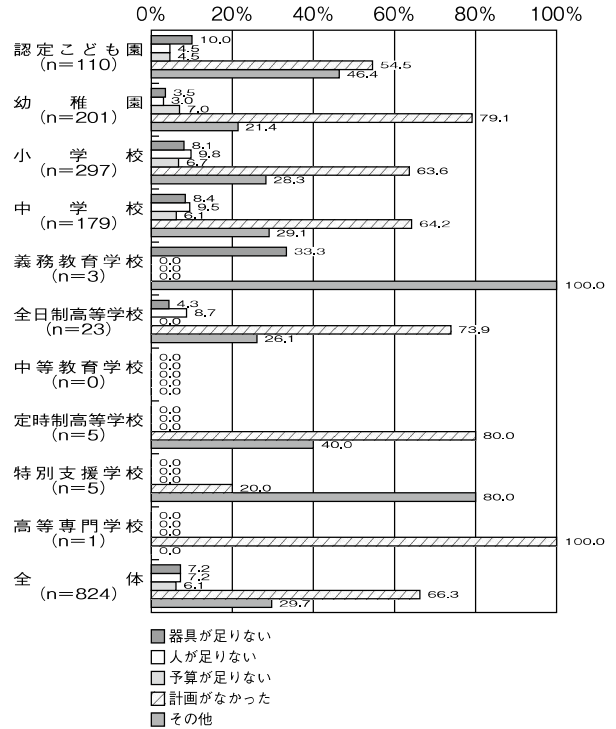
* 都道府県別データは43ページ参照

2-1 平成28年度における出校日数について (電話対応及び給食センター立ち入り検査も含む)

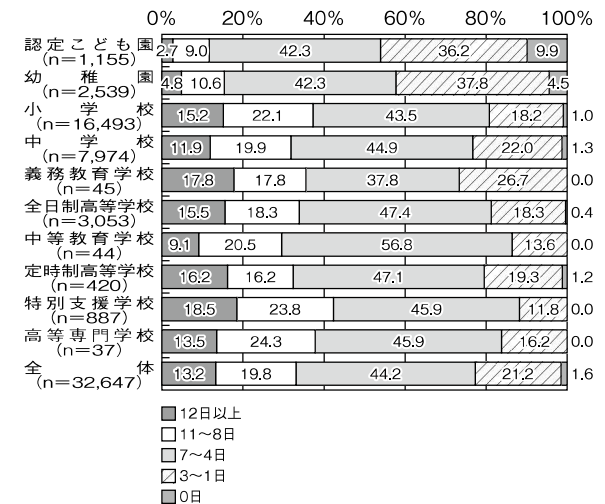
「7~4日」44.2%、「3~1日」21.2%、「11~8日」19.8%、「12日以上」13.2%、「0日」1.6%であった。

学校種別では、「7~4日」で高かったのは、中等教育学校56.8%、低かったのは義務教育学

1-9 環境衛生検査をまったく実施していない人にお伺いします。まったく実施していない理由は何ですか。(複数回答可)



2-1 平成28年度における出校日数について



校37.8%、それ以外は4割程度であった。幼稚園及び認定こども園は「3～1日」が他の校種と比べて高く、それぞれ37.8%、36.2%であった。「0日」も高く、幼稚園4.5%、認定こども園9.9%であった。

都道府県別では、「12日以上」で高かったのは、東京都51.2%、愛知県32.7%、神奈川県32.2%であった。「11～8日」で高かったのは、愛知県34.1%、京都府33.0%、滋賀県31.5%であった。

「7～4日」で高かったのは、鳥取県67.2%、宮城県67.1%、新潟県66.0%であった。「3～1日」で高かったのは、大分県63.4%、秋田県61.8%、高知県58.4%であった。「0日」で高かったのは、島根県9.5%、愛媛県9.2%、高知県9.1%で、低かったのは、山梨県、愛知県、滋賀県及び徳島県0%であった。

* 都道府県別データは44ページ参照

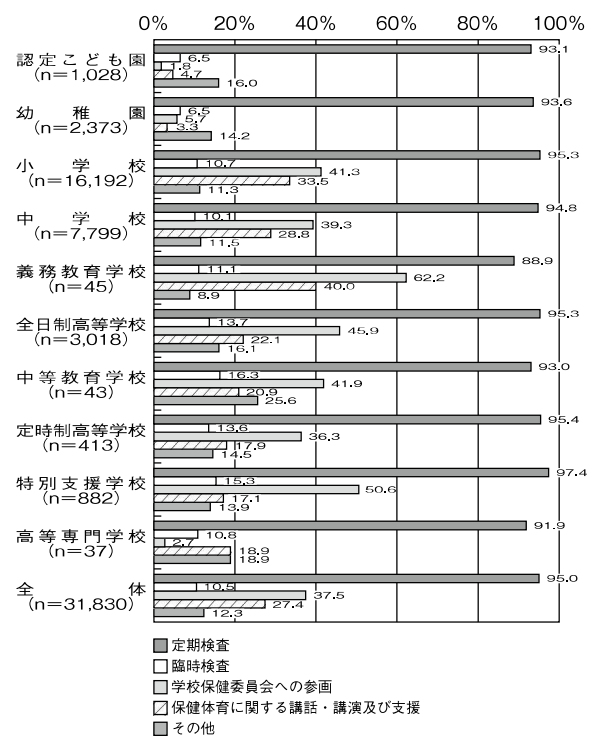
2-2 出校した人(2-1で⑤以外)にお伺いします。(2-1で⑤の人は裏面のAへ) 出校目的について(複数回答可)

「定期検査」95.0%、「学校保健委員会への参画」37.5%、「保健教育に関する講話・講演及び支援」27.4%、「臨時検査」10.5%、「その他」12.3%であった。例年と比較して大きな変化はなかった。

学校種別では、「定期検査」が高かったのは特別支援学校97.4%、低かったのは義務教育学校88.9%であった。

都道府県別では、「定期検査」の割合が高かったのは、宮崎県99.8%、新潟県99.7%、滋賀県99.5%であった。一方、低かったのは、愛媛県79.6%、島根県78.5%であった。「臨時検査」が高かったのは熊本県21.1%で、平成28年4月に発生した地震のためと考えられる。「学校保

2-2 出校した人にお伺いします。出校目的について(複数回答可)



健委員会への参画」が高かったのは、岐阜県82.7%、佐賀県74.4%、群馬県71.1%、低かったのは、北海道5.1%、青森県7.8%、宮崎県9.1%であった。「保健教育に関する講話・講演及び支援」が高かったのは、静岡県72.4%、岩手県60.7%であった。

*都道府県別データは46ページ参照

定期検査を行っていない学校薬剤師は5.0%で、昨年度より0.5%増加した。

定期検査は、学校薬剤師の主務であることから、引き続き改善が必要である。「学校保健委員会への参画」の割合も昨年度と同程度であるが、学校の保健活動を話し合う大切な場であるので、出席できない場合でも、あらかじめ環境衛生活動に関する意見や資料等を提出していただきたい。

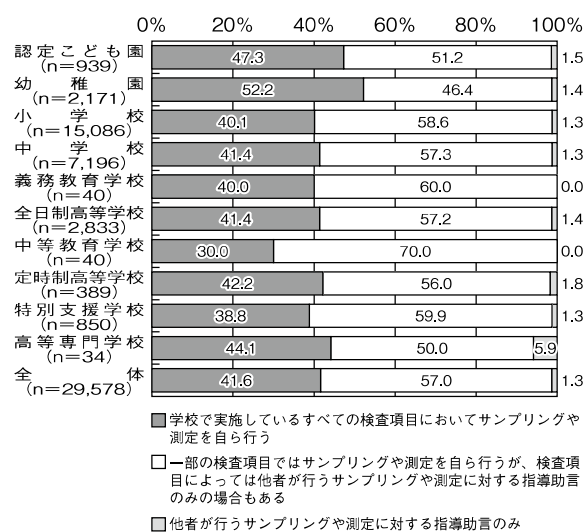
2-3 定期検査のために出校した人（2-2において①に印をつけた人）にお伺いします。学校薬剤師の学校環境衛生基準に基づく定期検査への関与状況について

「定期検査」と回答した学校薬剤師(95.0%)において、「すべての検査項目においてサンプリングや測定を自ら行う」は41.6%で昨年より3.1%減少した。「一部の検査項目では自ら行い、一部は指導助言のみの場合もある」は57.0%で、昨年より3.6%増加した。「他者が行うサンプリングや測定に対する指導助言のみ」は1.3%で0.5%減少した。

学校種別では、「すべて自ら行う」で高かったのは幼稚園52.2%、「一部は自ら行う」で高かったのは、中等教育学校70.0%、「指導助言のみ」で高かったのは、高等専門学校5.9%であった。

都道府県別では、「すべて自ら行う」で高かったのは、徳島県71.1%、三重県70.2%、京都府

2-3 定期検査のために出校した人にお伺いします。学校薬剤師の学校環境衛生基準に基づく定期検査への関与状況について



65.0%であった。「一部は自ら行う」で高かったのは、新潟県85.8%、長崎県81.2%、熊本県80.6%であった。「指導助言のみ」で高かったのは愛媛県12.0%、大分県6.8%、群馬県6.6%であった。

*都道府県別データは47ページ参照

精密な機器による分析が必要な場合は、検査機関に委託して行う必要がある。その割合は昨年度より減少傾向にあるが、学校に対しては、検査機関から提出された結果について説明し、指導・助言することが大切である。

2-4 学校保健委員会に参加した人（2-2において③に印をつけた人）にお伺いします。議事における環境衛生に関する指導助言等の有無について

「学校保健委員会への参画」と回答した学校薬剤師（37.5%）において、議事において指導・助言等が「あった」85.4%、「なかった」14.6%で、昨年度と同程度であった。

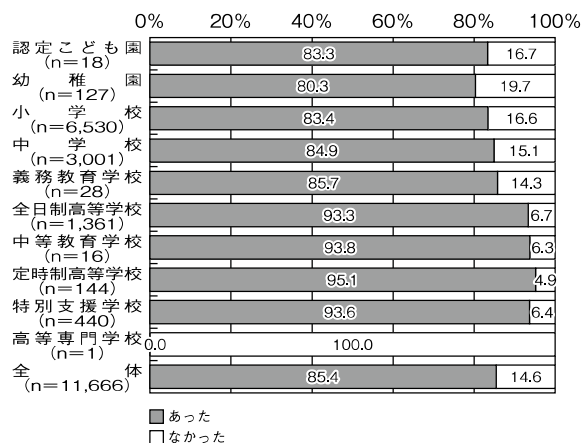
学校種別では、「あった」が9割以上だったのは、定時制・全日制高等学校、中等教育学校、特別支援学校で、その他の校種も高等専門学校以外は8割を超えていた。

都道府県別では、「あった」が高かったのは、沖縄県98.9%、岐阜県98.6%、宮城県98.3%で、「なかった」が高かったのは、宮崎県46.8%、徳島県41.8%、和歌山県41.0%であった。

*都道府県別データは47ページ参照

定期検査結果は、その都度学校に報告するだけでなく、学校保健委員会で報告し指導・助言することの意義は大きいといえる。学校における学校薬剤師の活動を、教職員だけでなく児童生徒、学校医、学校歯科医、保護者、地域の人たちにも認識してもらいたい機会なので、積極的に参加し、指導助言等をしていただきたい。

2-4 学校保健委員会に参加した人にお伺いします。議事における環境衛生に関する指導助言等の有無について



2-5 保健に関する講話・講演及び支援を行った人（2-2において④に印をつけた人）にお伺いします。講話・講演及び支援の題材について（複数回答可）

保健に関する講話・講演及び支援を行った学校薬剤師（27.4%）において、取り扱った題材として「薬物乱用防止」が最もその割合が高く79.1%、次いで「喫煙、飲酒防止」50.2%、「医薬品」43.0%、「学校環境衛生」11.2%であり、昨年度と同様の傾向であった。

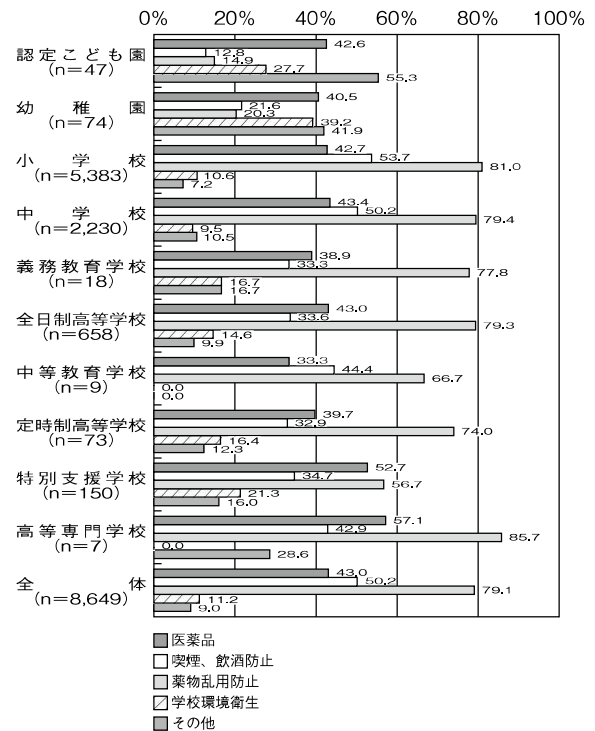
学校種別では、「医薬品」が高かったのは、高等専門学校57.1%、特別支援学校52.7%であったが、他の校種は4割程度であった。「喫煙、飲酒防止」が高かったのは、小学校53.7%、中学校50.2%で、幼稚園及び認定子ども園は低く2割程度、他の校種は4割程度であった。「薬物乱用防止」が高かったのは、高等専門学校85.7%、小学校81.0%、中学校79.4%、全日制高等学校79.3%で、「学校環境衛生」が高かったのは、幼稚園39.2%であった。本項目は全体的に低く、中等教育学校及び高等専門学校は0%であった。

都道府県別では、「医薬品」が高かったのは、静岡県74.4%、三重県71.4%、愛知県63.3%、「喫煙、飲酒防止」で高かったのは、静岡県77.1%、長野県75.3%、熊本県69.1%、「薬物乱用防止」が高かったのは、岩手県95.1%、宮城県95.0%、熊本県92.6%、「学校環境衛生」で高かったのは、群馬県36.0%、山梨県29.6%、香川県29.2%であった。

* 都道府県別データは48ページ参照

青少年の薬物問題は社会的にも大きくなっており、学校薬剤師が専門職として防止教育に積極的に関わることは重要なことである。薬物に手を出さないよう、小学生のうちから正しい薬の使い方をはじめ、飲酒やたばこによる

2-5 保健に関する講話・講演及び支援を行った人にお伺いします。講話・講演及び支援の題材について（複数回答可）



身体への害、受動喫煙から自分を守ることの大切さ等の教育を継続的に行う必要がある。

A. 「採光及び照明」の定期検査についてお尋ねします。

A-1 実施した「採光及び照明」の検査項目について

「照度とまぶしさの両方とも行った」60.1%、「照度のみを行った」20.5%、「まぶしさのみを行った」0.6%、「両方とも行わなかった」18.7%であった。

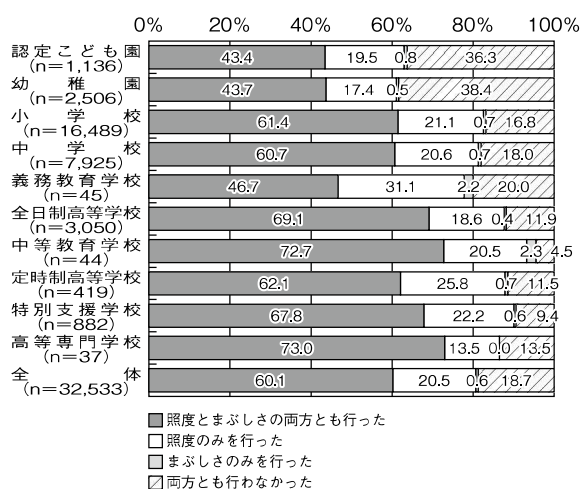
学校種別では、「照度とまぶしさの両方とも行った」で高かったのは、高等専門学校73.0%、中等教育学校72.7%、全日制高等学校69.1%、「照度のみ行った」で高かったのは、義務教育学校31.1%、定時制高等学校25.8%、特別支援学校22.2%、「まぶしさのみを行った」で高かったのは、中等教育学校2.3%、義務教育学校2.2%、「両方とも行わなかった」で高かったのは、幼稚園38.4%、認定こども園36.3%、義務教育学校20.0%であった。

都道府県別では、「照度とまぶしさの両方とも行った」で高かったのは、三重県89.9%、宮城県88.0%、千葉県87.4%であった。「照度のみ行った」で高かったのは、鳥取県39.7%、高知県38.0%、山形県37.6%、「まぶしさのみを行った」で高かったのは、山梨県5.0%、栃木県4.1%、富山県2.9%、「両方とも行わなかった」で高かったのは、兵庫県55.9%、石川県42.9%、福岡県42.8%であった。

* 都道府県別データは49ページ参照

まぶしさとは、不快なまぶしさの総称であるが、器具がなくても、まぶしさを感じるかどうか確認するだけなので、照度検査と一緒に行うべきである。

A-1 実施した「採光及び照明」の検査項目について、該当するものを選んでください。



平成24年度全国学校保健調査集計結果報告は、「照度とまぶしさの両方とも行った」54.4%、「照度のみ」22.0%、「まぶしさのみ」1.6%、「どちらも行わなかった」22.0%で、「照度とまぶしさの両方とも行った」が、比較すると5.7%増加している。

A-2 実施した「採光及び照明」の場所について

「普通教室」96.6%、「コンピュータ教室」32.2%、「体育館」3.5%、「特別教室（図書室・家庭科室等）」27.1%、「教室以外の場所（廊下・階段）」4.5%であった。

学校種別では、「普通教室」で高かったのは、高等専門学校100%、幼稚園98.1%、義務教育学校97.1%、小学校97.0%、「コンピュータ教室」で高かったのは、中等教育学校56.1%、義務教育学校48.6%、高等専門学校40.6%、「体育館」で高かったのは、定時制高等学校9.6%、義務教育学校8.6%、全日制高等学校8.4%、「特別教室（図書室・家庭科室等）」で高かつ

A-2 実施した「採光及び照明」の場所について、該当するものを選んでください。（複数回答可）

	1. 普通教室	2. コンピュータ教室	3. 体育館	4. 特別教室（図書室・家庭科室等）	5. 教室以外の場所（廊下・階段）
認定こども園（n = 710）	96.1	0.3	4.4	5.9	5.5
幼稚園（n = 1,522）	98.1	1.8	3.8	10.1	5.2
小学校（n = 13,554）	97.0	34.1	2.3	27.0	4.3
中学校（n = 6,415）	96.2	35.8	3.1	30.5	3.8
義務教育学校（n = 35）	97.1	48.6	8.6	37.1	11.4
全日制高等学校（n = 2,660）	95.5	39.2	8.4	31.8	4.4
中等教育学校（n = 41）	95.1	56.1	0.0	24.4	2.4
定時制高等学校（n = 364）	95.9	37.9	9.6	27.7	6.9
特別支援学校（n = 791）	94.2	30.0	7.8	36.2	9.4
高等専門学校（n = 32）	100.0	40.6	3.1	28.1	0.0
全体（n = 26,124）	96.6	32.2	3.5	27.1	4.5

たのは、義務教育学校37.1%、特別支援学校36.2%、全日制高等学校31.8%、「教室以外の場所（廊下・階段）」で高かったのは、義務教育学校11.4%、特別支援学校9.4%、定時制高等学校6.9%であった。

都道府県別では、「普通教室」で高かったのは、山梨県100%、島根県99.4%、茨城県・神奈川県・三重県・鳥取県が99.1%、「コンピュータ教室」で高かったのは、新潟県87.9%、三重県77.6%、富山県66.8%、「体育館」で高かったのは、長崎県24.5%、大分県19.1%、大阪府16.0%、「特別教室（図書室・家庭科室等）」で高かったのは、沖縄県62.4%、鹿児島県61.8%、高知県59.5%、「教室以外の場所（廊下・階段）」で高かったのは、島根県25.3%、高知県22.9%、長崎県15.1%であった。

* 都道府県別データは51ページ参照

平成24年度全国学校保健調査集計結果報告は、「普通教室のみ」58.8%、「普通教室とコンピュータ教室の両方とも行った」35.0%、「コンピュータ教室のみ」0.7%、「普通教室以外の特別教室や体育館等」19.7%であった。

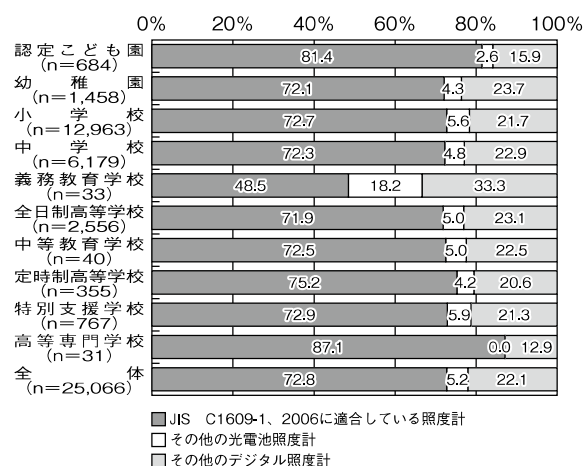
学校環境衛生管理マニュアルでは、検査場所は、学校の授業中等に、各階1以上の教室等を選び検査を行うことになっているので、平成24年度調査と設問形式は異なるが、同調査と比較すると普通教室においては若干増加していた。

A-3 測定に使用した照度計について

「JIS C1609-1、2006に適合している照度計」72.8%、「その他の光電池照度計」5.2%、「その他のデジタル照度計」22.1%であった。

学校種別では、「JIS C1609-1、2006に適合している照度計」で高かったのは、高等専門学校87.1%、認定こども園81.4%、定時制高等学校が75.2%、「その他の光電池照度計」で高かつ

A-3 測定に使用した照度計について、該当するものを選んでください。



たのは、義務教育学校18.2%、特別支援学校5.9%、小学校5.6%、「その他のデジタル照度計」で高かったのは、義務教育学校33.3%、幼稚園23.7%、全日制高等学校23.1%であった。

都道府県別では、「JIS C1609-1、2006に適合している照度計」が高かったのは、宮崎県96.7%、富山県93.5%、香川県92.0%、「その他の光電池照度計」で高かったのは、愛媛県12.9%、熊本県12.2%、佐賀県11.5%、「その他のデジタル照度計」で高かったのは、奈良県57.3%、佐賀県47.9%、大分県40.5%であった。

*都道府県別データは52ページ参照

平成24年全国学校保健調査集計結果報告は、「JIS C1609-1、2006に適合している照度計」74.9%、「光電池照度計」7.2%、「その他のデジタル照度計」17.9%で、比較するとあまり変化はなかった。

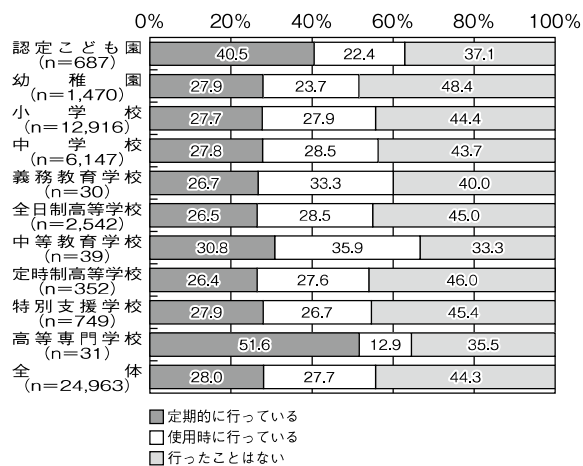
A-4 照度計の補正について

「定期的に行っている」28.0%、「使用時に行っている」27.7%、「行ったことはない」44.3%であった。

学校種別では、「定期的に行っている」で高かったのは、高等専門学校51.6%、認定こども園40.5%、中等教育学校30.8%、「使用時に行っている」で高かったのは、中等教育学校35.9%、義務教育学校33.3%、全日制高等学校と中学校が28.5%、「行ったことはない」で高かったのは、幼稚園48.4%、定時制高等学校46.0%、特別支援学校45.4%であった。

都道府県別では、「定期的に行っている」で高かったのは、宮崎県74.6%、香川県72.0%、青森県63.8%、「使用時に行っている」で高かったのは、佐賀県54.0%、徳島県50.6%、長野県47.3%、「行ったことはない」で高かったのは、福井県68.7%、奈良県65.3%、新潟県62.1%で

A-4 照度計の補正について、該当するものを選んでください。



あった。

*都道府県別データは52ページ参照

平成24年度全国学校保健調査集計結果報告は、「定期的に行っている」29.5%、「使用時のみ行っている」26.5%、「一度も行ったことがない」44.0%で、比較するとあまり変化はなかった。

A-5 検査の回数について

「2回以上行った」45.8%、「1回行った」54.2%であった。

学校種別では、「2回以上行った」で高かったのは、義務教育学校57.1%、特別支援学校52.7%、定時制高等学校52.4%、「1回行った」で高かったのは、中等教育学校67.5%、認定こども園58.4%、小学校および中学校の55.2%であった。

都道府県別では、「2回以上行った」で高かったのは、神奈川県81.4%、宮崎県79.3%、三重県79.2%、「1回行った」で高かったのは、新潟県96.6%、富山県90.6%、和歌山県90.4%であった。

*都道府県別データは53ページ参照

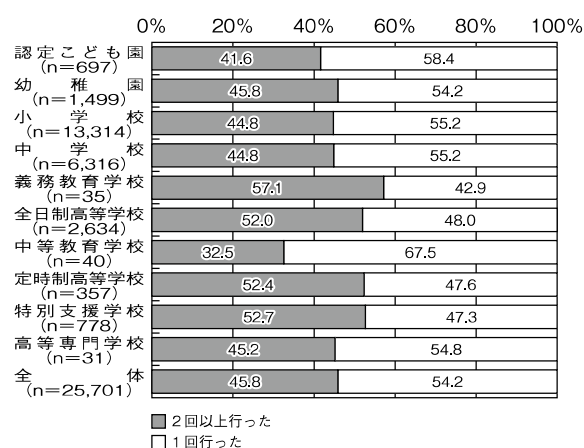
平成24年度全国学校保健調査集計報告は、「2回以上」36.3%、「1回行った」63.7%だった。比較すると「2回以上」が9.5%増えている。

A-6 照度を測定した場所について

「教室の机上」96.7%、「教室の黒板」91.7%、「テレビ画面（教室又は視聴覚室）」8.2%、「コンピュータ教室の机上」31.5%、「コンピュータ画面」21.3%、「その他（床面等）」6.3%であった。

学校種別では、「教室の机上」で高かったの

A-5 検査の回数について、該当するものを選んでください。



は、義務教育学校100%、中学校98.3%、全日制高等学校98.2%、「教室の黒板」で高かったのは、全日制高等学校95.7%、中学校95.5%、小学校95.3%、「テレビ画面（教室又は視聴覚室）」で高かったのは、小学校10.4%、中学校7.7%、中等教育学校7.5%、「コンピュータ教室の机上」で高かったのは、中等教育学校55.0%、義務教育学校45.7%、高等専門学校40.6%、「コンピュータ画面」で高かったのは、義務教育学校31.4%、中等教育学校30.0%、全日制高等学校27.1%、「その他（床面等）」で高かったのは、認定こども園34.1%、幼稚園24.1%、特別支援学校10.0%であった。

都道府県別では、「教室の机上」で高かったのは、富山県99.2%、東京都98.9%、岩手県98.8%、「教室の黒板」で高かったのは、神奈川県97.1%、長崎県96.8%、高知県96.7%、「テレビ画面（教室又は視聴覚室）」で高かったのは、滋賀県50.2%、京都府49.4%、新潟県32.3%、「コンピュータ教室の机上」で高かったのは、新潟県87.4%、三重県77.1%、富山県66.7%、「コンピュータ画面」で高かったのは、新潟県82.4%、三重県74.9%、富山県60.3%、

A-6 照度を測定した場所について、該当するものを選んでください。（複数回答可）

	1. 教室の机上	2. 教室の黒板	3. テレビ画面（教室又は視聴覚室）	4. コンピュータ教室の机上	5. コンピュータ画面	6. その他（床面等）
認定こども園（n = 703）	79.9	42.4	1.6	0.7	0.7	34.1
幼稚園（n = 1,518）	84.7	57.9	3.0	2.6	1.6	24.1
小学校（n = 13,536）	97.9	95.3	10.4	33.3	22.2	4.0
中学校（n = 6,404）	98.3	95.5	7.7	34.9	23.7	3.4
義務教育学校（n = 35）	100.0	85.7	5.7	45.7	31.4	5.7
全日制高等学校（n = 2,661）	98.2	95.7	3.6	38.4	27.1	5.9
中等教育学校（n = 40）	97.5	87.5	7.5	55.0	30.0	2.5
定時制高等学校（n = 364）	96.4	94.0	3.8	36.8	23.9	8.5
特別支援学校（n = 789）	96.1	92.8	7.0	28.4	19.5	10.0
高等専門学校（n = 32）	90.6	93.8	0.0	40.6	21.9	3.1
全体（n = 26,082）	96.7	91.7	8.2	31.5	21.3	6.3

「その他（床面等）」で高かったのは、大阪府及び島根県16.0%、大分県15.3%であった。

*都道府県別データは54ページ参照

平成24年度全国学校保健調査集計結果報告は、「教室の机上」96.9%、「黒板」90.0%で、「コンピュータ教室の机上」33.7%、「コンピュータ画面」20.0%、「教室又は視聴覚室のテレビ画面」10.5%だった。比較するとあまり変化はなかった。

A-7 照度の測定者について

「学校薬剤師」94.1%、「その他」5.9%であった。

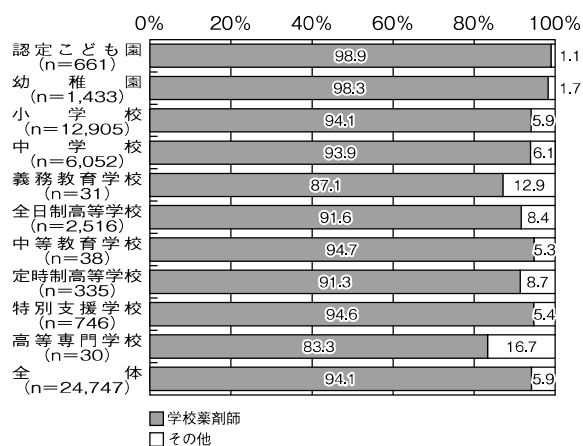
学校種別では、「学校薬剤師」で高かったのは、認定こども園98.9%、幼稚園98.3%、中等教育学校94.7%、「その他」で高かったのは、高等専門学校16.7%、義務教育学校12.9%、定時制高等学校8.7%であった。

都道府県別では、「学校薬剤師」で高かったのは、宮城県と三重県が100%、神奈川県99.8%、滋賀県と大分県99.7%、「その他」で高かったのは、愛媛県37.7%、岡山県35.3%、栃木県29.5%であった。

*都道府県別データは55ページ参照

平成24年度全国学校保健調査集計結果報告は、「学校薬剤師」88.8%、「教職員」21.3%、「その他」1.8%だった。比較すると学校薬剤師が5.3%増加している。

A-7 照度の測定者について、該当するものを選んでください。



A-8 照度の結果について

「照度が下限値(300lx)未満の教室等があった」12.7%、「照度が下限値(300lx)未満の黒板があった」10.4%、「最大照度と最少照度の比が20:1を超える教室等があった」1.5%、「最大照度と最少照度の比が20:1を超える黒板があった」0.4%、「該当なし」82.3%であった。

学校種別では、「照度が下限値(300lx)未満の教室等があった」で高かったのは、定時制高等学校18.2%、全日制高等学校14.5%、中学校13.2%、「照度が下限値(300lx)未満の黒板があった」で高かったのは、義務教育学校14.7%、定時制高等学校13.8%、高等専門学校13.3%、「最大照度と最少照度の比が20:1を超える教室等があった」で高かったのは、中学校及び全日制高等学校1.8%、小学校1.5%、「最大照度と最少照度の比が20:1を超える黒板があった」で高かったのは、小学校0.5%、中学校と全日制高等学校が0.4%、幼稚園0.1%、「該当

A-8 照度の結果について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

	1. 照度が下限値(300lx)未満の教室等があった	2. 照度が下限値(300lx)未満の黒板があった	3. 最大照度と最少照度の比が20:1を超える教室等があった	4. 最大照度と最少照度の比が20:1を超える黒板があった	5. 該当なし
認定こども園(n=689)	12.0	4.8	0.9	0.0	84.5
幼稚園(n=1,453)	10.7	7.3	0.7	0.1	85.3
小学校(n=12,941)	12.1	10.7	1.5	0.5	82.8
中学校(n=6,184)	13.2	11.0	1.8	0.4	81.4
義務教育学校(n=34)	11.8	14.7	0.0	0.0	85.3
全日制高等学校(n=2,576)	14.5	10.9	1.8	0.4	80.2
中等教育学校(n=39)	7.7	5.1	0.0	0.0	92.3
定時制高等学校(n=347)	18.2	13.8	0.3	0.0	75.8
特別支援学校(n=765)	13.1	9.8	1.2	0.0	82.6
高等専門学校(n=30)	6.7	13.3	0.0	0.0	86.7
全体(n=25,058)	12.7	10.4	1.5	0.4	82.3

なし」で高かったのは、中等教育学校92.3%、高等専門学校86.7%、幼稚園と義務教育学校が85.3%であった。

都道府県別では、「照度が下限値（300lx）未満の教室等があった」で高かったのは、京都府21.3%、岐阜県20.8%、鳥根県20.5%、「照度が下限値（300lx）未満の黒板があった」で高かったのは、京都府26.4%、岐阜県と熊本県が18.0%、新潟県17.8%、「最大照度と最少照度の比が20：1を超える教室等があった」で高かったのは、鳥取県4.5%、熊本県4.2%、福島県3.4%、「最大照度と最少照度の比が20：1を超える黒板があった」で高かったのは、富山県1.7%、山形県1.4%、熊本県1.3%、「該当なし」で高かったのは、香川県96.1%、高知県92.7%、群馬県92.5%であった。

平成24年度全国学校保健調査集計結果報告は、「教室の照度が下限値(300lx)未満」15.7%、「コンピュータ教室の照度が下限値（500lx）未満」9.7%、「最大照度と最少照度の比が20：1を超える教室及び黒板」はそれぞれ1.6%、0.6%、との結果であった。比較するとあまり変化はなかった。

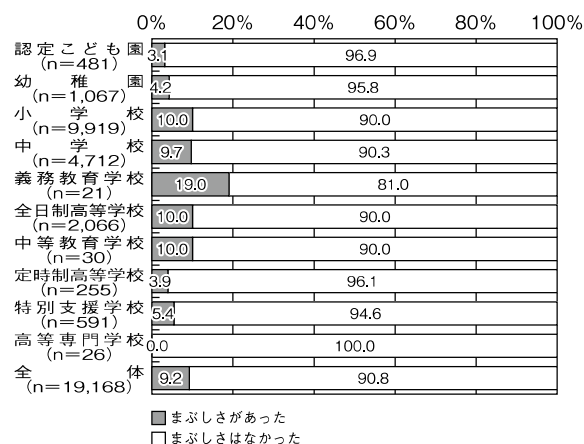
〈補足〉教室の照度の基準値は、「下限値300lx」と定められているが、黒板は「500lx以上が望ましい。」となっており、学校現場では、500lx以上を目指すようご指導をお願いしたい。

A-9 まぶしさの結果について

「まぶしさがあった」9.2%、「まぶしさはなかった」90.8%であった。

学校種別では、「まぶしさがあった」で高かったのは、義務教育学校19.0%、小学校、全日制高等学校及び中等教育学校10.0%、「まぶしさがなかった」で高かったのは、高等専門学校100%、認定こども園96.9%、定時制高等学校

A-9 まぶしさの検査結果について、該当するものを選んでください。



96.1%であった。

都道府県別では、「まぶしさがあった」で高かったのは、沖縄県32.1%、佐賀県27.8%、山形県23.9%、「まぶしさがなかった」で高かったのは、青森県97.9%、宮崎県97.7%、新潟県97.1%であった。

*都道府県別データは57ページ参照

平成24年度全国学校保健調査集計結果報告は、「まぶしさがあった」8.1%、「まぶしさがなかった」91.9%だった。比較するとあまり変化はなかった。

A-10 まぶしさの原因について

「黒板に近い窓」17.7%、「直射日光」72.1%、「窓の外の反射光」14.8%、「光源及び光沢」6.9%、「その他」2.7%だった。

学校種別では、「黒板に近い窓」で高かったのは、中等教育学校66.7%、定時制高等学校30.0%、全日制高等学校28.0%、「直射日光」で高かったのは、特別支援学校78.1%、義務教育学校75.0%、小学校73.8%、「窓の外の反射

A-10 まぶしさの原因に該当するものを選んでください。(複数回答可)

	1. 黒板に近い窓	2. 直射日光	3. 窓の外の反射光	4. 光源及び光沢	5. その他
認定こども園(n=14)	0.0	64.3	28.6	0.0	7.1
幼稚園(n=44)	15.9	72.7	25.0	0.0	4.5
小学校(n=974)	16.6	73.8	13.7	7.7	2.6
中学校(n=446)	16.6	73.3	14.3	6.7	3.1
義務教育学校(n=4)	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
全日制高等学校(n=200)	28.0	62.5	18.0	4.0	1.5
中等教育学校(n=3)	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
定時制高等学校(n=10)	30.0	40.0	10.0	20.0	0.0
特別支援学校(n=32)	3.1	78.1	18.8	12.5	6.3
高等専門学校(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全体(n=1,727)	17.7	72.1	14.8	6.9	2.7

光」で高かったのは、認定こども園28.6%、幼稚園と義務教育学校が25.0%、特別支援学校18.8%、「光源及び光沢」で高かったのは、定時制高等学校20.0%、特別支援学校12.5%、小学校7.7%、「その他」で高かったのは、認定こども園7.1%、特別支援学校6.3%、幼稚園4.5%であった。

都道府県別では、「黒板に近い窓」で高かったのは、富山県47.1%、奈良県42.1%、大分県36.4%、「直射日光」で高かったのは、徳島県95.2%、鳥取県94.7%、山梨県92.3%、「窓の外の反射光」で高かったのは、群馬県42.9%、沖縄県41.9%、長崎県30.4%、「光源及び光沢」で高かったのは、香川県33.3%、滋賀県29.2%、埼玉県21.1%、「その他」で高かったのは、群馬県14.3%、宮崎県10.0%、岩手県及び岐阜県8.7%であった。

* 都道府県別データは58ページ参照

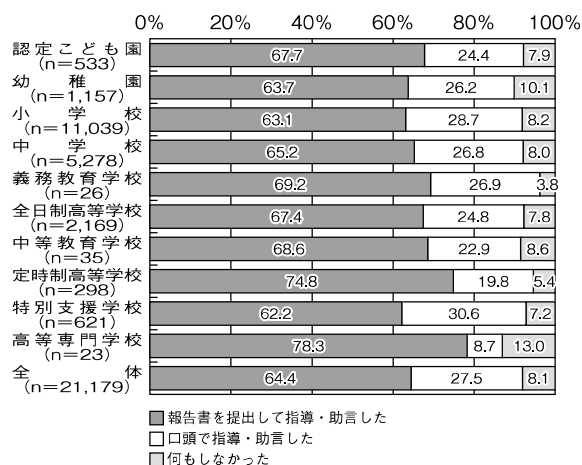
A-11 「採光及び照明」に関して改善が必要な場合の事後処置について

「報告書を提出して指導・助言した」64.4%、「口頭で指導・助言した」27.5%、「何もしなかった」8.1%であった。

学校種別では、「報告書を提出して指導・助言した」で高かったのは、高等専門学校78.3%、定時制高等学校74.8%、義務教育学校69.2%、「口頭で指導・助言した」で高かったのは、特別支援学校30.6%、小学校28.7%、義務教育学校が26.9%、「何もしなかった」で高かったのは、高等専門学校13.0%、幼稚園10.1%、中等教育学校8.6%であった。

都道府県別では、「報告書を提出して指導・助言した」で高かったのは、三重県89.4%、京都府87.0%、沖縄県85.7%、「口頭で指導・助言した」で高かったのは、福島県54.1%、愛媛

A-11 「採光及び照明」に関して改善が必要な場合の事後処置について、該当するものを選んでください。



県52.6%、徳島県49.0%、「何もしなかった」で高かったのは、群馬県31.2%、岡山県27.6%、石川県19.8%であった。

* 都道府県別データは59ページ参照

平成24年度全国学校保健調査集計結果報告は、「報告書を提出した」35.6%、「口頭による」14.7%、「改善の必要がなかった」48.4%で、比較すると報告書を提出して指導・助言したが、かなり増加している。

A-12 指導助言の結果、照度・まぶしさについて改善したかについて

「改善した」56.8%、「改善されていない」10.1%、「分からない」33.1%であった。

学校種別では、「改善した」で高かったのは、高等専門学校63.6%、全日制高等学校61.7%、特別支援学校61.1%、「改善されていない」で高かったのは、義務教育学校20.0%、定時制高等学校11.9%、中学校11.1%、「分からない」で高かったのは、中等教育学校50.0%、認定こども園44.4%、幼稚園42.2%であった。

都道府県別では、「改善した」で高かったのは、香川県75.9%、福島県71.8%、沖縄県71.3%、「改善されていない」で高かったのは、京都府18.7%、宮崎県17.0%、三重県16.4%、「分からない」で高かったのは、群馬県54.8%、奈良県50.4%、大分県48.9%であった。

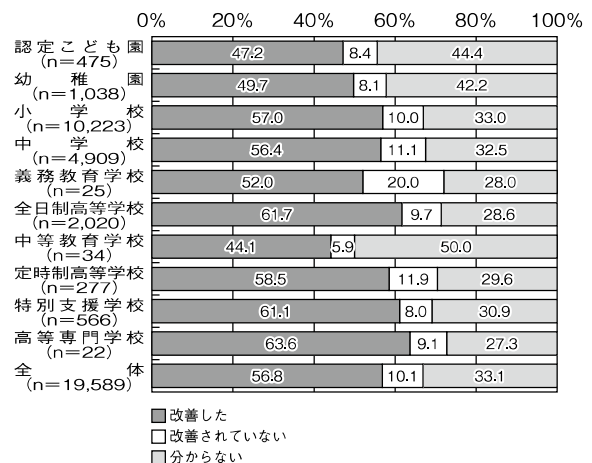
* 都道府県別データは59ページ参照

A-13 照明器具の清掃の回数について

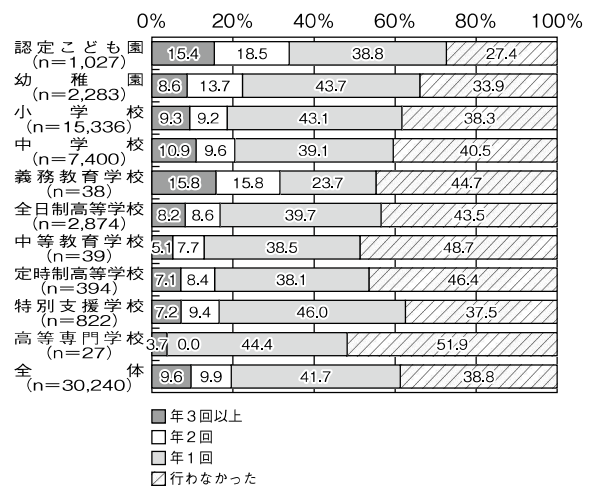
「年3回以上」9.6%、「年2回」9.9%、「年1回」41.7%であった。

学校種別では、「年3回以上」で高かったのは、義務教育学校15.8%、認定こども園15.4%、

A-12 指導助言の結果、照度・まぶしさについて改善したかどうか該当するものを選んでください。



A-13 照明器具の清掃の回数について、該当するものを選んでください。



中学校10.9%、「年2回」で高かったのは、認定こども園18.5%、義務教育学校15.8%、幼稚園13.7%、「年1回」で高かったのは、特別支援学校46.0%、高等専門学校44.4%、幼稚園43.7%、「行わなかった」で高かったのは、高等専門学校51.9%、中等教育学校48.7%、定時制高等学校46.4%であった。

都道府県別では、「年3回以上」で高かったのは、青森県と岐阜県が21.0%、埼玉県20.3%、新潟県18.4%、「年2回」で高かったのは、愛知県14.3%、京都府14.1%、千葉県13.9%、「年1回」で高かったのは、沖縄県57.8%、大分県54.9%、滋賀県52.7%、「行わなかった」で高かったのは、高知県64.5%、山口県54.1%、福島県52.3%であった。

*都道府県別データは60ページ参照

平成24年度全国学校保健調査集計結果報告は、「年3回以上」8.8%、「年2回」8.7%、「年1回」36.9%、「一度も清掃しなかった」45.6%であった。比較するとあまり変化はなかった。

B. 「採光及び照明」の日常点検についてお尋ねします。

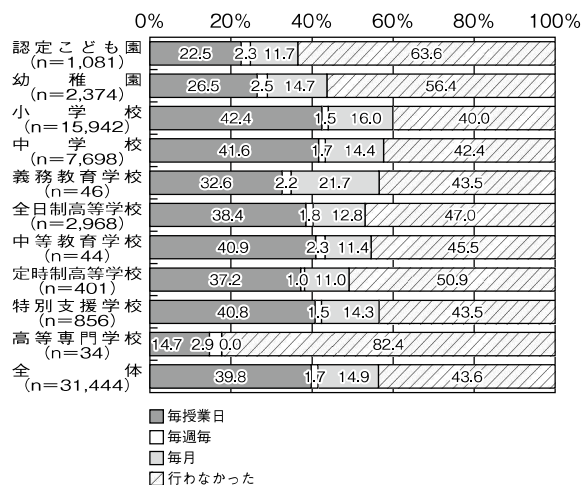
B-1 日常点検を行っていますか。

「毎授業日」39.8%、「毎週毎」1.7%、「毎月」14.9%、「行わなかった」43.6%であった。

学校種別では、「毎授業日」で高かったのは、小学校42.4%、中学校41.6%、中等教育学校40.9%であった。「行わなかった」で高かったのは、高等専門学校82.4%、認定こども園63.6%、幼稚園56.4%、定時制高等学校50.9%であった。

都道府県別で「毎授業日」が高かったのは、岐阜県69.9%、山口県67.2%、群馬県63.6%であった。「行わなかった」で高かったのは、高知県79.8%、三重県56.5%、兵庫県56.3%であった。

B-1 日常点検を行っていますか。



*都道府県別データは60ページ参照

平成24年度の調査では「行わなかった」は28.3%だったので、「行わなかった」が大幅に増えていることになる。

B-2 日常点検項目について、該当する物を選んで下さい。(複数回答可)

「黒板面の明るさ」80.1%、「机上面の明るさ」83.9%、「黒板面のまぶしさ」61.8%、「机上面のまぶしさ」55.9%であった。

学校種別では、「黒板面の明るさ」で高かったのは、定時制高等学校87.2%、全日制高等学校86.8%、小学校83.7%であった。「机上面の明るさ」で高かったのは、認定こども園92.6%、定時制高等学校89.7%、幼稚園88.3%であった。「黒板面のまぶしさ」で高かったのは、高等専門学校83.3%、中等教育学校66.7%、中学校65.9%であった。「机上面のまぶしさ」で高かったのは、高等専門学校83.3%、中等教育学校62.5%、特別支援学校61.1%であった。

都道府県別では、「黒板面の明るさ」で高かつ

B-2 日常点検項目について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

	1. 黒板面の明るさ	2. 机上面の明るさ	3. 黒板面のまぶしさ	4. 机上面のまぶしさ
認定こども園(n=364)	28.6	92.6	17.0	40.4
幼稚園(n=954)	42.0	88.3	24.8	39.9
小学校(n=9,378)	83.7	84.0	65.3	58.1
中学校(n=4,343)	82.8	81.6	65.9	56.5
義務教育学校(n=23)	65.2	82.6	47.8	39.1
全日制高等学校(n=1,545)	86.8	83.6	63.2	53.8
中等教育学校(n=24)	83.3	87.5	66.7	62.5
定時制高等学校(n=195)	87.2	89.7	56.9	51.3
特別支援学校(n=475)	78.5	86.7	62.9	61.1
高等専門学校(n=6)	50.0	50.0	83.3	83.3
全体(n=17,307)	80.1	83.9	61.8	55.9

たのは、石川県88.8%、愛知県85.4%、群馬県85.3%、「机上面の明るさ」で高かったのは、福井県89.9%、長崎県89.8%、山口県89.1%、「黒板面のまぶしさ」で高かったのは、山形県72.4%、沖縄県71.5%、岩手県及び石川県70.2%、「机上面のまぶしさ」で高かったのは、新潟県66.3%、群馬県64.6%、山形県64.2%であった。

* 都道府県別データは63ページ参照

B-3 日常点検の記録を残していますか。 (3年間保存)

「記録していない」41.7%、「問題があった時のみ記録している」33.9%、「全て残している」24.4%であった。

学校種別では、「全て残している」で高かったのは、幼稚園27.0%、認定子ども園26.2%、小学校25.7%であった。「記録していない」で高かったのは、義務教育学校53.8%、全日制高等学校47.3%、定時制高等学校46.6%であった。

都道府県別では、「全て残している」で高かったのは、山口県69.0%、岐阜県65.7%、愛知県61.1%、群馬県54.3%など、毎授業日日常点検を行っている割合が高い県と重なっている。

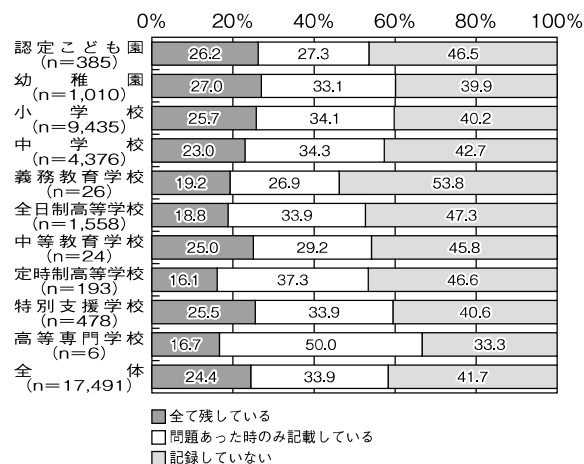
C. 「検査器具」(照度、温度、湿度、一酸化炭素、二酸化炭素、二酸化窒素、気流、騒音のみ)の供給状況、配置状況についてお尋ねします。

C-1 検査器具の供給、配置について

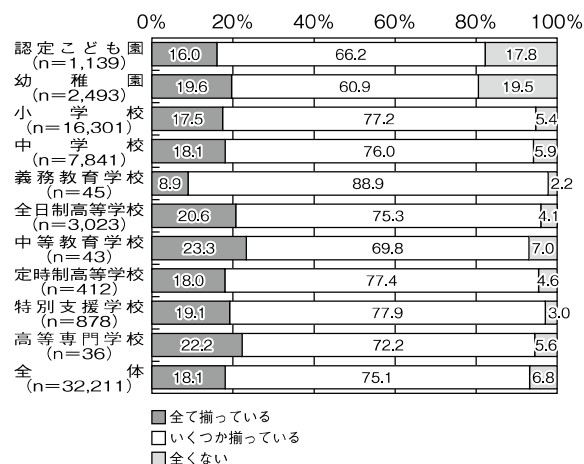
「全て揃っている」18.1%、「いくつか揃っている」75.1%、「全くない」6.8%であった。

学校種別では、「全て揃っている」と「いく

B-3 日常点検の記録を残していますか。(3年間保存)



C-1 検査器具の供給、配備について、該当するものを選んでください。



つか揃っている」と回答した割合は大差がなかったが、「全くない」で高かったのは、幼稚園19.5%、認定こども園17.8%であった。

都道府県別では、「全て揃っている」で高かったのは、秋田県100%、香川県72.4%、奈良県63.2%であった。「いくつか揃っている」で高かったのは、佐賀県98.2%、宮崎県96.9%、長崎県92.3%、「全くない」で高かったのは、岡山県19%、和歌山県15.9%、徳島県15.3%であった。

* 都道府県別データは64ページ参照

C-2 供給、配置されている検査器具について

「照度計」95.1%、「アスマン通風乾湿計または同程度のもの」45.4%、「検知管法器具（一酸化炭素・二酸化炭素用）74.2%、「試験紙光電光度法器具（二酸化窒素用）8.6%、「検知管法器具（二酸化窒素用）16.7%、「カタ温度計または微風速計20.6%、「騒音計」37.5%であった。

C-2 供給、配備されている検査器具について、該当するものを選んでください。（複数回答可）

	1. 照度計	2. アスマン通風乾湿計または同程度のもの	3. 検知管法器具（一酸化炭素・二酸化炭素用）	4. 試験紙光電光度法器具（二酸化窒素用）	5. 検知管法器具（二酸化窒素用）	6. カタ温度計または微風速計	7. 騒音計
認定こども園 (n = 740)	91.9	54.1	82.8	13.2	24.5	26.8	46.5
幼稚園 (n = 1,466)	91.6	53.3	80.6	12.7	21.1	21.4	40.7
小学校 (n = 12,504)	95.8	44.4	72.8	8.1	15.8	20.1	37.1
中学校 (n = 5,917)	94.7	44.1	73.1	8.1	16.0	19.4	36.5
義務教育学校 (n = 39)	97.4	48.7	71.8	7.7	20.5	17.9	25.6
全日制高等学校 (n = 2,264)	95.2	44.4	77.1	7.6	17.4	22.3	36.9
中等教育学校 (n = 30)	93.3	53.3	80.0	20.0	13.3	30.0	40.0
定時制高等学校 (n = 318)	95.9	46.9	79.9	8.2	17.0	27.4	40.6
特別支援学校 (n = 680)	96.0	48.5	73.7	9.4	18.4	21.3	37.8
高等専門学校 (n = 25)	96.0	60.0	84.0	20.0	20.0	24.0	52.0
全体 (n = 23,983)	95.1	45.4	74.2	8.6	16.7	20.6	37.5

学校種別では、「照度計」は全ての校種で90%を超えていた。「アスマン通風乾湿計または同程度のもの」で高かったのは、高等専門学校60.0%、認定こども園54.1%、幼稚園及び中等教育学校53.3%、「検知管法器具(一酸化炭素・二酸化炭素用)」で高かったのは、高等専門学校84.0%、認定こども園82.8%、幼稚園80.6%、「試験紙光電光度法器具(二酸化窒素用)」で高かったのは、中等教育学校及び高等専門学校20.0%、認定こども園13.2%、「検知管法器具(二酸化窒素用)」で高かったのは、認定こども園24.5%、幼稚園21.1%、義務教育学校20.5%、「カタ温度計または微風速計」で高かったのは、中等教育学校30.0%、定時制高等学校27.4%、認定こども園26.8%、「騒音計」で高かったのは、高等専門学校52.0%、認定こども園46.5%、幼稚園40.7%であった。

都道府県別では、「照度計」に回答した割合は徳島県88.4%、兵庫県89.7%以外は、全ての県において90%を超えていた。「アスマン通風乾湿計または同程度のもの」で高かったのは、三重県84.2%、新潟県77.8%、神奈川県69.8%、「検知管法器具(一酸化炭素・二酸化炭素用)」で高かったのは、佐賀県98.8%、滋賀県及び宮崎県92.2%、「試験紙光電光度法器具(二酸化窒素用)」で高かったのは、宮崎県53.5%、山口県40.7%、三重県35.7%であった。「検知管法器具(二酸化窒素用)」で高かったのは、千葉県47.6%、滋賀県43.7%、神奈川県31.6%、「カタ温度計または微風速計」で高かったのは、富山県59.8%、神奈川県59.0%、香川県56.1%、「騒音計」で高かったのは佐賀県95.7%、富山県70.1%、愛知県64.5%であった。

* 都道府県別データは65ページ参照

C-3 使用している検査器具の所有者について

「学校」41.3%、「設置者（教育委員会等）」28.2%、「都道府県薬剤師会」11.5%、「地域薬剤師会」56.5%、「学校薬剤師個人」10.1%、「その他」3.1%であった。

学校種別では、「学校」で高かったのは、中等教育学校74.4%、全日制高等学校55.9%、定時制高等学校55.8%、「設置者(教育委員会等)」で高かったのは、義務教育学校34.9%、幼稚園30.8%、小学校29.9%、「都道府県薬剤師会」で高かったのは、定時制高等学校16.6%、義務教育学校及び全日制高等学校16.3%、「地域薬剤師会」で高かったのは、認定こども園82.3%、幼稚園68.2%、高等専門学校66.7%、「学校薬剤師個人」で高かったのは、幼稚園13.6%、中等教育学校12.8%、高等専門学校12.1%、「その他」で高かったのは、高等専門学校6.1%、定時制高等学校及び特別支援学校3.9%であった。

都道府県別では、「学校」で高かったのは、宮城県86.0%、岡山県80.3%、山梨県70.6%、

C-3 使用している検査器具の所有者について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

	1. 学校	2. 設置者(教育委員会等)	3. 都道府県薬剤師会	4. 地域薬剤師会	5. 学校薬剤師個人	6. その他
認定こども園(n=868)	12.4	16.1	14.4	82.3	11.2	3.7
幼稚園(n=1,864)	21.6	30.8	13.1	68.2	13.6	2.7
小学校(n=14,964)	41.2	29.9	10.3	55.7	9.8	3.0
中学校(n=7,129)	42.5	29.6	10.7	55.9	10.0	3.2
義務教育学校(n=43)	39.5	34.9	16.3	46.5	2.3	0.0
全日制高等学校(n=2,841)	55.9	20.3	16.3	48.7	9.5	3.2
中等教育学校(n=39)	74.4	25.6	7.7	48.7	12.8	2.6
定時制高等学校(n=385)	55.8	21.6	16.6	49.4	9.1	3.9
特別支援学校(n=828)	51.3	23.1	15.2	54.6	11.0	3.9
高等専門学校(n=33)	27.3	15.2	9.1	66.7	12.1	6.1
全体(n=28,994)	41.3	28.2	11.5	56.5	10.1	3.1

「設置者（教育委員会等）」で高かったのは、茨城県69.9%、京都府60.3%、三重県58.9%、「都道府県薬剤師会」で高かったのは、秋田県98.6%、佐賀県97.0%、香川県62.6%、「地域薬剤師会」で高かったのは、宮崎県91.4%、佐賀県83.2%、青森県及び福岡県82.8%、「学校薬剤師個人」と回答した割合はどの県も30%未満、「その他」で高かったのは、北海道19.3%、高知県16.0%、和歌山県15.6%であった。

* 都道府県別データは66ページ参照

IV. まとめ

学校薬剤師の年代は、20代から、上は80代以上の薬剤師まで学校薬剤師活動に携わっているが、50代・60代が共に27.1%で一番多く、薬局（開設者）及び薬局（勤務者）が全体の9割弱を占めており、一昨年から変動していない。また、日本薬剤師会の会員は93.9%であった。

医薬品に関する内容を授業等で取り扱った割合は、昨年度より7.1%減少した。中学校及び高等学校では、学習指導要領に基づき、保健体育科で必ず学習する内容になっているので、ぜひ学校薬剤師からも積極的に提案しアピールする必要がある。

学校保健計画を作成するにあたり、「学校から確認要請がなかった」が約8割であった。学校保健安全法施行規則第24条(1)学校保健計画及び学校安全計画の立案に参加することになっているので、学校薬剤師の職務執行に従事すべきである。

学校環境衛生検査の実施状況については、「学校環境衛生基準に定められたすべての項目を実施した」30.9%、「一部実施していない項目がある」66.3%で、合わせると97.2%が実施しており、昨年の96.2%を上回る結果となったが、環境衛生検査を実施していない理由では、「計画がなかった」が66.3%だったことを考え

ると、器具や人の問題だけではないとも考えられる。

出校日数では、電話対応及び給食センター立ち入り検査を含んでも、「0日」が1.6%あった。引き続き、問題点を探る必要があるが、学校環境衛生基準に示された定期検査は、それぞれの検査項目について、その実態を客観的、科学的な方法で定期的に把握し、その結果に基づいて事後措置を講ずるためのものであることを改めて、自覚する必要があると考えられる。また、その結果を学校保健委員会で報告し、学校における学校薬剤師の活動を、教職員だけでなく児童生徒、学校医、学校歯科医、保護者、地域の人たちにも認識してもらうことも大切なことである。

保健に関する講話・講演及び支援を行った人の題材については、薬物乱用防止が一番多く、昨年度と同様の傾向である。

照度に関する設問については、「照度とまぶしさの両方とも行った」のは6割で、C-2の設問で、照度計が95.1%あるという結果からも、もっと積極的に検査できるのではないか。照度検査は、児童生徒等の成長期の視力を守り、目の疲労が少なく快適な雰囲気の中で気分を集中して学習できることを確認するために重要であるが、季節や天気等様々な要因が照度に影響することから、日常点検の結果を踏まえ、年2回、適切な時期に行う必要がある。

測定に使用した照度計については、「JIS C 1609-1、2006に適合している照度計」を使用しているのは72.8%であった。また、補正を行ったことがないのが、44.3%であったことから、定期的に補正を行う必要がある。また、「照度のみを行った」が20.5%、「照度とまぶしさ両方とも行わなかった」が18.7%であった。まぶしさは、器具がなくてもできる検査であることから、検査項目に入れるべきである。

教室の照度の基準値は、「下限値300lx」と定

められているが、黒板は「500lx以上が望ましい。」となっているので、学校現場では、500lx以上を目指すようご指導をお願いしたい。

日常点検では、平成24年度の調査と比較して「行わなかった」が大幅に増えた。授業を受ける児童生徒等が、机上面が暗いと感じたり、直射日光等によりまぶしいと感じていないかどうか、また、黒板についても文字等がよく見えるか等を授業の始めや授業中に点検する必要がある。学校薬剤師が行う「学校環境衛生」定期検査実施の際の基礎資料となる日常点検結果の記録は重要であり、問題がなくとも問題がないという記録を残しておくことは必要である。

今回新たな設問として、「検査器具」について尋ねたが、「いくつか揃っている」が7割強であった。特に、照度計が最も高く、次いで「検知管法器具（一酸化炭素・二酸化炭素用）」であった。そして、検査器具の所有者は、「地域薬剤師会」が最も多く、次いで「学校」、「設置者（教育委員会等）」の順であった。

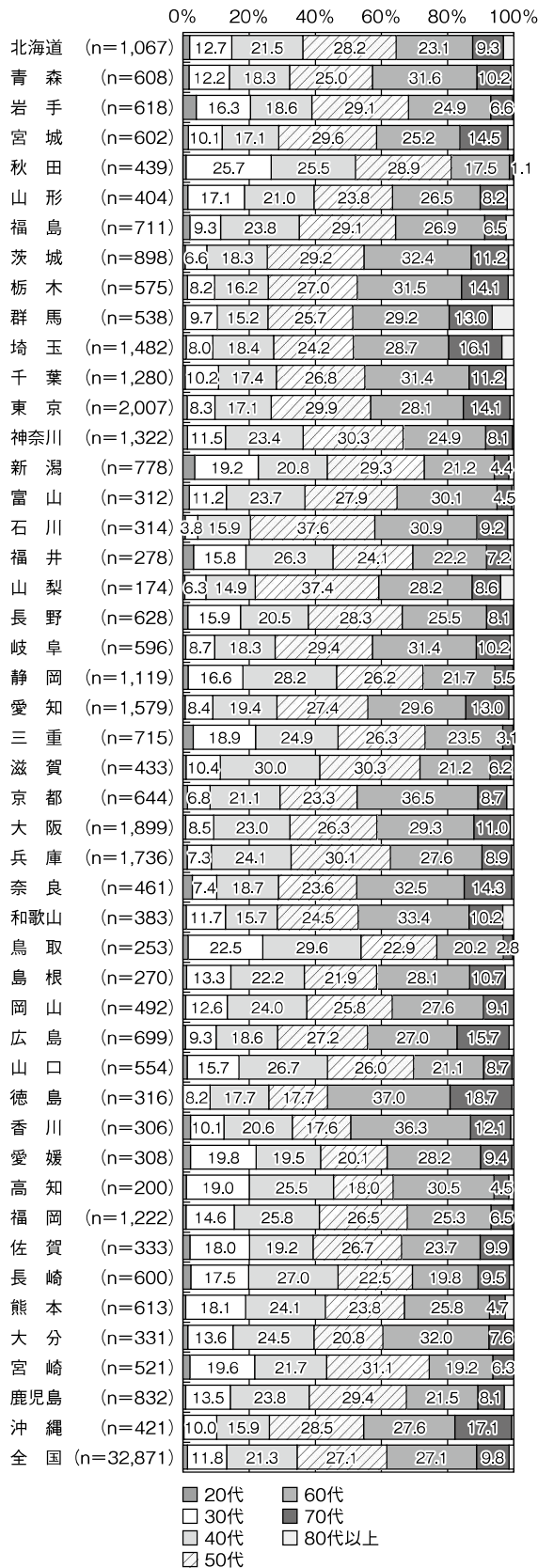
V. 終わりに

本調査を実施するにあたり、ご指導とご協力を賜りました文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課 健康教育調査官並びに各都道府県市町村等の教育委員会に深く感謝いたします。

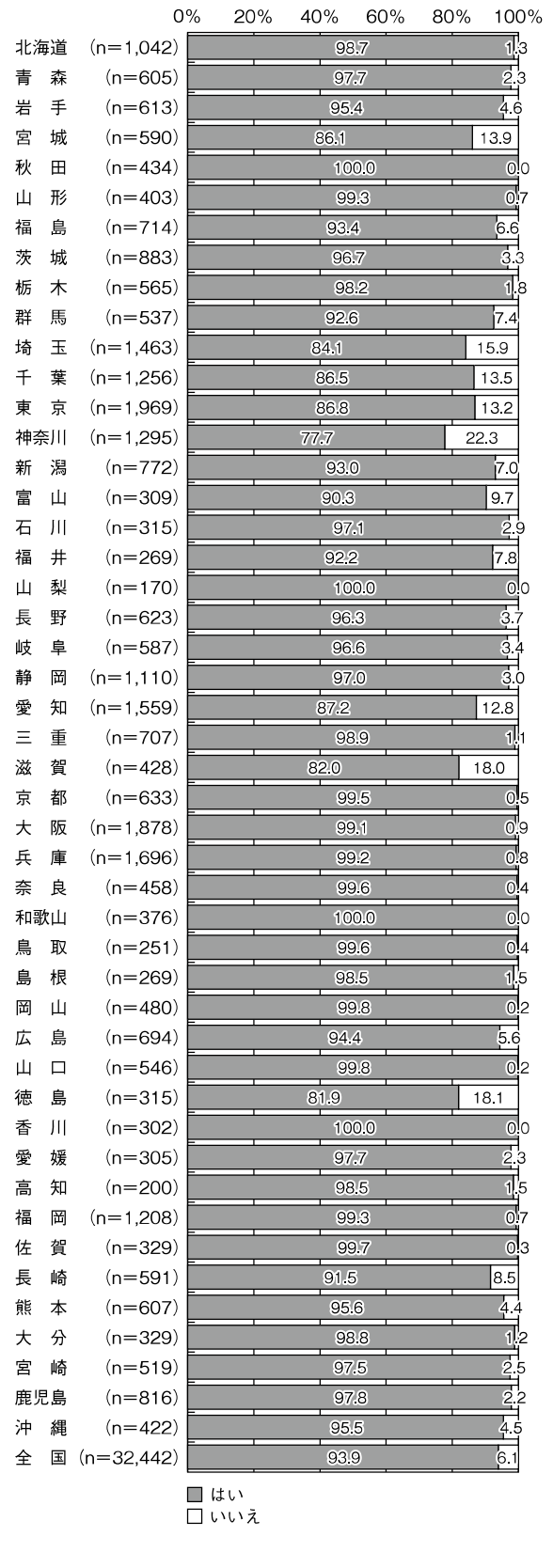
【都道府県別データ】

・都道府県別データは基本的にグラフで提示しているが、グラフでは各項目の数値表示等が難しい設問に関しては、グラフと表の両方を用いる形で、或いは表のみにて提示している。
 ・グラフ及び表の掲載順は一部設問順と異なる部分があるので、ご了承願いたい。

1-1 学校薬剤師の年代



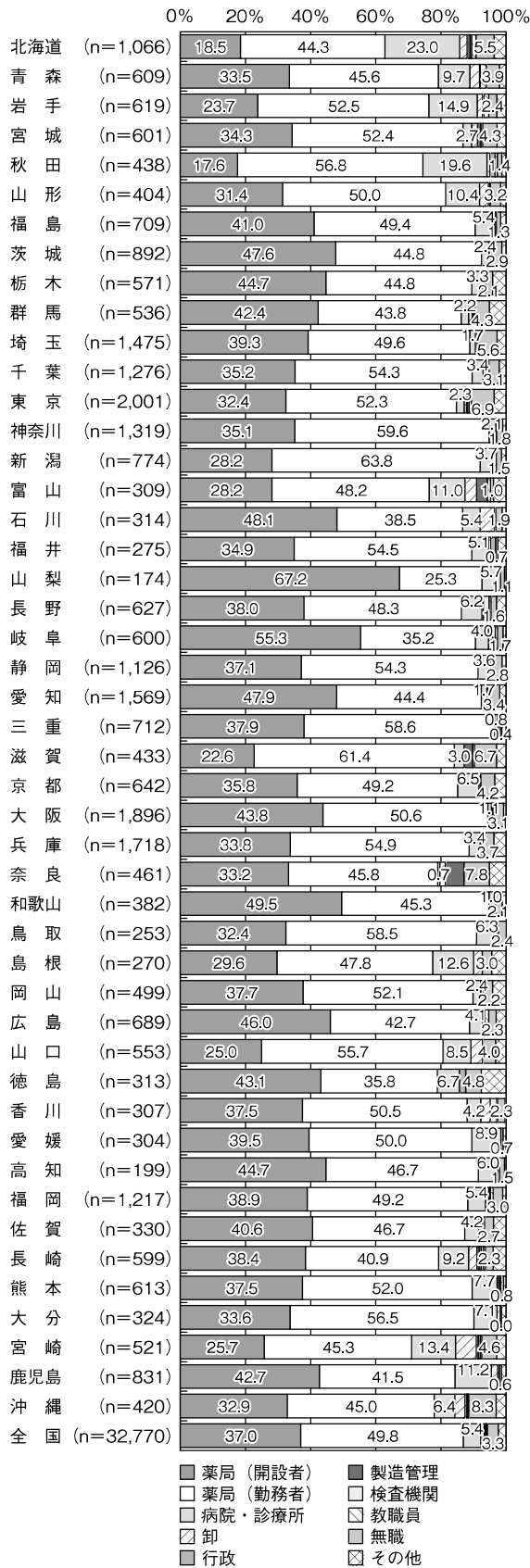
1-2 日本薬剤師会の会員ですか



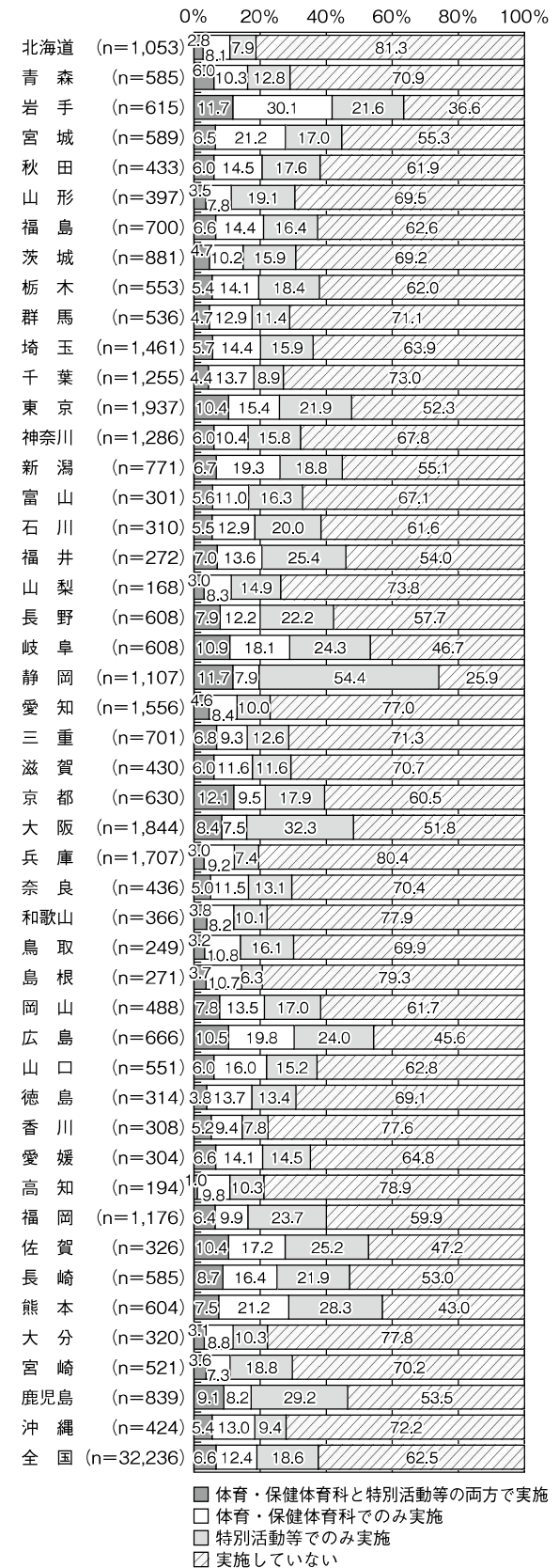
1-1 学校薬剤師の年代

	1. 20代	2. 30代	3. 40代	4. 50代	5. 60代	6. 70代	7. 80代以上
北海道(n=1,067)	2.0	12.7	21.5	28.2	23.1	9.3	3.2
青森(n=608)	1.8	12.2	18.3	25.0	31.6	10.2	1.0
岩手(n=618)	4.0	16.3	18.6	29.1	24.9	6.6	0.3
宮城(n=602)	1.7	10.1	17.1	29.6	25.2	14.5	1.8
秋田(n=439)	0.9	25.7	25.5	28.9	17.5	1.1	0.2
山形(n=404)	1.5	17.1	21.0	23.8	26.5	8.2	2.0
福島(n=711)	2.1	9.3	23.8	29.1	26.9	6.5	2.4
茨城(n=898)	0.7	6.6	18.3	29.2	32.4	11.2	1.7
栃木(n=575)	1.4	8.2	16.2	27.0	31.5	14.1	1.7
群馬(n=538)	0.7	9.7	15.2	25.7	29.2	13.0	6.5
埼玉(n=1,482)	1.0	8.0	18.4	24.2	28.7	16.1	3.6
千葉(n=1,280)	0.6	10.2	17.4	26.8	31.4	11.2	2.4
東京(n=2,007)	1.3	8.3	17.1	29.9	28.1	14.1	1.2
神奈川(n=1,322)	1.4	11.5	23.4	30.3	24.9	8.1	0.5
新潟(n=778)	3.6	19.2	20.8	29.3	21.2	4.4	1.5
富山(n=312)	1.9	11.2	23.7	27.9	30.1	4.5	0.6
石川(n=314)	0.6	3.8	15.9	37.6	30.9	9.2	1.9
福井(n=278)	3.2	15.8	26.3	24.1	22.2	7.2	1.1
山梨(n=174)	0.6	6.3	14.9	37.4	28.2	8.6	4.0
長野(n=628)	1.4	15.9	20.5	28.3	25.5	8.1	0.2
岐阜(n=596)	0.8	8.7	18.3	29.4	31.4	10.2	1.2
静岡(n=1,119)	1.5	16.6	28.2	26.2	21.7	5.5	0.3
愛知(n=1,579)	0.6	8.4	19.4	27.4	29.6	13.0	1.5
三重(n=715)	3.1	18.9	24.9	26.3	23.5	3.1	0.3
滋賀(n=433)	0.9	10.4	30.0	30.3	21.2	6.2	0.9
京都(n=644)	1.4	6.8	21.1	23.3	36.5	8.7	2.2
大阪(n=1,899)	0.8	8.5	23.0	26.3	29.3	11.0	1.1
兵庫(n=1,736)	1.3	7.3	24.1	30.1	27.6	8.9	0.7
奈良(n=461)	2.8	7.4	18.7	23.6	32.5	14.3	0.7
和歌山(n=383)	1.0	11.7	15.7	24.5	33.4	10.2	3.4
鳥取(n=253)	1.6	22.5	29.6	22.9	20.2	2.8	0.4
島根(n=270)	1.1	13.3	22.2	21.9	28.1	10.7	2.6
岡山(n=492)	0.8	12.6	24.0	25.8	27.6	9.1	0.0
広島(n=699)	0.7	9.3	18.6	27.2	27.0	15.7	1.4
山口(n=554)	1.3	15.7	26.7	26.0	21.1	8.7	0.5
徳島(n=316)	0.0	8.2	17.7	17.7	37.0	18.7	0.6
香川(n=306)	2.3	10.1	20.6	17.6	36.3	12.1	1.0
愛媛(n=308)	2.3	19.8	19.5	20.1	28.2	9.4	0.6
高知(n=200)	1.0	19.0	25.5	18.0	30.5	4.5	1.5
福岡(n=1,222)	0.9	14.6	25.8	26.5	25.3	6.5	0.4
佐賀(n=333)	2.1	18.0	19.2	26.7	23.7	9.9	0.3
長崎(n=600)	2.3	17.5	27.0	22.5	19.8	9.5	1.3
熊本(n=613)	0.8	18.1	24.1	23.8	25.8	4.7	2.6
大分(n=331)	1.5	13.6	24.5	20.8	32.0	7.6	0.0
宮崎(n=521)	2.1	19.6	21.7	31.1	19.2	6.3	0.0
鹿児島(n=832)	0.8	13.5	23.8	29.4	21.5	8.1	2.9
沖縄(n=421)	0.2	10.0	15.9	28.5	27.6	17.1	0.7
全国(n=32,871)	1.4	11.8	21.3	27.1	27.1	9.8	1.4

1-3 学校薬剤師の本務の職場について



1-4 本校の体育・保健体育科、特別活動等における医薬品の授業や講演等の実施状況について



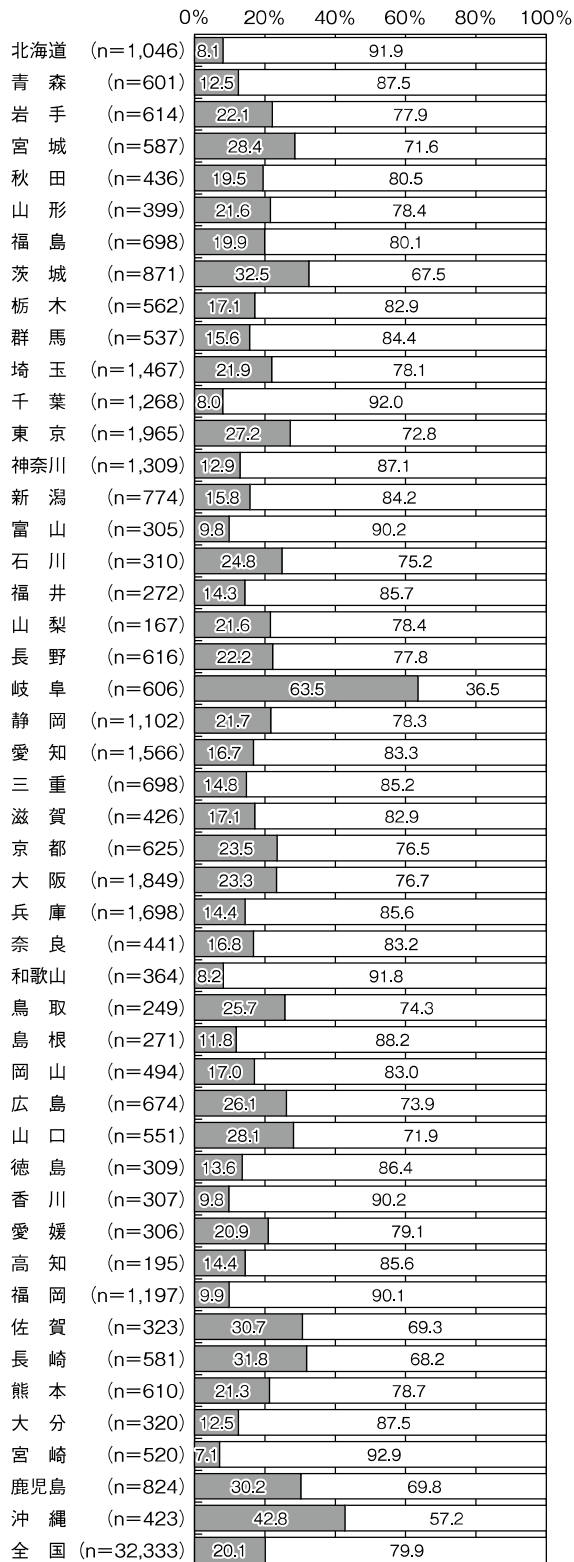
1-3 学校薬剤師の本務の職場について

	1. 薬局 (開設者)	2. 薬局 (勤務者)	3. 病院・ 診療所	4. 卸	5. 行政	6. 製造管理	7. 検査機関	8. 教職員	9. 無職	10. その他
北海道(n=1,066)	18.5	44.3	23.0	2.2	0.1	0.8	0.5	1.3	5.5	3.7
青森(n=609)	33.5	45.6	9.7	3.0	0.0	0.0	0.2	2.0	3.9	2.1
岩手(n=619)	23.7	52.5	14.9	1.6	0.0	0.0	0.3	1.6	2.4	2.9
宮城(n=601)	34.3	52.4	2.7	1.8	0.0	1.0	0.0	0.7	4.3	2.8
秋田(n=438)	17.6	56.8	19.6	0.9	1.6	0.0	0.0	0.7	1.4	1.4
山形(n=404)	31.4	50.0	10.4	2.7	0.0	0.2	0.2	0.0	3.2	1.7
福島(n=709)	41.0	49.4	5.4	0.6	0.0	0.1	0.0	0.6	1.3	1.7
茨城(n=892)	47.6	44.8	2.4	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	1.3
栃木(n=571)	44.7	44.8	3.3	0.5	0.0	0.2	0.2	0.0	2.1	4.2
群馬(n=536)	42.4	43.8	2.2	1.1	0.4	0.0	0.0	0.6	4.3	5.2
埼玉(n=1,475)	39.3	49.6	1.7	0.3	0.4	0.0	0.0	0.4	5.6	2.8
千葉(n=1,276)	35.2	54.3	3.4	0.8	0.0	0.2	0.0	0.9	3.1	2.2
東京(n=2,001)	32.4	52.3	2.3	0.7	0.2	0.6	0.0	0.7	6.9	3.7
神奈川(n=1,319)	35.1	59.6	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	1.8	1.1
新潟(n=774)	28.2	63.8	3.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.4
富山(n=309)	28.2	48.2	11.0	3.6	0.0	3.2	0.0	1.0	1.0	3.9
石川(n=314)	48.1	38.5	5.4	4.5	0.0	0.0	0.0	0.3	1.9	1.3
福井(n=275)	34.9	54.5	5.1	1.1	1.4	0.0	0.0	0.0	0.7	2.5
山梨(n=174)	67.2	25.3	5.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.6
長野(n=627)	38.0	48.3	6.2	0.5	0.0	0.0	1.8	0.6	1.6	3.0
岐阜(n=600)	55.3	35.2	4.0	1.3	0.0	0.2	0.7	0.7	1.7	1.0
静岡(n=1,126)	37.1	54.3	3.6	0.0	0.0	0.1	0.8	0.0	2.8	1.2
愛知(n=1,569)	47.9	44.4	1.7	0.3	0.0	0.1	0.0	0.0	3.4	2.0
三重(n=712)	37.9	58.6	0.8	0.6	0.0	0.3	0.0	0.0	0.4	1.4
滋賀(n=433)	22.6	61.4	3.0	0.0	0.0	2.5	0.0	0.7	6.7	3.0
京都(n=642)	35.8	49.2	6.5	0.0	0.5	0.0	0.0	0.2	4.2	3.6
大阪(n=1,896)	43.8	50.6	1.1	0.2	0.1	0.4	0.1	0.0	3.1	0.8
兵庫(n=1,718)	33.8	54.9	3.4	0.3	0.0	0.0	0.0	0.1	3.7	3.8
奈良(n=461)	33.2	45.8	0.7	1.7	0.0	5.6	0.0	0.0	7.8	5.2
和歌山(n=382)	49.5	45.3	1.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	1.3
鳥取(n=253)	32.4	58.5	6.3	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
島根(n=270)	29.6	47.8	12.6	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	4.4
岡山(n=499)	37.7	52.1	2.4	0.8	0.0	0.0	0.0	0.6	2.2	4.2
広島(n=689)	46.0	42.7	4.1	0.7	0.0	0.0	0.0	1.2	2.3	3.0
山口(n=553)	25.0	55.7	8.5	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	3.3
徳島(n=313)	43.1	35.8	6.7	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	4.8	7.7
香川(n=307)	37.5	50.5	4.2	2.9	0.0	0.0	2.0	0.3	2.3	0.3
愛媛(n=304)	39.5	50.0	8.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.7	1.0
高知(n=199)	44.7	46.7	6.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	0.5
福岡(n=1,217)	38.9	49.2	5.4	1.1	0.0	0.3	0.1	0.9	3.0	1.1
佐賀(n=330)	40.6	46.7	4.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.6	2.7	3.9
長崎(n=599)	38.4	40.9	9.2	2.5	0.7	0.7	0.7	0.7	2.3	4.0
熊本(n=613)	37.5	52.0	7.7	0.2	0.0	0.5	0.0	0.5	0.8	1.0
大分(n=324)	33.6	56.5	7.1	0.9	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	1.5
宮崎(n=521)	25.7	45.3	13.4	6.3	0.2	0.6	0.6	0.4	4.6	2.9
鹿児島(n=831)	42.7	41.5	11.2	1.9	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	1.4
沖縄(n=420)	32.9	45.0	6.4	3.1	0.5	0.2	0.2	0.2	8.3	3.1
全国(n=32,770)	37.0	49.8	5.4	1.1	0.1	0.3	0.2	0.4	3.3	2.4

1-4 本校の体育・保健体育科、特別活動等における医薬品の授業や講演等の実施状況について

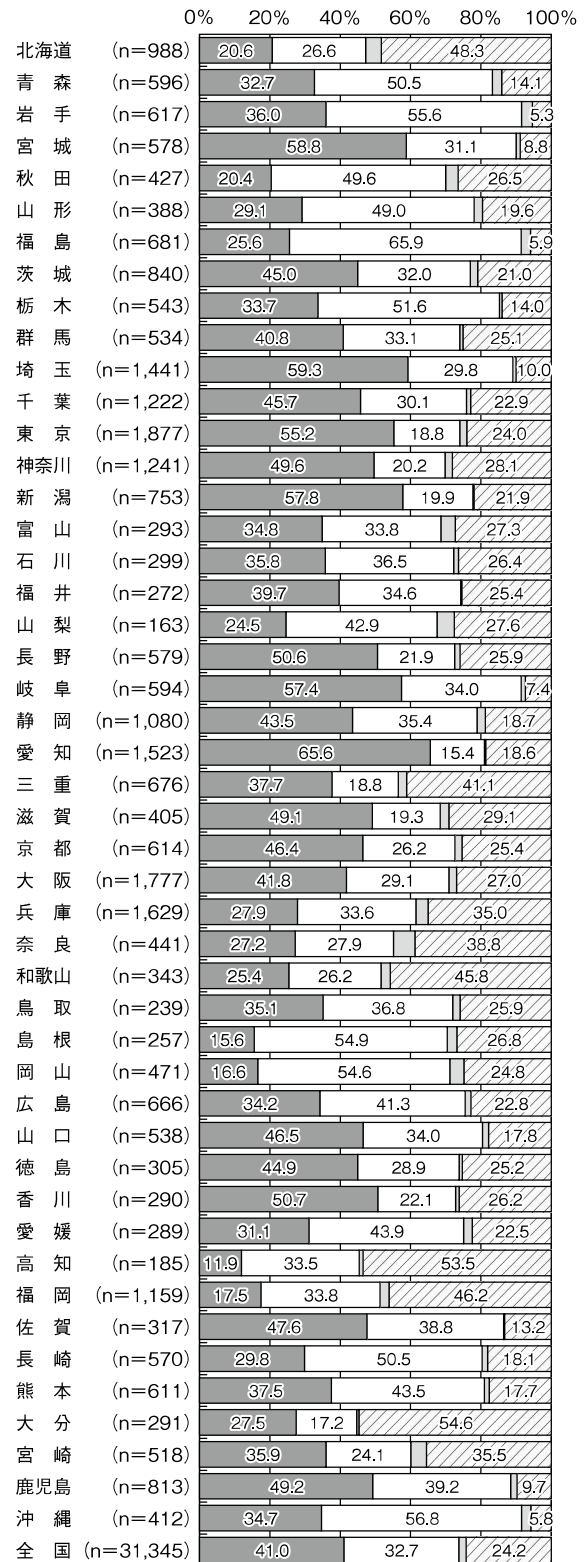
	1. 体育・保健体育科と特別活動等の両方で実施	2. 体育・保健体育科でのみ実施	3. 特別活動等でのみ実施	4. 実施していない
北海道(n=1,053)	2.8	8.1	7.9	81.3
青森(n=585)	6.0	10.3	12.8	70.9
岩手(n=615)	11.7	30.1	21.6	36.6
宮城(n=589)	6.5	21.2	17.0	55.3
秋田(n=433)	6.0	14.5	17.6	61.9
山形(n=397)	3.5	7.8	19.1	69.5
福島(n=700)	6.6	14.4	16.4	62.6
茨城(n=881)	4.7	10.2	15.9	69.2
栃木(n=553)	5.4	14.1	18.4	62.0
群馬(n=536)	4.7	12.9	11.4	71.1
埼玉(n=1,461)	5.7	14.4	15.9	63.9
千葉(n=1,255)	4.4	13.7	8.9	73.0
東京(n=1,937)	10.4	15.4	21.9	52.3
神奈川(n=1,286)	6.0	10.4	15.8	67.8
新潟(n=771)	6.7	19.3	18.8	55.1
富山(n=301)	5.6	11.0	16.3	67.1
石川(n=310)	5.5	12.9	20.0	61.6
福井(n=272)	7.0	13.6	25.4	54.0
山梨(n=168)	3.0	8.3	14.9	73.8
長野(n=608)	7.9	12.2	22.2	57.7
岐阜(n=608)	10.9	18.1	24.3	46.7
静岡(n=1,107)	11.7	7.9	54.4	25.9
愛知(n=1,556)	4.6	8.4	10.0	77.0
三重(n=701)	6.8	9.3	12.6	71.3
滋賀(n=430)	6.0	11.6	11.6	70.7
京都(n=630)	12.1	9.5	17.9	60.5
大阪(n=1,844)	8.4	7.5	32.3	51.8
兵庫(n=1,707)	3.0	9.2	7.4	80.4
奈良(n=436)	5.0	11.5	13.1	70.4
和歌山(n=366)	3.8	8.2	10.1	77.9
鳥取(n=249)	3.2	10.8	16.1	69.9
島根(n=271)	3.7	10.7	6.3	79.3
岡山(n=488)	7.8	13.5	17.0	61.7
広島(n=666)	10.5	19.8	24.0	45.6
山口(n=551)	6.0	16.0	15.2	62.8
徳島(n=314)	3.8	13.7	13.4	69.1
香川(n=308)	5.2	9.4	7.8	77.6
愛媛(n=304)	6.6	14.1	14.5	64.8
高知(n=194)	1.0	9.8	10.3	78.9
福岡(n=1,176)	6.4	9.9	23.7	59.9
佐賀(n=326)	10.4	17.2	25.2	47.2
長崎(n=585)	8.7	16.4	21.9	53.0
熊本(n=604)	7.5	21.2	28.3	43.0
大分(n=320)	3.1	8.8	10.3	77.8
宮崎(n=521)	3.6	7.3	18.8	70.2
鹿児島(n=839)	9.1	8.2	29.2	53.5
沖縄(n=424)	5.4	13.0	9.4	72.2
全国(n=32,236)	6.6	12.4	18.6	62.5

1-5 学校保健計画の参画 学校保健計画を作成にあたり学校から確認要請がありましたか。



■ あった
□ なかった

1-6 学校保健計画における環境衛生検査の記載状況について

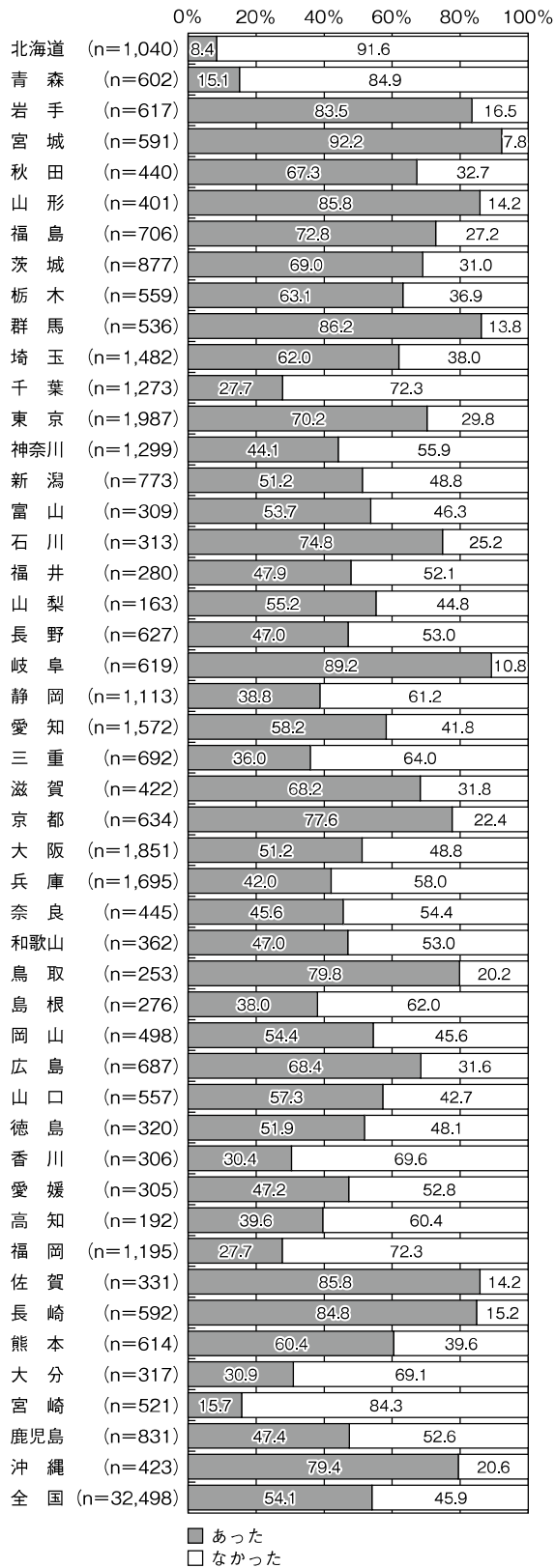


■ 全ての項目について記載がある
□ 一部の検査項目しか記載がない
□ まったく記載がない
□ わからない

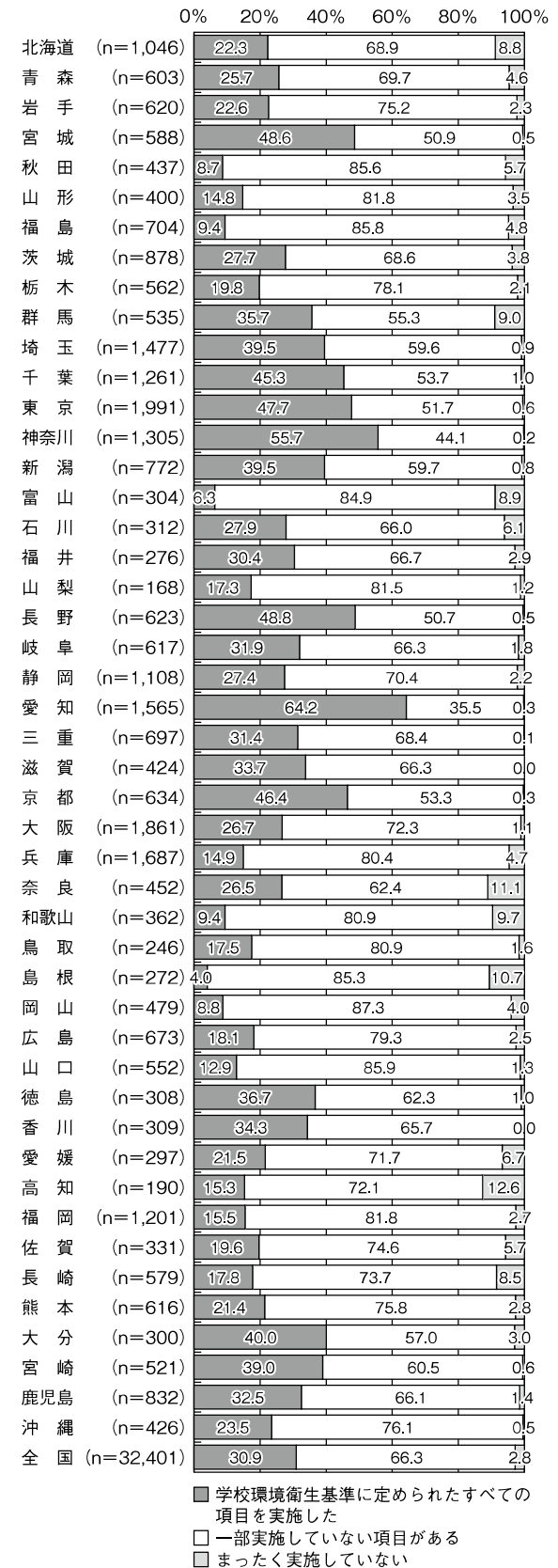
1-6 学校保健計画における環境衛生検査の記載状況について

	1. 全ての項目について記載がある	2. 一部の検査項目しか記載がない	3. まったく記載がない	4. わからない
北海道(n=988)	20.6	26.6	4.4	48.3
青森(n=596)	32.7	50.5	2.7	14.1
岩手(n=617)	36.0	55.6	3.1	5.3
宮城(n=578)	58.8	31.1	1.2	8.8
秋田(n=427)	20.4	49.6	3.5	26.5
山形(n=388)	29.1	49.0	2.3	19.6
福島(n=681)	25.6	65.9	2.6	5.9
茨城(n=840)	45.0	32.0	2.0	21.0
栃木(n=543)	33.7	51.6	0.7	14.0
群馬(n=534)	40.8	33.1	0.9	25.1
埼玉(n=1,441)	59.3	29.8	0.9	10.0
千葉(n=1,222)	45.7	30.1	1.2	22.9
東京(n=1,877)	55.2	18.8	2.1	24.0
神奈川(n=1,241)	49.6	20.2	2.1	28.1
新潟(n=753)	57.8	19.9	0.4	21.9
富山(n=293)	34.8	33.8	4.1	27.3
石川(n=299)	35.8	36.5	1.3	26.4
福井(n=272)	39.7	34.6	0.4	25.4
山梨(n=163)	24.5	42.9	4.9	27.6
長野(n=579)	50.6	21.9	1.6	25.9
岐阜(n=594)	57.4	34.0	1.2	7.4
静岡(n=1,080)	43.5	35.4	2.4	18.7
愛知(n=1,523)	65.6	15.4	0.4	18.6
三重(n=676)	37.7	18.8	2.4	41.1
滋賀(n=405)	49.1	19.3	2.5	29.1
京都(n=614)	46.4	26.2	2.0	25.4
大阪(n=1,777)	41.8	29.1	2.1	27.0
兵庫(n=1,629)	27.9	33.6	3.5	35.0
奈良(n=441)	27.2	27.9	6.1	38.8
和歌山(n=343)	25.4	26.2	2.6	45.8
鳥取(n=239)	35.1	36.8	2.1	25.9
島根(n=257)	15.6	54.9	2.7	26.8
岡山(n=471)	16.6	54.6	4.0	24.8
広島(n=666)	34.2	41.3	1.7	22.8
山口(n=538)	46.5	34.0	1.7	17.8
徳島(n=305)	44.9	28.9	1.0	25.2
香川(n=290)	50.7	22.1	1.0	26.2
愛媛(n=289)	31.1	43.9	2.4	22.5
高知(n=185)	11.9	33.5	1.1	53.5
福岡(n=1,159)	17.5	33.8	2.5	46.2
佐賀(n=317)	47.6	38.8	0.3	13.2
長崎(n=570)	29.8	50.5	1.6	18.1
熊本(n=611)	37.5	43.5	1.3	17.7
大分(n=291)	27.5	17.2	0.7	54.6
宮崎(n=518)	35.9	24.1	4.4	35.5
鹿児島(n=813)	49.2	39.2	1.8	9.7
沖縄(n=412)	34.7	56.8	2.7	5.8
全国(n=31,345)	41.0	32.7	2.1	24.2

1-7 学校保健委員会について 学校保健委員会への出席要請がありましたか。



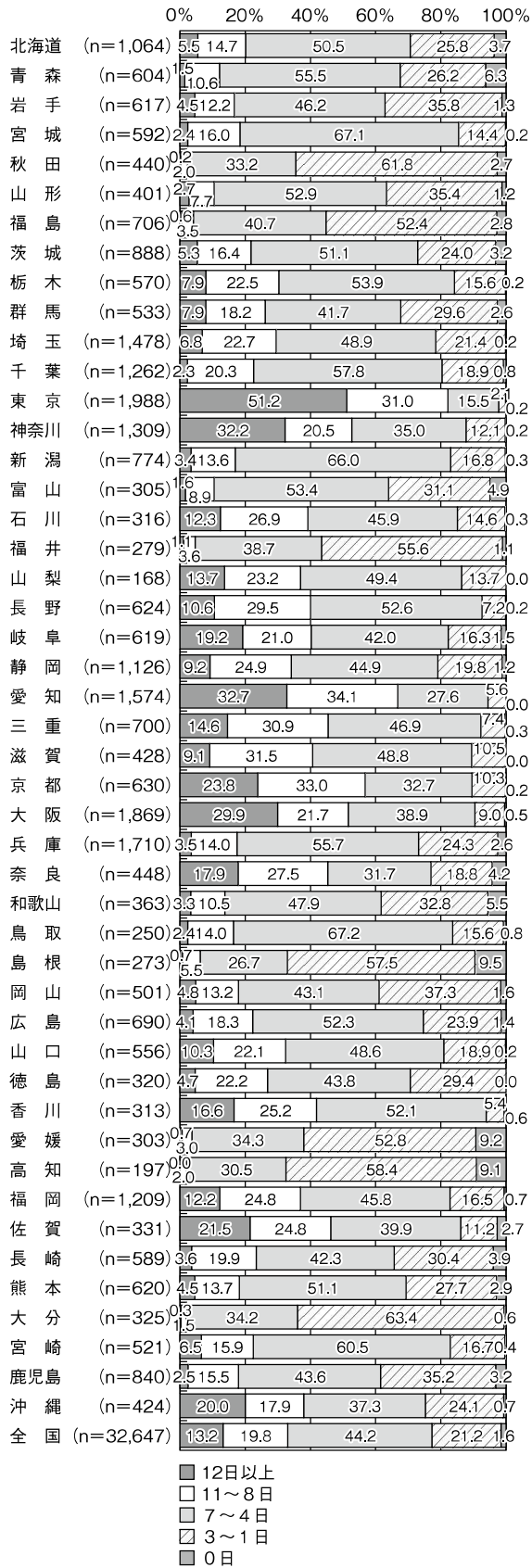
1-8 環境衛生検査の実施状況について



1-9 まったく実施していない理由はなんですか。(複数回答可)

	1. 器具が足りない	2. 人が足りない	3. 予算が足りない	4. 計画がなかった	5. その他
北海道(n=73)	2.7	1.4	0.0	76.7	21.9
青森(n=26)	3.8	11.5	0.0	76.9	30.8
岩手(n=14)	0.0	14.3	0.0	50.0	35.7
宮城(n=3)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
秋田(n=25)	4.0	4.0	0.0	48.0	52.0
山形(n=13)	7.7	7.7	0.0	53.8	46.2
福島(n=30)	13.3	0.0	0.0	53.3	36.7
茨城(n=32)	15.6	6.3	9.4	75.0	21.9
栃木(n=9)	22.2	0.0	22.2	66.7	11.1
群馬(n=46)	4.3	17.4	4.3	73.9	15.2
埼玉(n=13)	15.4	7.7	7.7	92.3	30.8
千葉(n=12)	0.0	8.3	8.3	75.0	8.3
東京(n=10)	0.0	0.0	0.0	60.0	40.0
神奈川(n=3)	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
新潟(n=6)	16.7	0.0	16.7	50.0	33.3
富山(n=25)	8.0	20.0	0.0	80.0	4.0
石川(n=18)	5.6	0.0	0.0	61.1	33.3
福井(n=8)	25.0	25.0	0.0	25.0	50.0
山梨(n=2)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
長野(n=3)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
岐阜(n=10)	0.0	0.0	0.0	100.0	10.0
静岡(n=21)	4.8	4.8	0.0	76.2	23.8
愛知(n=4)	0.0	50.0	0.0	25.0	25.0
三重(n=1)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
滋賀(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
京都(n=2)	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
大阪(n=20)	0.0	0.0	10.0	80.0	20.0
兵庫(n=70)	2.9	2.9	2.9	65.7	28.6
奈良(n=49)	10.2	2.0	28.6	73.5	16.3
和歌山(n=32)	3.1	0.0	3.1	75.0	21.9
鳥取(n=4)	0.0	0.0	25.0	100.0	0.0
島根(n=26)	3.8	7.7	0.0	50.0	38.5
岡山(n=17)	11.8	0.0	5.9	64.7	29.4
広島(n=17)	0.0	11.8	11.8	41.2	52.9
山口(n=6)	16.7	0.0	16.7	83.3	0.0
徳島(n=3)	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3
香川(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
愛媛(n=17)	23.5	17.6	5.9	41.2	58.8
高知(n=22)	0.0	31.8	0.0	36.4	72.7
福岡(n=31)	0.0	3.2	0.0	61.3	35.5
佐賀(n=16)	0.0	0.0	6.3	56.3	43.8
長崎(n=45)	28.9	24.4	26.7	57.8	42.2
熊本(n=15)	13.3	0.0	13.3	60.0	40.0
大分(n=9)	0.0	0.0	0.0	88.9	22.2
宮崎(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
鹿児島(n=12)	8.3	0.0	0.0	91.7	16.7
沖縄(n=2)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0
全国(n=824)	7.2	7.2	6.1	66.3	29.7

2-1 平成28年度における出校日数について（電話対応及び給食センター立ち入り検査も含む）



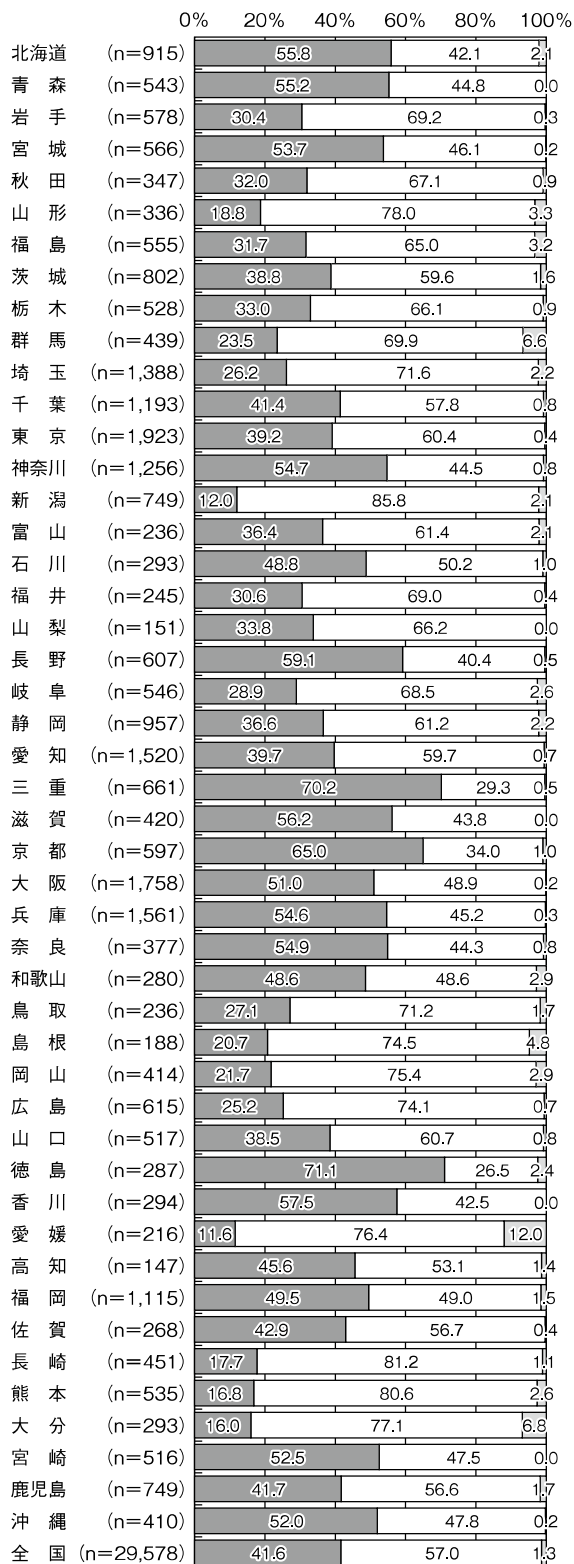
2-1 平成28年度における出校日数について（電話対応及び給食センター立ち入り検査も含む）

	1. 12日以上	2. 11～8日	3. 7～4日	4. 3～1日	5. 0日
北海道(n=1,064)	5.5	14.7	50.5	25.8	3.7
青森(n=604)	1.5	10.6	55.5	26.2	6.3
岩手(n=617)	4.5	12.2	46.2	35.8	1.3
宮城(n=592)	2.4	16.0	67.1	14.4	0.2
秋田(n=440)	0.2	2.0	33.2	61.8	2.7
山形(n=401)	2.7	7.7	52.9	35.4	1.2
福島(n=706)	0.6	3.5	40.7	52.4	2.8
茨城(n=888)	5.3	16.4	51.1	24.0	3.2
栃木(n=570)	7.9	22.5	53.9	15.6	0.2
群馬(n=533)	7.9	18.2	41.7	29.6	2.6
埼玉(n=1,478)	6.8	22.7	48.9	21.4	0.2
千葉(n=1,262)	2.3	20.3	57.8	18.9	0.8
東京(n=1,988)	51.2	31.0	15.5	2.1	0.2
神奈川(n=1,309)	32.2	20.5	35.0	12.1	0.2
新潟(n=774)	3.4	13.6	66.0	16.8	0.3
富山(n=305)	1.6	8.9	53.4	31.1	4.9
石川(n=316)	12.3	26.9	45.9	14.6	0.3
福井(n=279)	1.1	3.6	38.7	55.6	1.1
山梨(n=168)	13.7	23.2	49.4	13.7	0.0
長野(n=624)	10.6	29.5	52.6	7.2	0.2
岐阜(n=619)	19.2	21.0	42.0	16.3	1.5
静岡(n=1,126)	9.2	24.9	44.9	19.8	1.2
愛知(n=1,574)	32.7	34.1	27.6	5.6	0.0
三重(n=700)	14.6	30.9	46.9	7.4	0.3
滋賀(n=428)	9.1	31.5	48.8	10.5	0.0
京都(n=630)	23.8	33.0	32.7	10.3	0.2
大阪(n=1,869)	29.9	21.7	38.9	9.0	0.5
兵庫(n=1,710)	3.5	14.0	55.7	24.3	2.6
奈良(n=448)	17.9	27.5	31.7	18.8	4.2
和歌山(n=363)	3.3	10.5	47.9	32.8	5.5
鳥取(n=250)	2.4	14.0	67.2	15.6	0.8
島根(n=273)	0.7	5.5	26.7	57.5	9.5
岡山(n=501)	4.8	13.2	43.1	37.3	1.6
広島(n=690)	4.1	18.3	52.3	23.9	1.4
山口(n=556)	10.3	22.1	48.6	18.9	0.2
徳島(n=320)	4.7	22.2	43.8	29.4	0.0
香川(n=313)	16.6	25.2	52.1	5.4	0.6
愛媛(n=303)	0.7	3.0	34.3	52.8	9.2
高知(n=197)	0.0	2.0	30.5	58.4	9.1
福岡(n=1,209)	12.2	24.8	45.8	16.5	0.7
佐賀(n=331)	21.5	24.8	39.9	11.2	2.7
長崎(n=589)	3.6	19.9	42.3	30.4	3.9
熊本(n=620)	4.5	13.7	51.1	27.7	2.9
大分(n=325)	0.3	1.5	34.2	63.4	0.6
宮崎(n=521)	6.5	15.9	60.5	16.7	0.4
鹿児島(n=840)	2.5	15.5	43.6	35.2	3.2
沖縄(n=424)	20.0	17.9	37.3	24.1	0.7
全国(n=32,647)	13.2	19.8	44.2	21.2	1.6

2-2 出校目的について（複数回答可）

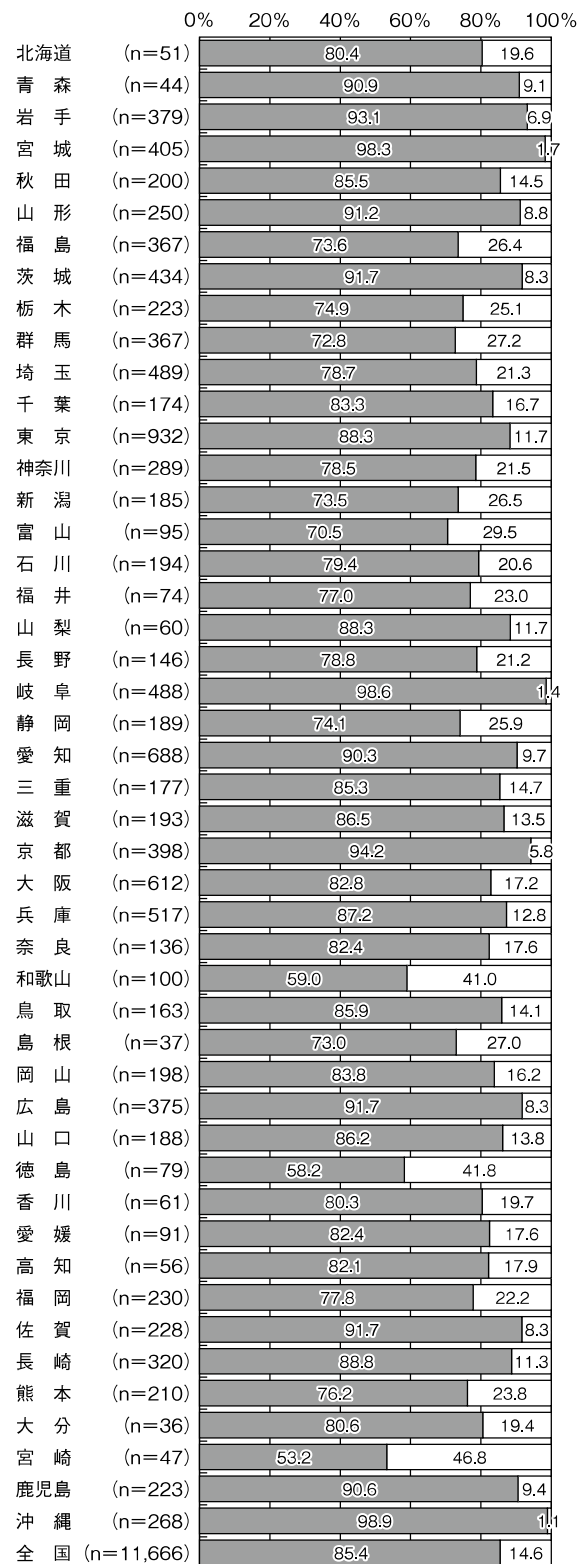
	1. 定期検査	2. 臨時検査	3. 学校保健委員会への参画	4. 保健教育に関する講話・講演及び支援	5. その他
北海道(n=1,006)	96.2	7.9	5.1	8.3	10.3
青森(n=563)	96.8	8.9	7.8	23.8	7.6
岩手(n=608)	95.4	5.6	62.7	60.7	6.9
宮城(n=587)	98.5	7.0	70.9	27.9	7.3
秋田(n=424)	83.7	11.3	47.6	30.7	11.1
山形(n=395)	85.8	14.9	64.3	19.0	22.5
福島(n=682)	82.3	7.9	55.6	23.8	10.0
茨城(n=851)	96.2	6.2	52.5	18.7	17.3
栃木(n=559)	97.3	9.8	41.1	20.0	22.7
群馬(n=519)	86.1	7.7	71.1	21.4	19.5
埼玉(n=1,459)	96.2	5.6	34.1	20.4	13.4
千葉(n=1,233)	98.5	4.2	14.5	11.8	8.0
東京(n=1,964)	99.1	14.8	48.3	31.0	9.5
神奈川(n=1,294)	99.0	17.2	22.6	18.8	15.1
新潟(n=764)	99.7	3.1	24.5	28.5	7.2
富山(n=286)	84.3	7.3	35.3	21.0	26.9
石川(n=313)	95.5	7.7	62.6	34.5	14.7
福井(n=275)	91.3	6.5	27.3	36.4	7.6
山梨(n=166)	98.2	10.8	36.7	16.3	14.5
長野(n=621)	99.0	10.6	23.8	35.6	10.6
岐阜(n=606)	93.2	10.7	82.7	46.2	15.8
静岡(n=1,103)	89.1	8.6	17.5	72.4	13.9
愛知(n=1,560)	98.8	14.9	44.9	14.0	16.2
三重(n=691)	99.0	11.0	26.0	17.4	16.9
滋賀(n=425)	99.5	7.1	46.4	20.2	11.5
京都(n=627)	97.4	15.2	64.6	25.7	12.4
大阪(n=1,837)	97.7	17.1	34.7	40.2	10.5
兵庫(n=1,647)	96.3	9.8	32.4	10.5	9.2
奈良(n=428)	90.2	8.4	32.2	24.3	26.2
和歌山(n=329)	92.4	9.4	31.9	18.2	15.5
鳥取(n=246)	96.7	8.9	67.9	22.4	10.2
島根(n=246)	78.5	12.2	15.4	17.9	28.5
岡山(n=488)	88.9	15.8	42.2	27.3	14.5
広島(n=675)	92.6	9.6	56.7	44.3	7.4
山口(n=552)	96.9	15.6	34.1	32.2	8.9
徳島(n=317)	97.8	6.0	26.8	18.9	4.1
香川(n=306)	97.7	14.4	20.3	7.8	7.2
愛媛(n=274)	79.6	9.1	33.2	19.7	16.1
高知(n=179)	86.6	7.3	32.4	10.1	15.6
福岡(n=1,188)	96.5	12.0	19.7	26.4	13.5
佐賀(n=316)	91.8	11.7	74.4	49.7	21.5
長崎(n=563)	81.2	6.7	59.0	41.6	7.1
熊本(n=601)	90.0	21.1	34.9	50.2	9.7
大分(n=316)	96.8	5.1	12.0	8.9	5.7
宮崎(n=519)	99.8	7.3	9.1	23.7	11.8
鹿児島(n=802)	96.6	7.0	28.8	46.5	7.7
沖縄(n=420)	98.8	13.1	64.5	15.7	11.2
全国(n=31,830)	95.0	10.5	37.5	27.4	12.3

2-3 学校薬剤師の学校環境衛生基準に基づく定期検査への関与状況について



- 学校で実施しているすべての検査項目においてサンプリングや測定を自ら行う
- 一部の検査項目ではサンプリングや測定を自ら行うが、検査項目によっては他者が行うサンプリングや測定に対する指導助言のみの場合もある
- 他者が行うサンプリングや測定に対する指導助言のみ

2-4 議事における環境衛生に関する指導助言等の有無について

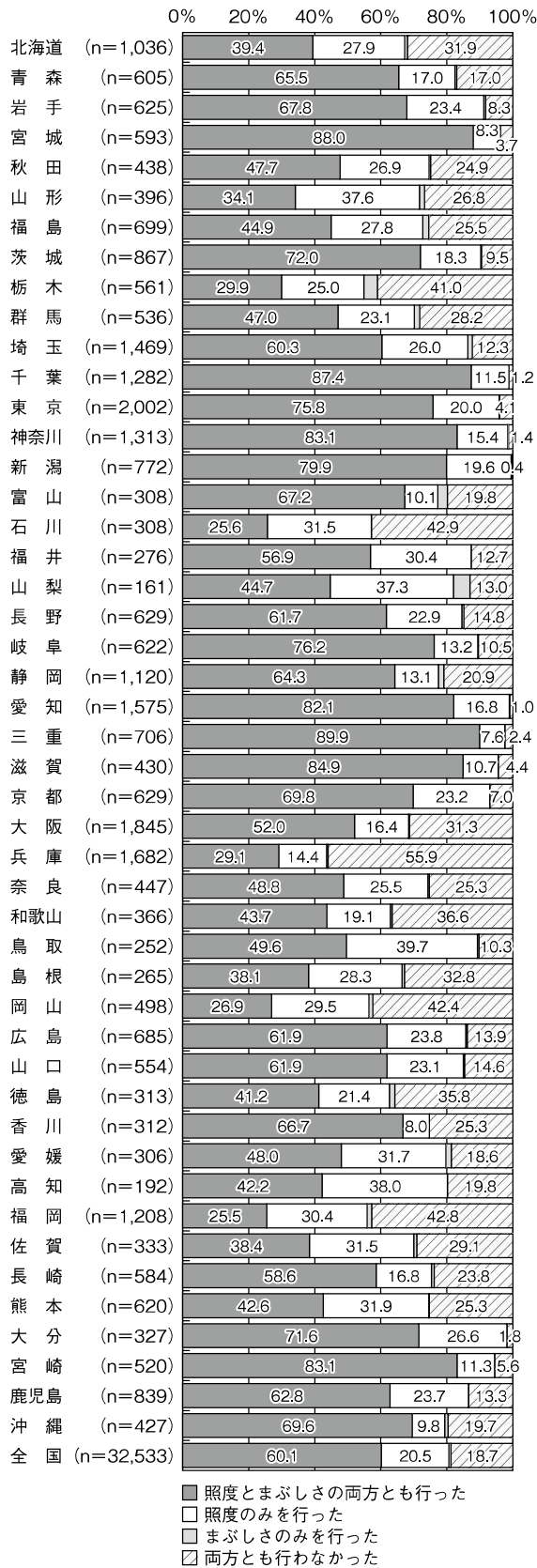


- あった
- なかった

2-5 講話・講演及び支援の題材について（複数回答可）

	1. 医薬品	2. 喫煙、飲酒防止	3. 薬物乱用防止	4. 学校環境衛生	5. その他
北海道(n=84)	36.9	27.4	71.4	10.7	13.1
青森(n=134)	29.1	67.9	67.9	3.0	6.0
岩手(n=367)	43.6	68.1	95.1	8.7	4.4
宮城(n=159)	34.6	42.1	95.0	6.9	3.1
秋田(n=130)	39.2	43.1	80.8	9.2	12.3
山形(n=75)	50.7	50.7	57.3	13.3	20.0
福島(n=159)	39.0	39.6	90.6	8.2	8.2
茨城(n=158)	34.2	31.6	67.7	25.3	13.3
栃木(n=111)	50.5	36.0	64.9	15.3	13.5
群馬(n=111)	30.6	25.2	49.5	36.0	24.3
埼玉(n=296)	37.5	37.5	72.6	15.5	10.5
千葉(n=144)	50.7	33.3	58.3	4.9	18.1
東京(n=602)	48.2	29.1	83.4	11.8	6.5
神奈川(n=239)	32.2	34.3	66.9	15.5	14.6
新潟(n=216)	43.1	48.6	90.3	4.6	5.6
富山(n=58)	24.1	24.1	72.4	13.8	20.7
石川(n=108)	27.8	63.0	70.4	11.1	13.9
福井(n=100)	33.0	48.0	86.0	4.0	7.0
山梨(n=27)	40.7	14.8	44.4	29.6	18.5
長野(n=219)	36.5	75.3	84.9	6.4	2.7
岐阜(n=279)	30.8	43.7	91.4	17.9	5.4
静岡(n=798)	74.4	77.1	75.8	8.5	5.9
愛知(n=215)	63.3	29.8	48.4	20.9	15.8
三重(n=119)	71.4	46.2	75.6	9.2	5.9
滋賀(n=86)	33.7	48.8	73.3	14.0	2.3
京都(n=159)	52.2	40.3	80.5	15.1	5.7
大阪(n=729)	55.6	45.0	82.4	8.9	6.6
兵庫(n=168)	29.2	35.7	64.9	14.9	11.9
奈良(n=103)	57.3	50.5	72.8	17.5	16.5
和歌山(n=60)	51.7	38.3	51.7	26.7	25.0
鳥取(n=55)	30.9	18.2	80.0	16.4	5.5
島根(n=43)	46.5	55.8	67.4	4.7	9.3
岡山(n=132)	44.7	42.4	76.5	12.9	12.1
広島(n=296)	36.8	63.2	90.9	13.2	4.1
山口(n=178)	25.8	53.4	85.4	6.2	8.4
徳島(n=58)	32.8	63.8	86.2	8.6	1.7
香川(n=24)	33.3	58.3	70.8	29.2	8.3
愛媛(n=52)	26.9	50.0	67.3	5.8	5.8
高知(n=18)	55.6	55.6	61.1	16.7	5.6
福岡(n=309)	24.3	53.7	86.4	7.4	4.9
佐賀(n=154)	16.9	55.8	74.0	5.8	2.6
長崎(n=233)	33.0	51.1	91.8	7.7	3.4
熊本(n=298)	41.3	69.1	92.6	8.4	3.0
大分(n=28)	17.9	35.7	85.7	0.0	10.7
宮崎(n=123)	44.7	43.9	59.3	7.3	23.6
鹿児島(n=370)	23.5	65.9	85.4	10.5	25.4
沖縄(n=65)	35.4	67.7	76.9	16.9	20.0
全国(n=8,649)	43.0	50.2	79.1	11.2	9.0

A-1 実施した「採光及び照明」の検査項目について、該当するものを選んでください。



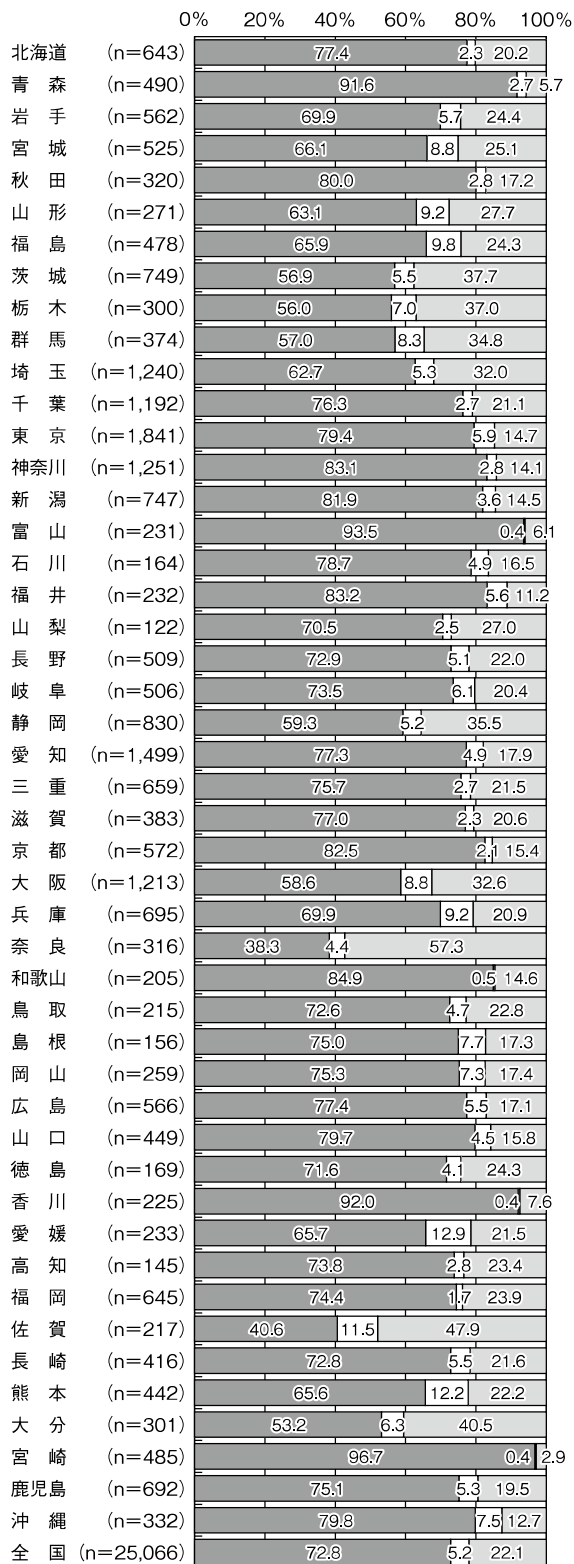
A-1 実施した「採光及び照明」の検査項目について、該当するものを選んでください。

	1. 照度とまぶしさの両方とも行った	2. 照度のみを行った	3. まぶしさのみを行った	4. 両方とも行わなかった
北海道(n=1,036)	39.4	27.9	0.8	31.9
青森(n=605)	65.5	17.0	0.5	17.0
岩手(n=625)	67.8	23.4	0.5	8.3
宮城(n=593)	88.0	8.3	0.0	3.7
秋田(n=438)	47.7	26.9	0.5	24.9
山形(n=396)	34.1	37.6	1.5	26.8
福島(n=699)	44.9	27.8	1.9	25.5
茨城(n=867)	72.0	18.3	0.2	9.5
栃木(n=561)	29.9	25.0	4.1	41.0
群馬(n=536)	47.0	23.1	1.7	28.2
埼玉(n=1,469)	60.3	26.0	1.4	12.3
千葉(n=1,282)	87.4	11.5	0.0	1.2
東京(n=2,002)	75.8	20.0	0.1	4.1
神奈川(n=1,313)	83.1	15.4	0.2	1.4
新潟(n=772)	79.9	19.6	0.1	0.4
富山(n=308)	67.2	10.1	2.9	19.8
石川(n=308)	25.6	31.5	0.0	42.9
福井(n=276)	56.9	30.4	0.0	12.7
山梨(n=161)	44.7	37.3	5.0	13.0
長野(n=629)	61.7	22.9	0.6	14.8
岐阜(n=622)	76.2	13.2	0.2	10.5
静岡(n=1,120)	64.3	13.1	1.7	20.9
愛知(n=1,575)	82.1	16.8	0.1	1.0
三重(n=706)	89.9	7.6	0.0	2.4
滋賀(n=430)	84.9	10.7	0.0	4.4
京都(n=629)	69.8	23.2	0.0	7.0
大阪(n=1,845)	52.0	16.4	0.3	31.3
兵庫(n=1,682)	29.1	14.4	0.5	55.9
奈良(n=447)	48.8	25.5	0.4	25.3
和歌山(n=366)	43.7	19.1	0.5	36.6
鳥取(n=252)	49.6	39.7	0.4	10.3
島根(n=265)	38.1	28.3	0.8	32.8
岡山(n=498)	26.9	29.5	1.2	42.4
広島(n=685)	61.9	23.8	0.4	13.9
山口(n=554)	61.9	23.1	0.4	14.6
徳島(n=313)	41.2	21.4	1.6	35.8
香川(n=312)	66.7	8.0	0.0	25.3
愛媛(n=306)	48.0	31.7	1.6	18.6
高知(n=192)	42.2	38.0	0.0	19.8
福岡(n=1,208)	25.5	30.4	1.3	42.8
佐賀(n=333)	38.4	31.5	0.9	29.1
長崎(n=584)	58.6	16.8	0.9	23.8
熊本(n=620)	42.6	31.9	0.2	25.3
大分(n=327)	71.6	26.6	0.0	1.8
宮崎(n=520)	83.1	11.3	0.0	5.6
鹿児島(n=839)	62.8	23.7	0.1	13.3
沖縄(n=427)	69.6	9.8	0.9	19.7
全国(n=32,533)	60.1	20.5	0.6	18.7

A-2 実施した「採光及び照明」の場所について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

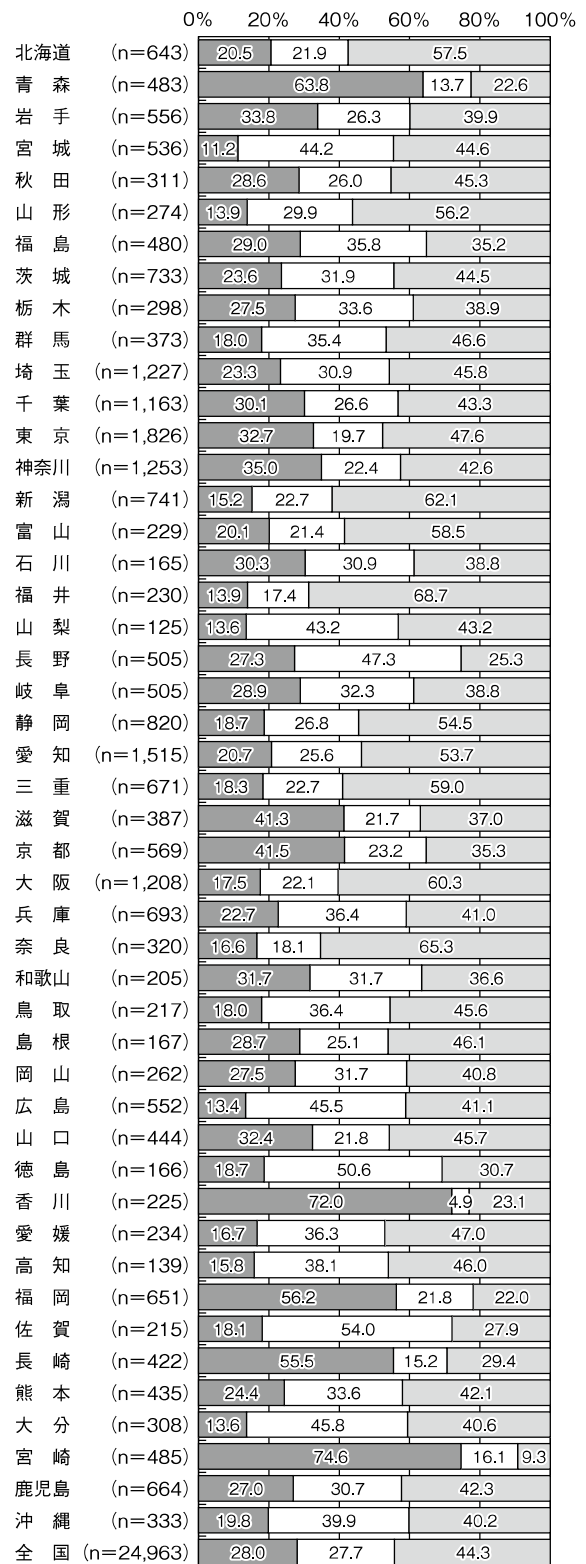
	1. 普通教室	2. コンピュータ教室	3. 体育館	4. 特別教室 (図書室・家庭科室等)	5. 教室以外の場所 (廊下・階段)
北海道(n=692)	95.1	39.3	4.9	32.7	5.8
青森(n=496)	96.8	13.9	2.0	20.2	1.0
岩手(n=569)	97.0	32.5	2.5	27.6	5.3
宮城(n=568)	95.1	8.6	0.0	15.0	0.5
秋田(n=326)	95.4	23.3	7.1	31.0	11.7
山形(n=284)	97.5	28.9	8.1	39.8	7.7
福島(n=508)	96.5	28.5	3.5	39.6	7.1
茨城(n=781)	99.1	18.2	1.3	30.6	5.8
栃木(n=307)	95.8	23.1	2.9	36.2	8.5
群馬(n=375)	89.3	18.9	1.1	10.9	3.2
埼玉(n=1,267)	97.1	22.3	0.4	24.9	4.1
千葉(n=1,264)	95.3	8.0	1.4	35.8	2.4
東京(n=1,909)	98.9	19.6	2.4	27.3	2.3
神奈川(n=1,287)	99.1	66.1	0.5	8.7	1.0
新潟(n=768)	98.3	87.9	0.3	2.1	0.4
富山(n=238)	97.9	66.8	2.5	37.0	8.8
石川(n=176)	88.6	13.6	4.0	24.4	4.0
福井(n=240)	97.5	10.4	2.1	18.3	0.4
山梨(n=130)	100.0	16.2	0.0	23.8	3.1
長野(n=532)	95.7	46.2	1.3	24.1	1.9
岐阜(n=556)	98.0	58.1	0.5	25.0	3.1
静岡(n=867)	97.8	48.6	0.3	15.7	2.3
愛知(n=1,554)	97.9	23.5	0.3	16.7	1.0
三重(n=688)	99.1	77.6	1.5	23.5	1.3
滋賀(n=411)	97.3	51.3	0.0	13.9	1.2
京都(n=585)	97.3	20.3	9.9	40.5	4.3
大阪(n=1,259)	94.0	11.6	16.0	18.7	4.4
兵庫(n=728)	96.2	23.5	3.8	26.2	11.5
奈良(n=330)	90.3	10.3	3.0	20.6	4.5
和歌山(n=226)	96.0	8.8	1.8	25.2	2.7
鳥取(n=225)	99.1	41.3	2.7	53.3	2.7
島根(n=174)	99.4	40.2	9.2	59.2	25.3
岡山(n=280)	97.5	17.5	2.1	37.5	5.7
広島(n=586)	98.3	43.2	1.2	30.4	5.5
山口(n=471)	95.5	30.8	1.7	30.8	5.9
徳島(n=192)	94.3	4.2	0.5	28.6	2.1
香川(n=233)	97.9	24.0	0.4	26.2	0.4
愛媛(n=244)	98.0	49.2	9.4	42.2	10.2
高知(n=153)	96.7	56.9	0.7	59.5	22.9
福岡(n=648)	92.3	20.7	2.6	33.5	13.3
佐賀(n=231)	98.3	31.2	7.4	50.6	10.0
長崎(n=436)	97.9	36.7	24.5	24.3	15.1
熊本(n=461)	94.8	48.2	4.1	53.6	9.8
大分(n=319)	93.4	1.3	19.1	7.8	1.9
宮崎(n=489)	91.8	46.4	0.4	14.1	0.2
鹿児島(n=723)	96.8	39.4	5.4	61.8	6.1
沖縄(n=338)	92.9	49.7	5.6	62.4	3.3
全国(n=26,124)	96.6	32.2	3.5	27.1	4.5

A-3 測定に使用した照度計について、該当するものを選んでください。



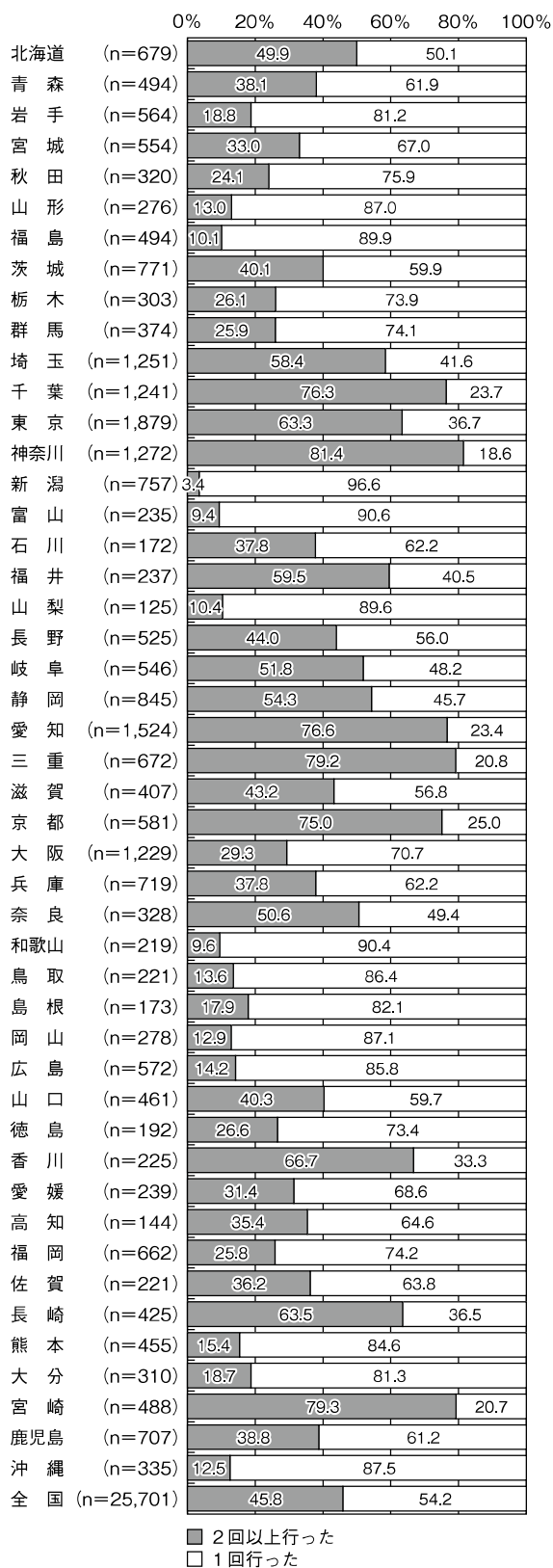
■ JIS C1609-1, 2006に適合している照度計
□ その他の光電池照度計
□ その他のデジタル照度計

A-4 照度計の補正について、該当するものを選んでください。



■ 定期的に行っている
□ 使用時に行っている
□ 行ったことはない

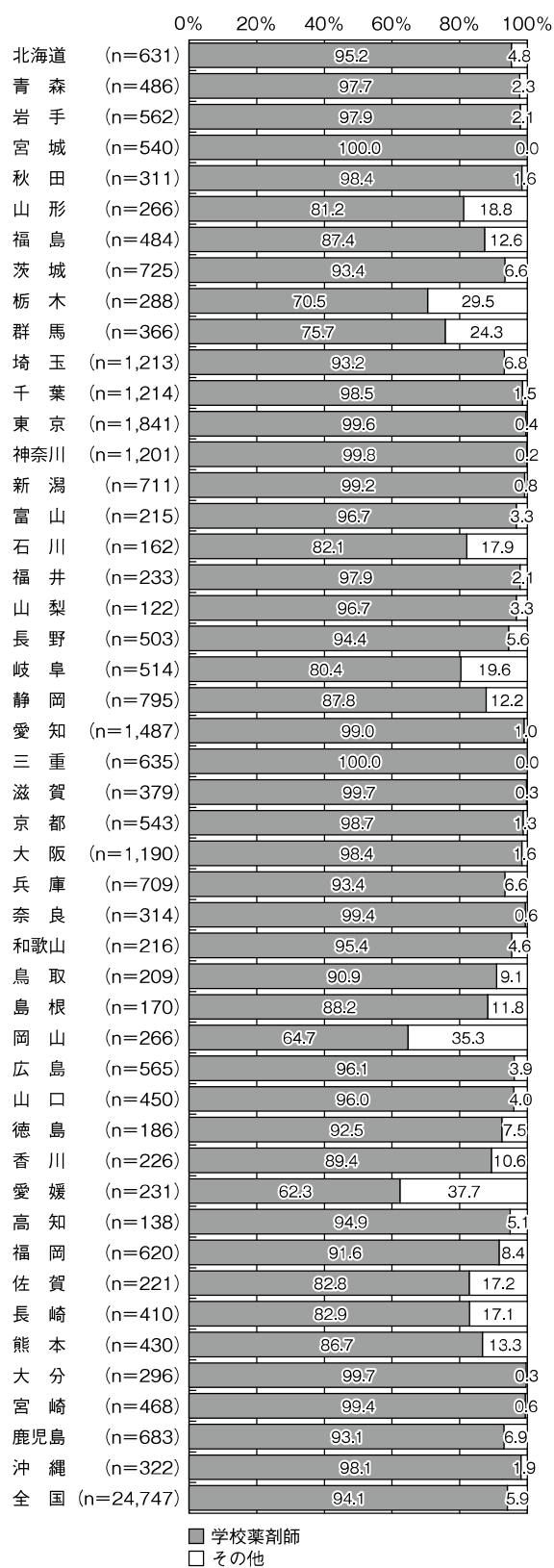
A-5 検査の回数について、該当するものを選んでください。



A-6 照度を測定した場所について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

	1. 教室の机上	2. 教室の黒板	3. テレビ画面 (教室又は 視聴覚室)	4. コンピュータ 教室の机上	5. コンピュータ 画面	6. その他 (床 面等)
北海道(n=688)	94.2	91.9	15.4	37.4	21.4	8.6
青森(n=497)	95.2	83.5	1.2	12.1	2.2	7.0
岩手(n=569)	98.8	94.9	3.3	32.2	23.2	3.0
宮城(n=568)	98.6	94.2	0.9	7.4	2.3	0.9
秋田(n=325)	96.3	92.9	3.7	22.5	13.2	9.5
山形(n=284)	97.5	86.3	2.5	28.9	10.9	5.3
福島(n=506)	98.6	94.1	1.6	29.1	11.5	4.7
茨城(n=782)	97.7	95.0	1.4	17.9	5.9	6.0
栃木(n=307)	97.1	89.6	14.3	23.8	9.8	6.5
群馬(n=376)	88.6	88.6	2.1	18.4	13.0	3.7
埼玉(n=1,264)	98.3	93.3	5.2	22.2	15.8	3.8
千葉(n=1,263)	97.9	96.0	0.2	7.2	2.6	2.9
東京(n=1,906)	98.9	95.4	8.6	18.8	11.5	4.8
神奈川(n=1,293)	98.1	97.1	1.9	66.4	58.3	1.8
新潟(n=767)	97.8	95.0	32.3	87.4	82.4	8.0
富山(n=237)	99.2	94.1	24.5	66.7	60.3	6.3
石川(n=176)	96.0	87.5	2.8	11.9	5.7	2.8
福井(n=238)	98.3	93.7	9.2	10.1	3.8	4.2
山梨(n=131)	98.5	93.9	3.8	10.7	6.1	2.3
長野(n=529)	98.7	95.7	22.5	42.3	37.8	2.3
岐阜(n=554)	98.2	94.8	1.8	55.1	43.3	2.0
静岡(n=860)	95.2	88.8	1.7	46.9	40.7	6.7
愛知(n=1,556)	98.7	93.6	5.5	23.8	8.2	2.4
三重(n=685)	97.8	93.9	0.9	77.1	74.9	5.1
滋賀(n=410)	92.4	79.5	50.2	51.2	49.0	10.2
京都(n=577)	97.2	90.6	49.4	19.6	14.9	12.0
大阪(n=1,251)	92.6	84.0	12.2	11.0	3.3	16.0
兵庫(n=726)	93.0	81.3	6.7	22.9	16.1	12.9
奈良(n=328)	92.4	75.6	7.9	11.6	9.8	13.4
和歌山(n=227)	98.2	94.3	1.3	7.0	3.1	2.6
鳥取(n=225)	97.3	95.6	2.7	42.2	16.0	6.7
島根(n=175)	97.1	92.6	5.1	42.9	22.3	16.0
岡山(n=279)	94.6	82.4	3.9	17.9	9.7	9.0
広島(n=582)	98.1	94.2	16.5	43.8	33.3	2.7
山口(n=470)	97.4	94.0	3.8	30.4	21.1	6.0
徳島(n=194)	97.9	91.2	0.5	4.6	1.0	3.6
香川(n=231)	93.9	86.1	0.0	21.6	17.3	4.8
愛媛(n=244)	98.0	92.6	7.0	42.6	21.7	4.9
高知(n=153)	98.0	96.7	0.0	54.2	24.2	6.5
福岡(n=648)	85.3	85.0	1.5	18.2	8.8	11.3
佐賀(n=233)	97.9	92.3	10.3	27.9	10.7	6.9
長崎(n=437)	98.4	96.8	7.1	34.6	22.9	9.8
熊本(n=462)	97.4	93.3	8.4	46.3	22.5	8.2
大分(n=320)	96.3	90.9	2.8	1.6	0.3	15.3
宮崎(n=491)	95.9	82.7	0.2	50.9	4.7	6.9
鹿児島(n=719)	97.6	92.8	2.4	38.1	14.2	7.0
沖縄(n=339)	97.6	94.4	20.6	48.1	36.0	5.9
全国(n=26,082)	96.7	91.7	8.2	31.5	21.3	6.3

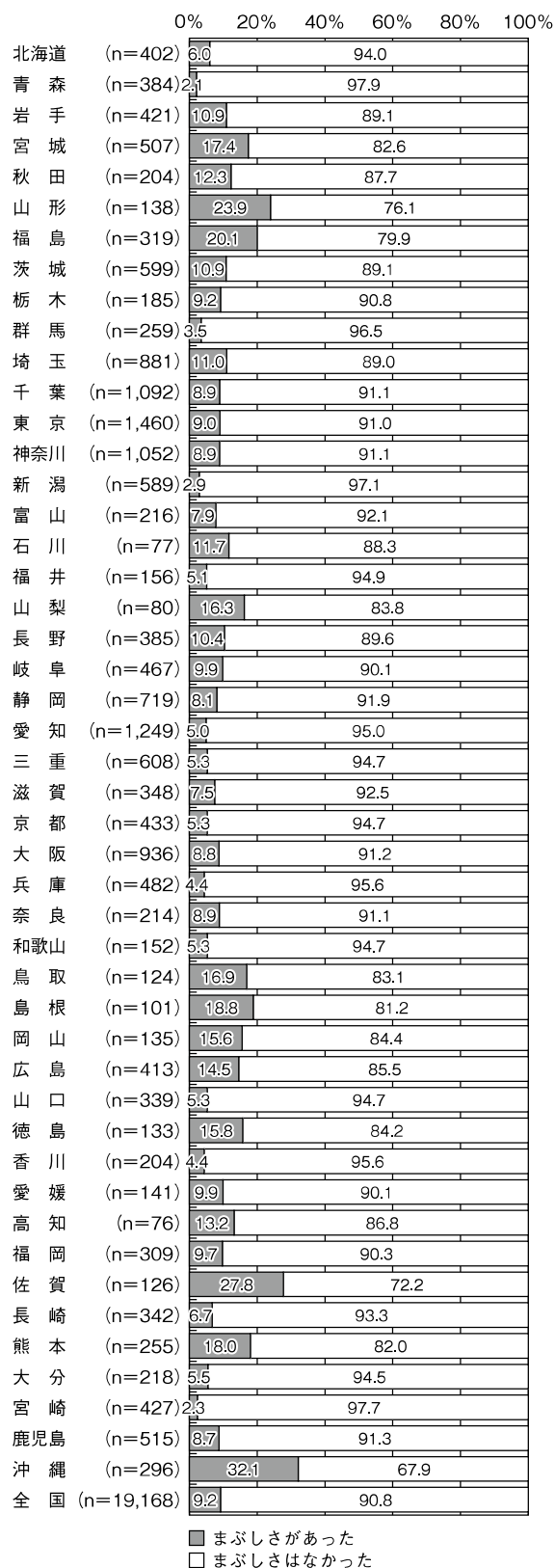
A-7 照度の測定者について、該当するものを選んでください。



A-8 照度の結果について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

	1. 照度が下限値 (300lx)未満の 教室等があった	2. 照度が下限値 (300lx)未満の 黒板があった	3. 最大照度と最少 照度の比が20: 1を超える教室 等があった	4. 最大照度と最少 照度の比が20: 1を超える黒板 があった	5. 該当なし
北海道(n=668)	18.1	14.7	1.3	0.7	76.8
青森(n=482)	9.1	7.5	0.2	0.4	86.9
岩手(n=567)	9.9	8.1	0.9	0.2	86.6
宮城(n=559)	7.3	6.6	2.1	0.4	88.6
秋田(n=323)	15.5	9.9	1.9	0.6	80.5
山形(n=278)	10.8	7.9	3.2	1.4	83.5
福島(n=503)	11.3	9.3	3.4	0.8	81.7
茨城(n=767)	8.1	7.4	1.8	0.5	87.1
栃木(n=302)	13.9	9.9	0.7	0.0	82.1
群馬(n=374)	6.1	2.1	1.3	0.3	92.5
埼玉(n=1,252)	14.3	13.2	1.8	0.3	79.8
千葉(n=1,243)	10.5	9.4	0.4	0.2	85.4
東京(n=1,876)	8.6	7.4	1.2	0.2	87.2
神奈川(n=1,266)	12.3	8.6	0.9	0.3	84.4
新潟(n=757)	19.7	17.8	2.1	1.1	74.7
富山(n=234)	7.7	9.4	1.3	1.7	85.5
石川(n=173)	5.8	6.9	2.3	0.6	90.8
福井(n=235)	9.4	6.4	1.3	0.0	88.5
山梨(n=126)	7.9	4.8	0.8	0.0	91.3
長野(n=520)	12.9	9.0	3.3	0.4	80.2
岐阜(n=549)	20.8	18.0	3.1	0.7	70.5
静岡(n=848)	12.3	9.8	0.7	0.8	83.3
愛知(n=944)	6.8	3.3	0.8	0.1	91.1
三重(n=660)	20.0	14.4	1.7	0.5	74.2
滋賀(n=398)	15.6	12.1	1.3	0.8	80.4
京都(n=569)	21.3	26.4	0.4	0.0	65.2
大阪(n=1,230)	11.8	9.7	1.1	0.2	84.3
兵庫(n=713)	13.9	9.0	1.5	0.1	81.8
奈良(n=324)	13.0	10.5	0.9	0.3	81.5
和歌山(n=215)	12.1	10.7	0.9	0.0	82.3
鳥取(n=223)	16.1	11.7	4.5	0.4	76.7
鳥根(n=171)	20.5	16.4	0.6	0.0	73.1
岡山(n=272)	14.7	11.0	2.2	0.4	80.1
広島(n=576)	14.2	12.0	2.3	0.2	79.7
山口(n=466)	15.0	12.9	2.8	0.2	78.1
徳島(n=192)	10.4	8.9	2.1	0.5	84.4
香川(n=229)	2.6	0.9	0.4	0.0	96.1
愛媛(n=241)	11.2	8.3	2.5	0.4	83.4
高知(n=150)	4.0	4.7	0.7	0.0	92.7
福岡(n=635)	9.9	9.3	1.6	0.3	84.1
佐賀(n=223)	16.6	13.0	2.7	0.4	77.1
長崎(n=432)	11.6	9.0	1.2	0.0	82.9
熊本(n=455)	18.2	18.0	4.2	1.3	73.6
大分(n=309)	4.2	3.9	3.2	0.0	89.6
宮崎(n=490)	11.8	10.4	0.0	0.2	83.3
鹿児島(n=707)	20.2	16.1	1.6	0.4	73.7
沖縄(n=332)	19.3	13.0	1.5	0.0	77.4
全国(n=25,058)	12.7	10.4	1.5	0.4	82.3

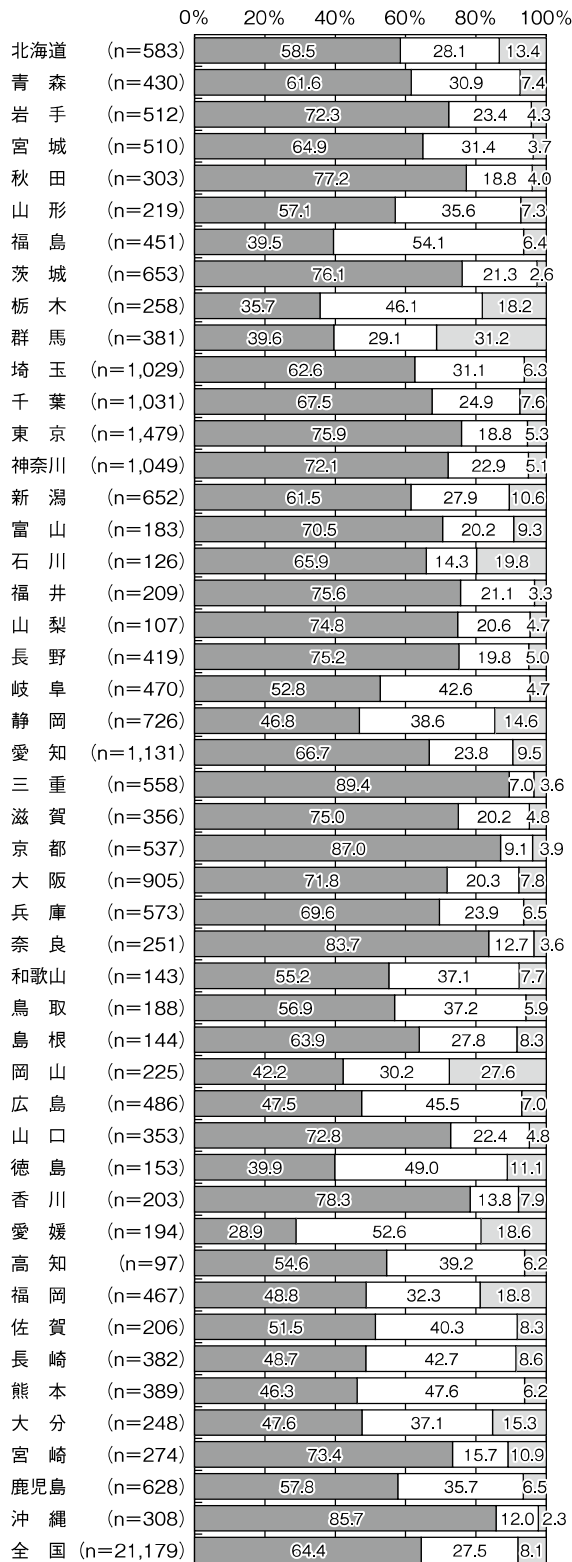
A-9 まぶしさの検査結果について、該当するものを選んでください。



A-10 まぶしさの原因に該当するものを選んでください。(複数回答可)

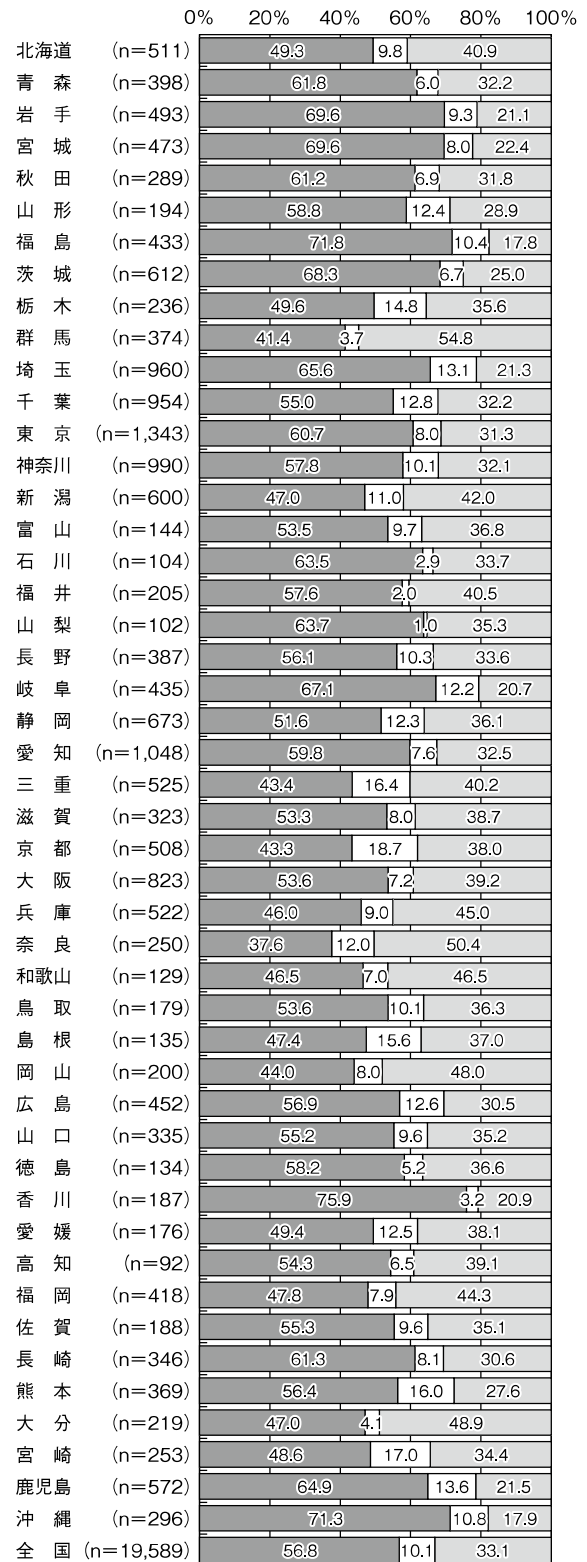
	1. 黒板に近い窓	2. 直射日光	3. 窓の外の反射光	4. 光源及び光沢	5. その他
北海道(n=23)	26.1	82.6	0.0	13.0	0.0
青森(n=8)	12.5	75.0	12.5	12.5	0.0
岩手(n=46)	6.5	78.3	15.2	6.5	8.7
宮城(n=87)	14.9	71.3	12.6	6.9	5.7
秋田(n=25)	12.0	80.0	28.0	4.0	4.0
山形(n=31)	22.6	77.4	22.6	0.0	3.2
福島(n=62)	16.1	87.1	8.1	0.0	1.6
茨城(n=65)	10.8	83.1	7.7	1.5	0.0
栃木(n=16)	31.3	75.0	12.5	12.5	0.0
群馬(n=7)	0.0	57.1	42.9	0.0	14.3
埼玉(n=95)	16.8	55.8	14.7	21.1	4.2
千葉(n=94)	12.8	76.6	18.1	3.2	2.1
東京(n=128)	21.9	75.0	8.6	2.3	3.1
神奈川(n=92)	13.0	79.3	10.9	3.3	1.1
新潟(n=15)	26.7	66.7	6.7	13.3	0.0
富山(n=17)	47.1	41.2	23.5	0.0	5.9
石川(n=8)	25.0	87.5	0.0	0.0	0.0
福井(n=8)	12.5	87.5	0.0	0.0	0.0
山梨(n=13)	7.7	92.3	0.0	0.0	0.0
長野(n=40)	25.0	77.5	15.0	2.5	0.0
岐阜(n=46)	17.4	58.7	13.0	10.9	8.7
静岡(n=56)	32.1	64.3	10.7	7.1	3.6
愛知(n=62)	19.4	64.5	12.9	16.1	0.0
三重(n=31)	16.1	74.2	9.7	6.5	3.2
滋賀(n=24)	29.2	37.5	4.2	29.2	4.2
京都(n=23)	8.7	87.0	4.3	0.0	4.3
大阪(n=80)	26.3	58.8	13.8	11.3	2.5
兵庫(n=21)	19.0	76.2	14.3	4.8	0.0
奈良(n=19)	42.1	68.4	21.1	5.3	0.0
和歌山(n=8)	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0
鳥取(n=19)	10.5	94.7	5.3	0.0	0.0
島根(n=19)	21.1	84.2	10.5	5.3	0.0
岡山(n=19)	26.3	68.4	21.1	5.3	0.0
広島(n=59)	22.0	69.5	15.3	6.8	3.4
山口(n=18)	11.1	66.7	11.1	16.7	0.0
徳島(n=21)	9.5	95.2	0.0	0.0	0.0
香川(n=9)	22.2	66.7	11.1	33.3	0.0
愛媛(n=14)	35.7	42.9	21.4	7.1	0.0
高知(n=10)	10.0	80.0	0.0	20.0	0.0
福岡(n=29)	10.3	75.9	24.1	3.4	0.0
佐賀(n=34)	17.6	88.2	20.6	0.0	0.0
長崎(n=23)	13.0	87.0	30.4	0.0	0.0
熊本(n=44)	6.8	79.5	22.7	0.0	0.0
大分(n=11)	36.4	54.5	0.0	9.1	0.0
宮崎(n=10)	0.0	80.0	20.0	0.0	10.0
鹿児島(n=45)	11.1	84.4	15.6	0.0	2.2
沖縄(n=93)	11.8	52.7	41.9	15.1	7.5
全国(n=1,727)	17.7	72.1	14.8	6.9	2.7

A-11 「採光及び照明」に関して改善が必要な場合の事後処置について、該当するものを選んでください。



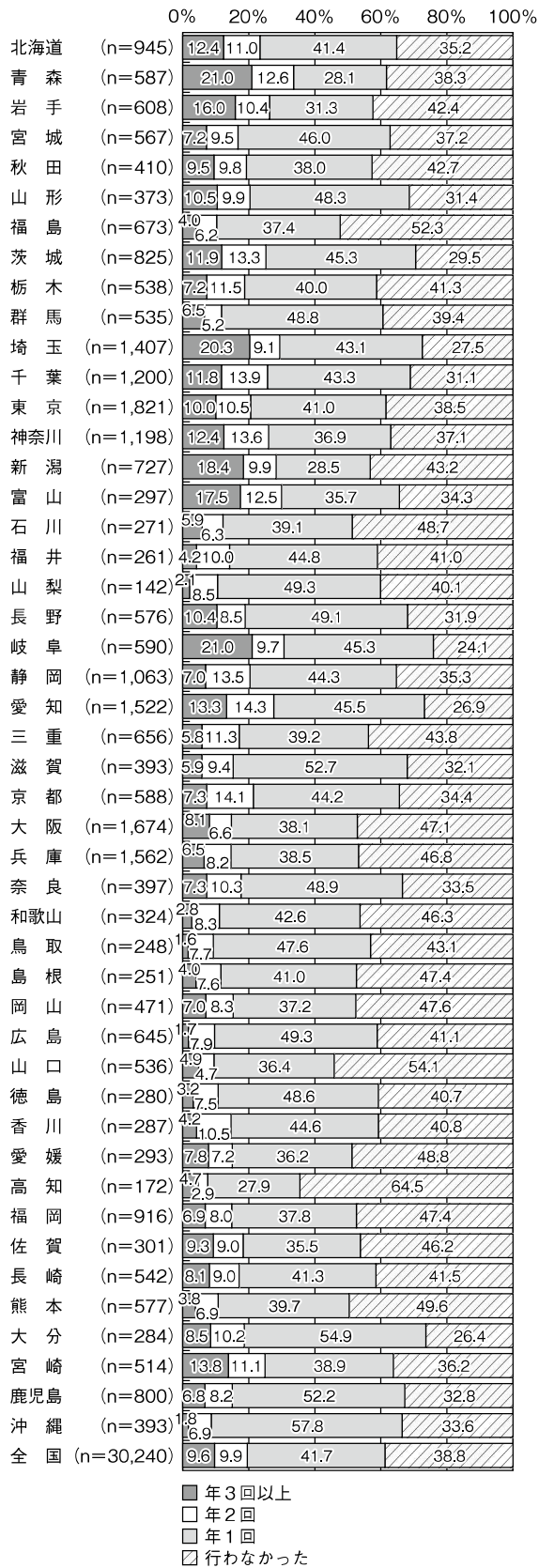
■ 報告書を提出して指導・助言した
□ 口頭で指導・助言した
□ 何もなかった

A-12 指導助言の結果、照度・まぶしさについて改善したかどうか該当するものを選んでください。

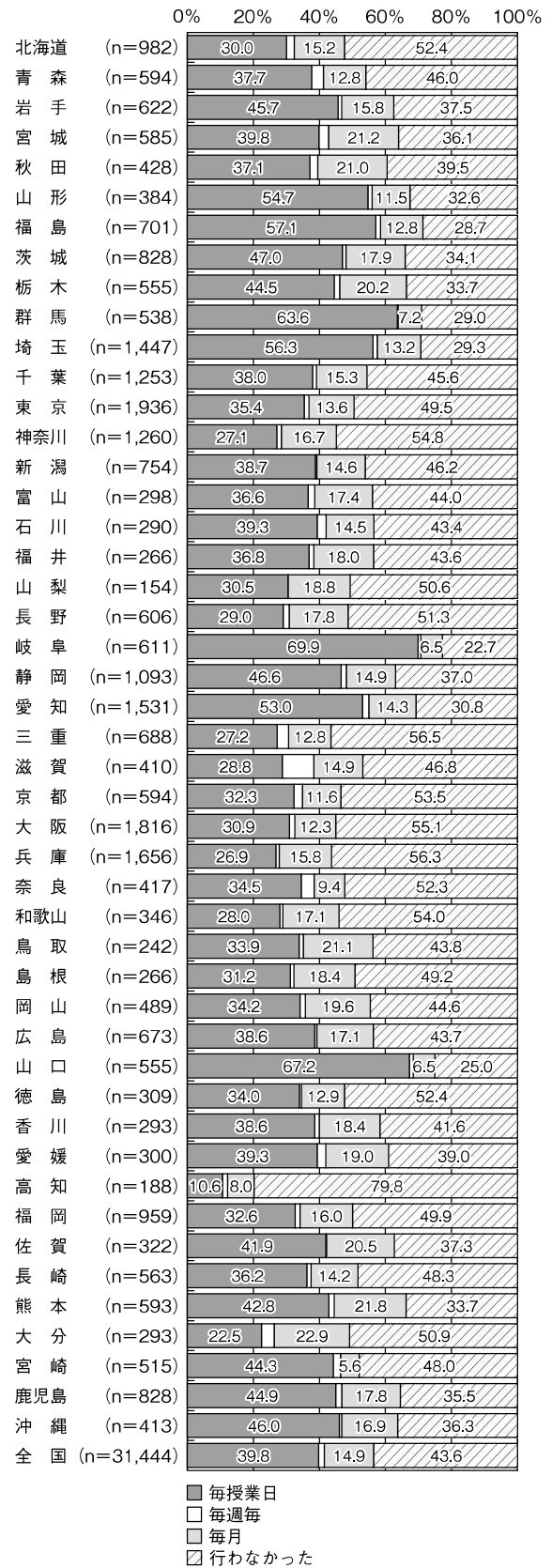


■ 改善した
□ 改善されていない
□ 分からない

A-13 照明器具の清掃の回数について、該当するものを選んでください。



B-1 日常点検を行っていますか。



A-13 照明器具の清掃の回数について、該当するものを選んでください。

	1. 年3回以上	2. 年2回	3. 年1回	4. 行わなかった
北海道(n=945)	12.4	11.0	41.4	35.2
青森(n=587)	21.0	12.6	28.1	38.3
岩手(n=608)	16.0	10.4	31.3	42.4
宮城(n=567)	7.2	9.5	46.0	37.2
秋田(n=410)	9.5	9.8	38.0	42.7
山形(n=373)	10.5	9.9	48.3	31.4
福島(n=673)	4.0	6.2	37.4	52.3
茨城(n=825)	11.9	13.3	45.3	29.5
栃木(n=538)	7.2	11.5	40.0	41.3
群馬(n=535)	6.5	5.2	48.8	39.4
埼玉(n=1,407)	20.3	9.1	43.1	27.5
千葉(n=1,200)	11.8	13.9	43.3	31.1
東京(n=1,821)	10.0	10.5	41.0	38.5
神奈川(n=1,198)	12.4	13.6	36.9	37.1
新潟(n=727)	18.4	9.9	28.5	43.2
富山(n=297)	17.5	12.5	35.7	34.3
石川(n=271)	5.9	6.3	39.1	48.7
福井(n=261)	4.2	10.0	44.8	41.0
山梨(n=142)	2.1	8.5	49.3	40.1
長野(n=576)	10.4	8.5	49.1	31.9
岐阜(n=590)	21.0	9.7	45.3	24.1
静岡(n=1,063)	7.0	13.5	44.3	35.3
愛知(n=1,522)	13.3	14.3	45.5	26.9
三重(n=656)	5.8	11.3	39.2	43.8
滋賀(n=393)	5.9	9.4	52.7	32.1
京都(n=588)	7.3	14.1	44.2	34.4
大阪(n=1,674)	8.1	6.6	38.1	47.1
兵庫(n=1,562)	6.5	8.2	38.5	46.8
奈良(n=397)	7.3	10.3	48.9	33.5
和歌山(n=324)	2.8	8.3	42.6	46.3
鳥取(n=248)	1.6	7.7	47.6	43.1
島根(n=251)	4.0	7.6	41.0	47.4
岡山(n=471)	7.0	8.3	37.2	47.6
広島(n=645)	1.7	7.9	49.3	41.1
山口(n=536)	4.9	4.7	36.4	54.1
徳島(n=280)	3.2	7.5	48.6	40.7
香川(n=287)	4.2	10.5	44.6	40.8
愛媛(n=293)	7.8	7.2	36.2	48.8
高知(n=172)	4.7	2.9	27.9	64.5
福岡(n=916)	6.9	8.0	37.8	47.4
佐賀(n=301)	9.3	9.0	35.5	46.2
長崎(n=542)	8.1	9.0	41.3	41.5
熊本(n=577)	3.8	6.9	39.7	49.6
大分(n=284)	8.5	10.2	54.9	26.4
宮崎(n=514)	13.8	11.1	38.9	36.2
鹿児島(n=800)	6.8	8.3	52.3	32.8
沖縄(n=393)	1.8	6.9	57.8	33.6
全国(n=30,240)	9.6	9.9	41.7	38.8

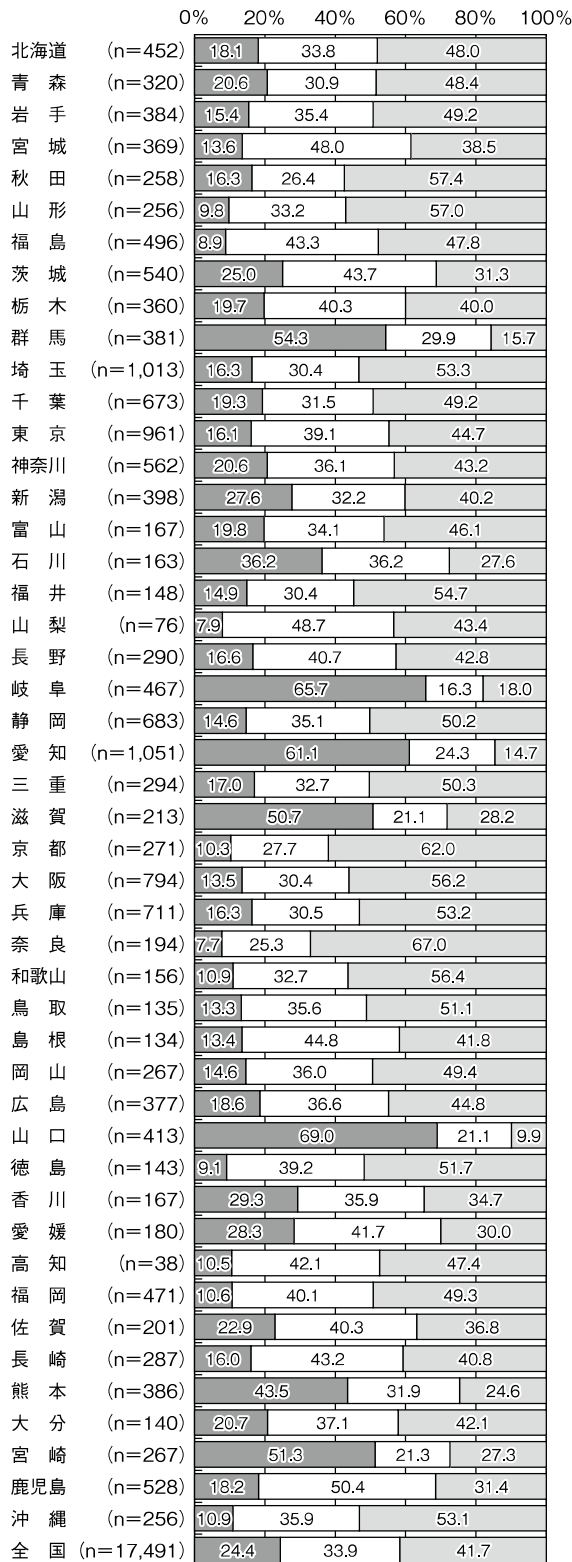
B-1 日常点検を行っていますか。

	1. 毎授業日	2. 毎週毎	3. 毎月	4. 行わなかった
北海道(n=982)	30.0	2.3	15.2	52.4
青森(n=594)	37.7	3.5	12.8	46.0
岩手(n=622)	45.7	1.1	15.8	37.5
宮城(n=585)	39.8	2.9	21.2	36.1
秋田(n=428)	37.1	2.3	21.0	39.5
山形(n=384)	54.7	1.3	11.5	32.6
福島(n=701)	57.1	1.4	12.8	28.7
茨城(n=828)	47.0	1.1	17.9	34.1
栃木(n=555)	44.5	1.6	20.2	33.7
群馬(n=538)	63.6	0.2	7.2	29.0
埼玉(n=1,447)	56.3	1.2	13.2	29.3
千葉(n=1,253)	38.0	1.1	15.3	45.6
東京(n=1,936)	35.4	1.5	13.6	49.5
神奈川(n=1,260)	27.1	1.3	16.7	54.8
新潟(n=754)	38.7	0.5	14.6	46.2
富山(n=298)	36.6	2.0	17.4	44.0
石川(n=290)	39.3	2.8	14.5	43.4
福井(n=266)	36.8	1.5	18.0	43.6
山梨(n=154)	30.5	0.0	18.8	50.6
長野(n=606)	29.0	1.8	17.8	51.3
岐阜(n=611)	69.9	0.8	6.5	22.7
静岡(n=1,093)	46.6	1.6	14.9	37.0
愛知(n=1,531)	53.0	1.9	14.3	30.8
三重(n=688)	27.2	3.5	12.8	56.5
滋賀(n=410)	28.8	9.5	14.9	46.8
京都(n=594)	32.3	2.5	11.6	53.5
大阪(n=1816)	30.9	1.7	12.3	55.1
兵庫(n=1,656)	26.9	1.0	15.8	56.3
奈良(n=417)	34.5	3.8	9.4	52.3
和歌山(n=346)	28.0	0.9	17.1	54.0
鳥取(n=242)	33.9	1.2	21.1	43.8
島根(n=266)	31.2	1.1	18.4	49.2
岡山(n=489)	34.2	1.6	19.6	44.6
広島(n=673)	38.6	0.6	17.1	43.7
山口(n=555)	67.2	1.3	6.5	25.0
徳島(n=309)	34.0	0.6	12.9	52.4
香川(n=293)	38.6	1.4	18.4	41.6
愛媛(n=300)	39.3	2.7	19.0	39.0
高知(n=188)	10.6	1.6	8.0	79.8
福岡(n=959)	32.6	1.5	16.0	49.9
佐賀(n=322)	41.9	0.3	20.5	37.3
長崎(n=563)	36.2	1.2	14.2	48.3
熊本(n=593)	42.8	1.7	21.8	33.7
大分(n=293)	22.5	3.8	22.9	50.9
宮崎(n=515)	44.3	2.1	5.6	48.0
鹿児島(n=828)	44.9	1.8	17.8	35.5
沖縄(n=413)	46.0	0.7	16.9	36.3
全国(n=31,444)	39.8	1.7	14.9	43.6

B-2 日常点検項目について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

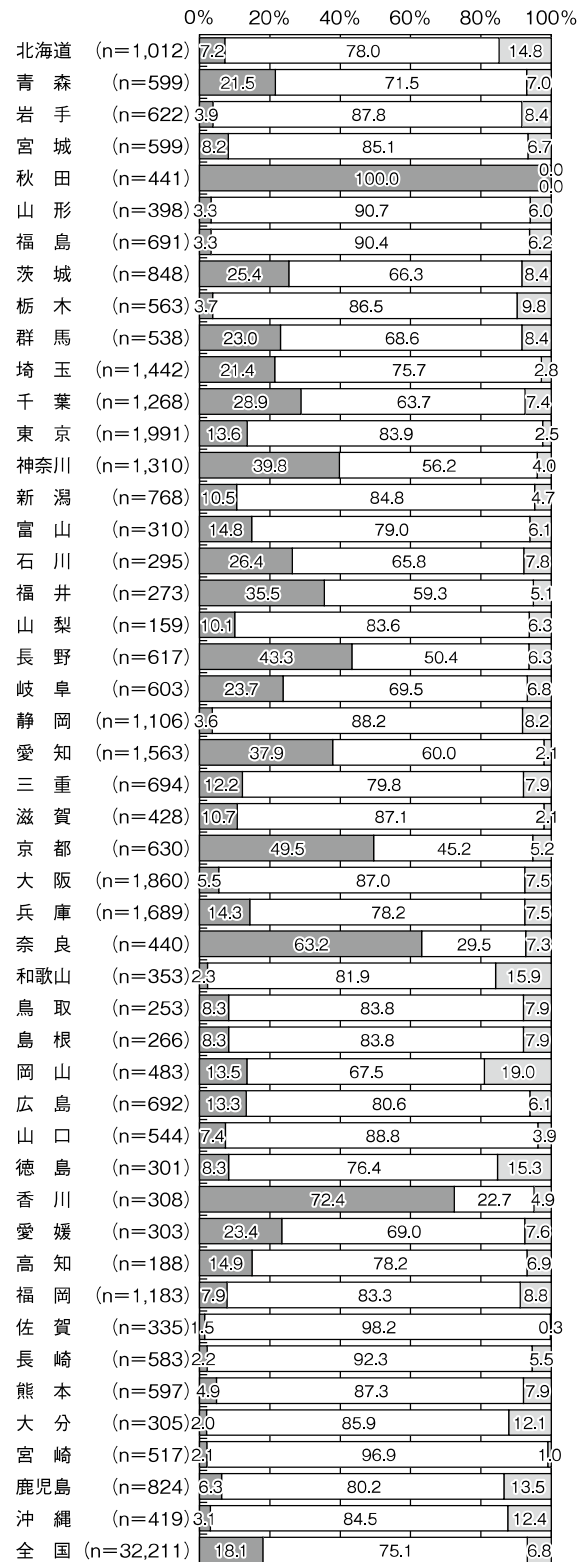
	1. 黒板面の明るさ	2. 机上面の明るさ	3. 黒板面のまぶしさ	4. 机上面のまぶしさ
北海道(n=445)	79.1	81.3	48.5	39.8
青森(n=312)	72.8	82.4	58.0	58.0
岩手(n=382)	83.2	81.4	70.2	61.3
宮城(n=370)	84.9	78.6	64.3	53.5
秋田(n=257)	79.8	78.6	63.4	57.2
山形(n=257)	81.3	84.8	72.4	64.2
福島(n=498)	81.7	81.7	69.3	61.0
茨城(n=535)	82.2	84.3	60.9	58.1
栃木(n=358)	81.3	80.7	64.0	55.9
群馬(n=381)	85.3	87.1	67.5	64.6
埼玉(n=1,009)	84.1	86.0	63.3	59.7
千葉(n=674)	81.6	84.9	67.4	60.7
東京(n=952)	84.6	88.4	58.8	52.0
神奈川(n=547)	77.5	82.6	59.6	55.4
新潟(n=386)	83.2	85.0	69.2	66.3
富山(n=158)	80.4	83.5	61.4	60.8
石川(n=161)	88.8	83.2	70.2	62.1
福井(n=149)	82.6	89.9	63.8	59.7
山梨(n=75)	77.3	72.0	61.3	54.7
長野(n=285)	73.7	85.3	60.4	57.5
岐阜(n=464)	79.1	84.7	65.9	57.5
静岡(n=681)	80.6	82.1	69.3	57.0
愛知(n=1,051)	85.4	84.1	68.5	59.2
三重(n=290)	74.8	81.0	57.6	49.7
滋賀(n=211)	71.6	85.8	63.0	62.1
京都(n=269)	81.0	85.1	60.2	56.1
大阪(n=777)	73.1	79.0	55.1	46.7
兵庫(n=676)	67.3	83.7	46.2	45.0
奈良(n=193)	61.1	82.9	40.9	43.5
和歌山(n=155)	83.9	82.6	50.3	46.5
鳥取(n=133)	76.7	73.7	66.2	54.1
島根(n=133)	73.7	79.7	47.4	42.9
岡山(n=261)	74.7	85.8	57.1	50.6
広島(n=366)	82.5	85.0	58.2	53.8
山口(n=403)	85.1	89.1	68.7	63.0
徳島(n=145)	73.8	82.1	60.7	57.9
香川(n=164)	76.2	86.6	57.3	59.8
愛媛(n=176)	79.0	84.7	61.9	57.4
高知(n=38)	76.3	76.3	44.7	44.7
福岡(n=475)	81.1	81.7	56.8	47.4
佐賀(n=195)	81.5	86.7	59.0	56.4
長崎(n=283)	81.3	89.8	66.8	61.1
熊本(n=387)	84.0	86.3	69.0	63.0
大分(n=140)	79.3	85.7	60.7	53.6
宮崎(n=264)	75.0	87.1	56.8	60.6
鹿児島(n=526)	84.8	88.2	58.6	54.4
沖縄(n=260)	80.0	75.0	71.5	58.8
全国(n=17,307)	80.1	83.9	61.8	55.9

B-3 日常点検の記録を残していますか。(3年間保存)



全て残している
 問題あった時のみ記載している
 記録していない

C-1 検査器具の供給、配備について、該当するものを選んでください。



全て揃っている
 いくつか揃っている
 全くない

C-2 供給、配備されている検査器具について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

	1. 照度計	2. アスマン通風 乾湿計または 同程度のもの	3. 検知管法器具 (一酸化炭素・ 二酸化炭素用)	4. 試験紙光電光 度法器具 (二 酸化窒素用)	5. 検知管法器 具 (二酸化 窒素用)	6. カタ温度 計または 微風速計	7. 騒音計
北海道(n=780)	95.8	55.6	73.8	1.3	9.6	5.5	39.6
青森(n=426)	96.5	41.5	84.3	0.2	20.7	23.9	62.2
岩手(n=545)	95.4	36.9	79.1	2.2	13.4	6.8	21.5
宮城(n=503)	93.4	30.2	73.8	1.0	13.9	4.4	6.2
秋田(n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
山形(n=357)	97.2	44.3	69.7	8.1	12.9	9.0	13.4
福島(n=622)	96.3	18.5	62.9	0.6	11.9	8.8	26.2
茨城(n=556)	95.0	41.7	78.6	17.4	19.4	26.3	16.7
栃木(n=478)	93.5	20.7	46.0	0.4	6.9	7.5	22.2
群馬(n=369)	96.2	66.7	77.8	1.6	27.9	45.5	33.1
埼玉(n=1087)	95.4	44.9	87.2	6.2	15.2	17.7	48.1
千葉(n=802)	97.9	20.9	84.0	5.9	47.6	13.0	19.2
東京(n=1667)	96.1	65.6	88.7	2.0	14.2	49.4	55.5
神奈川(n=732)	96.3	69.8	75.5	4.0	31.6	59.0	34.8
新潟(n=649)	98.3	77.8	88.3	0.9	10.9	24.8	35.1
富山(n=241)	98.3	69.7	15.4	0.0	2.5	59.8	70.1
石川(n=192)	94.3	69.3	48.4	1.0	10.9	54.2	57.8
福井(n=162)	92.0	42.0	74.7	22.2	25.3	31.5	8.6
山梨(n=133)	92.5	30.1	80.5	0.0	20.3	14.3	32.3
長野(n=310)	93.5	35.5	72.6	25.2	24.8	8.7	30.3
岐阜(n=409)	95.4	45.2	81.9	9.5	16.9	16.4	60.4
静岡(n=966)	96.7	39.0	71.0	3.1	20.7	18.7	12.2
愛知(n=934)	95.8	43.5	81.7	14.5	14.7	32.2	64.5
三重(n=549)	95.1	84.2	87.2	35.7	13.8	2.4	62.3
滋賀(n=373)	96.0	18.5	92.2	0.8	43.7	3.5	53.1
京都(n=283)	97.5	49.5	74.6	9.5	27.6	32.5	21.6
大阪(n=1,607)	91.5	67.7	80.8	5.2	16.3	13.1	24.0
兵庫(n=1,296)	89.7	60.9	84.0	16.7	18.1	38.2	60.3
奈良(n=128)	93.8	46.9	48.4	3.1	2.3	42.2	50.8
和歌山(n=285)	96.8	68.4	55.4	0.4	26.0	26.3	31.6
鳥取(n=212)	94.8	31.1	67.5	1.9	20.3	5.7	33.0
島根(n=222)	96.4	23.4	69.8	4.5	24.3	9.5	37.4
岡山(n=314)	91.7	27.4	51.9	3.5	15.0	12.4	24.5
広島(n=554)	96.9	34.3	87.7	25.1	7.0	26.9	59.7
山口(n=482)	96.3	57.3	85.9	40.7	11.2	3.1	57.9
徳島(n=224)	88.4	43.8	73.7	0.4	14.3	2.7	8.9
香川(n=66)	93.9	50.0	74.2	16.7	27.3	56.1	10.6
愛媛(n=209)	94.7	21.5	57.9	3.8	17.2	14.4	41.6
高知(n=147)	93.9	29.3	63.3	10.2	19.0	10.2	26.5
福岡(n=970)	93.4	35.3	70.8	15.4	5.4	20.8	29.5
佐賀(n=328)	98.5	10.1	98.8	1.2	30.2	4.0	95.7
長崎(n=537)	94.4	30.9	64.6	1.1	5.4	4.1	36.1
熊本(n=514)	95.7	14.6	57.0	1.4	11.5	5.6	18.5
大分(n=259)	97.3	10.4	3.5	0.4	1.2	6.2	1.5
宮崎(n=501)	97.4	53.3	92.2	53.5	26.1	16.4	24.4
鹿児島(n=652)	96.2	23.6	44.5	2.8	8.0	4.0	28.8
沖縄(n=351)	96.9	17.4	9.7	0.9	3.1	5.7	37.5
全国(n=23,983)	95.1	45.4	74.2	8.6	16.7	20.6	37.5

C-3 使用している検査器具の所有者について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

	1. 学校	2. 設置者 (教育委員会等)	3. 都道府県薬剤師会	4. 地域薬剤師会	5. 学校薬剤師個人	6. その他
北海道(n=800)	24.3	31.0	1.3	51.4	7.0	19.3
青森(n=530)	12.3	4.7	0.2	82.8	8.7	7.2
岩手(n=565)	41.2	34.9	8.0	38.9	6.7	4.2
宮城(n=549)	86.0	11.8	1.3	20.8	28.8	0.5
秋田(n=441)	31.5	15.0	98.6	42.9	9.5	2.9
山形(n=362)	61.9	34.5	2.2	29.3	10.2	1.7
福島(n=622)	67.5	8.2	1.3	40.8	11.7	1.6
茨城(n=725)	44.7	69.9	2.6	29.1	5.1	1.8
栃木(n=473)	68.1	27.7	15.6	29.0	8.7	2.5
群馬(n=491)	27.5	46.8	1.2	37.3	2.2	1.0
埼玉(n=1,374)	63.3	39.6	9.0	36.4	4.3	1.3
千葉(n=1,151)	32.9	34.5	12.6	67.5	7.1	2.1
東京(n=1,917)	33.2	39.6	0.5	57.1	7.7	5.3
神奈川(n=1,237)	11.3	17.2	12.9	80.6	13.5	0.8
新潟(n=717)	46.9	46.7	1.7	53.8	11.9	4.7
富山(n=287)	18.5	20.6	13.9	70.0	0.0	0.7
石川(n=254)	36.2	20.9	36.2	52.4	5.5	2.0
福井(n=250)	24.8	38.8	35.2	74.0	8.8	1.2
山梨(n=136)	70.6	21.3	20.6	57.4	17.6	4.4
長野(n=558)	40.0	11.5	5.9	79.4	12.9	4.1
岐阜(n=537)	53.4	52.5	2.2	48.0	4.8	2.8
静岡(n=972)	64.0	13.4	1.3	65.2	7.3	2.6
愛知(n=1,506)	56.5	42.3	2.1	55.2	10.0	2.3
三重(n=615)	20.8	58.9	4.7	75.8	22.3	1.0
滋賀(n=413)	26.2	32.9	4.1	78.0	17.2	3.1
京都(n=585)	30.3	60.3	16.2	24.1	12.8	2.2
大阪(n=1,664)	29.4	30.6	2.4	59.9	11.4	0.6
兵庫(n=1,513)	20.7	20.0	3.6	79.6	13.4	5.7
奈良(n=384)	13.5	10.4	14.3	77.3	5.5	0.8
和歌山(n=262)	28.2	1.5	53.1	68.7	6.9	15.6
鳥取(n=229)	68.6	36.2	10.5	34.5	11.4	3.9
島根(n=233)	58.4	26.2	17.6	48.5	24.9	3.9
岡山(n=350)	80.3	10.3	32.3	20.3	8.3	1.4
広島(n=642)	48.4	29.3	10.1	68.1	7.0	0.8
山口(n=508)	41.1	34.1	43.1	66.3	8.3	0.6
徳島(n=213)	53.5	14.6	25.4	43.2	12.2	1.4
香川(n=281)	20.6	5.3	62.6	63.7	5.7	0.7
愛媛(n=278)	55.8	38.5	10.1	34.5	3.2	4.3
高知(n=162)	32.7	36.4	42.0	17.9	6.2	16.0
福岡(n=1,034)	25.6	16.9	1.5	82.8	6.3	0.6
佐賀(n=333)	52.6	4.5	97.0	83.2	2.1	1.2
長崎(n=530)	63.4	26.0	5.3	57.2	5.8	1.3
熊本(n=523)	69.2	6.3	1.7	41.9	23.1	5.4
大分(n=250)	52.8	2.0	13.2	47.2	26.4	0.8
宮崎(n=510)	18.6	4.5	6.3	91.4	9.0	1.8
鹿児島(n=666)	58.7	5.0	20.1	42.5	22.5	0.8
沖縄(n=362)	66.3	15.7	41.4	14.4	5.5	1.7
全国(n=28,994)	41.3	28.2	11.5	56.5	10.1	3.1